

資 料 篇

資料1. ダイバーシティに関するアンケート集計結果	155
1-1. 教員	155
1-2. 職員	160
1-3. 附属学校教員	165
1-4. 大学院生	170
資料2. ダイバーシティに関するアンケート	175
2-1. 教員用和文	175
2-2. 教員用英文	181
2-3. 職員用	187
2-4. 平易な和文版	192
2-5. 附属学校教員用	202
2-6. 大学院生用和文	207
2-7. 大学院生用英文	212
資料3. 岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー	219
資料4. 岡山大学におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進について	221
資料5. 岡山大学における D&I の取り組みについて	223

資料1. ダイバーシティに関するアンケート集計結果

1-1. 教員

ダイバーシティに関するアンケート [教員] 集計結果

Q1 あなたの性別を教えてください。

	男性	女性	その他	答えたくない	
度数(人)	294	133	1	5	n=433
割合	67.9%	30.7%	0.2%	1.2%	

Q2 あなたは2021年2月1日現在で何歳ですか。

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	答えたくない	
度数(人)	12	99	137	117	61	6	n=432
割合	2.8%	22.9%	31.7%	27.1%	14.1%	1.4%	

Q3 あなたの現在の職位は、次のうちどれですか。

	教授	准教授	専任講師	助教	助手・医員	答えたくない	
度数(人)	128	113	37	98	26	12	n=414
割合	30.9%	27.3%	8.9%	23.7%	6.3%	2.9%	

Q4 あなたの専門分野は、次のうちどれですか。

	人文社会科学	自然科学	医歯薬学	その他	答えたくない	
度数(人)	110	157	142	3	7	n=419
割合	26.3%	37.5%	33.9%	0.7%	1.7%	

Q5 あなたは、1週間に平均何時間くらい仕事（教育・研究・学内行政業務を含む）に費やしていますか。自宅での仕事時間も合わせて教えてください。

	38.75時間未満	38.75時間以上50時間未満	50時間以上60時間未満	60時間以上70時間未満	70時間以上80時間未満	80時間以上	
度数(人)	29	107	137	86	42	28	n=429
割合	6.8%	24.9%	31.9%	20.0%	9.8%	6.5%	

Q6 あなたは、平日1日に平均何時間くらい家事（炊事、洗濯、掃除、買い物、家計管理など家庭での日常生活に関する様々な仕事や作業）・育児・介護に費やしていますか。（半角の数値を直接入力してください）

※平成28年度社会生活基本調査「妻の家事時間階級」に沿って集計

	なし	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上5時間未満	5時間以上6時間未満	6時間以上	
度数(人)	8	54	150	103	48	22	17	26	n=428
割合	1.9%	12.6%	35.0%	24.1%	11.2%	5.1%	4.0%	6.1%	

Q7 もし、あなたに、今、1日3時間の自由な時間ができた場合、次のうちの活動に使いたいですか。（チェックは2つまで）

	学(院)内業務	教育業務	研究	休憩・睡眠	家族と一緒に過ごす	家事・育児・介護	趣味・余暇活動	その他	
度数(人)	8	10	173	149	162	43	203	2	n=436
割合	1.8%	2.3%	39.7%	34.2%	37.2%	9.9%	46.6%	0.5%	

Q8 次の意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当するものを選択してください。

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 思わない	
(1) 家族を（経済的に）養うのは男性の役割だ	度数(人) 40	156	69	171	n=436
	割合 9.2%	35.8%	15.8%	39.2%	
(2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ	度数(人) 23	85	115	213	n=436
	割合 5.3%	19.5%	26.4%	48.9%	
(3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである	度数(人) 8	36	116	276	n=436
	割合 1.8%	8.3%	26.6%	63.3%	
(4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児・介護の両立ができたほうがよい	度数(人) 269	122	18	27	n=436
	割合 61.7%	28.0%	4.1%	6.2%	

Q9 女子学生の比率は、文系では比較的多く、理系では比較的小さい傾向にあります。その理由として、以下の事柄はどの程度あてはまると思いますか。

	1 とてもあてはまる	2 ややあてはまる	3 どちらともいえない	4 あまりあてはまらない	5 全くあてはまらない	
(1) 女性は文系、男性は理系という社会通念のため	度数(人) 46	129	102	82	76	n=435
	割合 10.6%	29.7%	23.4%	18.9%	17.5%	
(2) 高校で女性には文系、男性には理系の進路を勧めるため	度数(人) 22	81	148	98	86	n=435
	割合 5.1%	18.6%	34.0%	22.5%	19.8%	
(3) 女子生徒は文系の、男子生徒は理系の職業に就きたいという志向があるため	度数(人) 20	137	138	80	60	n=435
	割合 4.6%	31.5%	31.7%	18.4%	13.8%	
(4) 親が女性には文系、男性には理系の進路を期待するため	度数(人) 23	104	151	85	72	n=435
	割合 5.3%	23.9%	34.7%	19.5%	16.6%	
(5) 女性は文系科目が得意で、男性は理数系科目が得意であるため	度数(人) 16	105	108	86	120	n=435
	割合 3.7%	24.1%	24.8%	19.8%	27.6%	
(6) ロールモデルとなるような理系の女性研究者・教員が少ないため	度数(人) 78	174	84	56	43	n=435
	割合 17.9%	40.0%	19.3%	12.9%	9.9%	

Q10 現在、岡山大学の女性教員の在職比率は19.4%（専任教員・2020年度）であり、女子学生の在籍比率39.6%（2020年度）と比べて少ない状況です。その理由として以下の事柄ほどの程度あてはまると思われますか。

		1 とてもあてはまる	2 ややあてはまる	3 どちらともいえない	4 あまりあてはまらない	5 全くあてはまらない	
(1) 採用する側に男性を優先する意識がある	度数(人)	43	74	134	91	93	n=435
	割合	9.9%	17.0%	30.8%	20.9%	21.4%	
(2) 女性自身の能力が不足している	度数(人)	12	27	102	106	188	n=435
	割合	2.8%	6.2%	23.4%	24.4%	43.2%	
(3) 女性自身の意欲が不足している	度数(人)	11	89	99	90	146	n=435
	割合	2.5%	20.5%	22.8%	20.7%	33.6%	
(4) 女性にとって育児期間後の復帰が困難である	度数(人)	60	182	94	54	45	n=435
	割合	13.8%	41.8%	21.6%	12.4%	10.3%	
(5) 女性は早期に離職する可能性が高い	度数(人)	20	112	119	82	102	n=435
	割合	4.6%	25.7%	27.4%	18.9%	23.4%	
(6) 女性が専攻する分野に偏りがある	度数(人)	55	149	113	64	54	n=435
	割合	12.6%	34.3%	26.0%	14.7%	12.4%	
(7) 応募者の女性比率そのものが低い	度数(人)	112	175	94	30	24	n=435
	割合	25.7%	40.2%	21.6%	6.9%	5.5%	

Q11 岡山大学におけるこれまでの男女共同参画室の取り組みを評価できますか。

	評価できる	どちらかという と評価できる	どちらかという と評価できない	評価できない	男女共同参画室の取 組みを知らない	
度数(人)	42	190	44	17	105	n=398
割合	10.6%	47.7%	11.1%	4.3%	26.4%	

Q12(1) 本学では、障害者差別解消法が定められていることについて、周知が図られていると思いますか。

	十分に図ら れている	やや図ら れている	あまり図ら れていない	全く図ら れていない	わからない	
度数(人)	35	190	108	14	86	n=433
割合	8.1%	43.9%	24.9%	3.2%	19.9%	

Q13(1) 本学では、障がい者・障がい学生に配慮したバリアフリー設備（点字や音声等情報保障のある案内・トイレ・スロープ・エレベーター等）が整備されていると思いますか。

	十分に整備 されている	やや整備 されている	あまり整備 されていない	全く整備 されていない	わからない	
度数(人)	32	242	119	11	29	n=433
割合	7.4%	55.9%	27.5%	2.5%	6.7%	

Q14(1) 本学では、障がい者・障がい学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備 されている	やや整備 されている	あまり整備 されていない	全く整備 されていない	わからない	
度数(人)	31	190	59	3	146	n=429
割合	7.2%	44.3%	13.8%	0.7%	34.0%	

Q15(1) 本学では、障がい者・障がい学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分に ある	やや ある	あまり ない	全く ない	わからない	
度数(人)	25	141	77	11	176	n=430
割合	5.8%	32.8%	17.9%	2.6%	40.9%	

Q16(1) 本学で、セクシュアルマイノリティへの差別的な言動や場面を見聞きしたことがありますか。（大学キャンパス内外を問わず、正課外活動や懇親会など本学が実施する諸活動を含みます。）

	見聞きした ことがある	見聞きした ことはない	わからない	
度数(人)	56	295	76	n=427
割合	13.1%	69.1%	17.8%	

Q17(1) 本学では、セクシュアルマイノリティに配慮した設備（トイレ・更衣室等）が整備されていると思いますか。

	十分に整備 されている	やや整備 されている	あまり整備 されていない	全く整備 されていない	わからない	
度数(人)	5	46	150	86	139	n=426
割合	1.2%	10.8%	35.2%	20.2%	32.6%	

Q18(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備 されている	やや整備 されている	あまり整備 されていない	全く整備 されていない	わからない	
度数(人)	9	75	81	15	242	n=422
割合	2.1%	17.8%	19.2%	3.6%	57.3%	

Q19(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分に ある	やや ある	あまり ない	全く ない	わからない	
度数(人)	4	52	105	19	242	n=422
割合	0.9%	12.3%	24.9%	4.5%	57.3%	

Q20(1) 本学では、海外からの研究者・学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	全く整備されていない	わからない	
度数(人)	27	178	104	13	107	n=429
割合	6.3%	41.5%	24.2%	3.0%	24.9%	

Q21(1) 本学では、海外からの研究者・学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分にある	ややある	あまりない	全くない	わからない	
度数(人)	24	141	85	10	167	n=427
割合	5.6%	33.0%	19.9%	2.3%	39.1%	

Q22 一般的に、大学での研究・教育職がより魅力的になり、また大学での研究・教育を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか。

		1 とても有効	2 やや有効	3 どちらともいえない	4 あまり有効でない	5 全く有効でない	
(1) 育児・介護と研究・教育を両立するための相談窓口	度数(人)	198	148	69	17	3	n=435
	割合	45.5%	34.0%	15.9%	3.9%	0.7%	
(2) 学内保育所	度数(人)	282	105	38	4	6	n=435
	割合	64.8%	24.1%	8.7%	0.9%	1.4%	
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	度数(人)	281	101	44	4	5	n=435
	割合	64.6%	23.2%	10.1%	0.9%	1.1%	
(4) 学内学童保育所(常設)	度数(人)	267	102	56	6	4	n=435
	割合	61.4%	23.4%	12.9%	1.4%	0.9%	
(5) 育児に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	度数(人)	250	133	44	7	1	n=435
	割合	57.5%	30.6%	10.1%	1.6%	0.2%	
(6) 介護に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	度数(人)	250	133	42	9	1	n=435
	割合	57.5%	30.6%	9.7%	2.1%	0.2%	
(7) 疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	度数(人)	247	138	38	10	2	n=435
	割合	56.8%	31.7%	8.7%	2.3%	0.5%	
(8) 在宅勤務制度	度数(人)	192	128	90	14	11	n=435
	割合	44.1%	29.4%	20.7%	3.2%	2.5%	
(9) セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントのない環境づくり	度数(人)	251	117	53	7	7	n=435
	割合	57.7%	26.9%	12.2%	1.6%	1.6%	
(10) 女性教員の積極的採用制度	度数(人)	127	122	142	29	15	n=435
	割合	29.2%	28.0%	32.6%	6.7%	3.4%	
(11) 短時間勤務制度	度数(人)	154	131	126	13	11	n=435
	割合	35.4%	30.1%	29.0%	3.0%	2.5%	
(12) 研究者のためのメンタープログラム	度数(人)	117	160	120	24	14	n=435
	割合	26.9%	36.8%	27.6%	5.5%	3.2%	
(13) 障がい者に配慮した設備、支援、制度	度数(人)	201	162	54	10	8	n=435
	割合	46.2%	37.2%	12.4%	2.3%	1.8%	
(14) セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度	度数(人)	165	150	95	13	12	n=435
	割合	37.9%	34.5%	21.8%	3.0%	2.8%	
(15) 外国人教員や留学生のための日本語教育の充実	度数(人)	170	158	76	20	11	n=435
	割合	39.1%	36.3%	17.5%	4.6%	2.5%	
(16) 外国人教員や留学生に配慮した情報伝達のしくみ(英語・やさしい日本語での表記、文書のデータ提供)	度数(人)	209	138	62	13	13	n=435
	割合	48.0%	31.7%	14.3%	3.0%	3.0%	
(17) 定年退職後に利用可能な幅広い職務や処遇のある再雇用制度	度数(人)	134	142	117	21	21	n=435
	割合	30.8%	32.6%	26.9%	4.8%	4.8%	
(18) 長時間労働を評価しない人事評価制度	度数(人)	137	108	139	27	24	n=435
	割合	31.5%	24.8%	32.0%	6.2%	5.5%	

Q23 あなた自身が岡山大学での研究・教育を継続する上で、Q22に掲げたような支援を今、あるいは将来必要としていますか。または過去に必要としていましたか。

	今、必要である	今は必要ではないが、将来必要になると思う	今は必要ではないが、過去に必要としていた	過去も、今も、将来も必要ではない	
度数(人)	111	207	48	40	n=406
割合	27.3%	51.0%	11.8%	9.9%	

Q24 [Q23で、「今、必要である」または「今は必要ではないが、将来必要になると思う」を選択した方にお尋ねします]あなた自身が岡山大学での研究・教育を継続する上で、今、あるいは将来もとも必要と思われる支援を次のうちから3つまで選んでください。

	育児・介護と研究・教育を両立するための相談窓口	学内保育所	(保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	学内学童保育所(常設)	育児に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
度数(人)	55	61	52	60	51
割合	17.5%	19.4%	16.6%	19.1%	16.2%
度数(人)	115	67	75	37	17
割合	36.6%	21.3%	23.9%	11.8%	5.4%
度数(人)	30	22	9	4	18
割合	9.6%	7.0%	2.9%	1.3%	5.7%

	外国人教員や留学生に配慮した情報伝達のしくみ (英語・やさしい日本語での表記、文書のデータ提供)	定年退職後に利用可能な幅広い職務や処遇のある再雇用制度	長時間労働を評価しない人事評価制度	その他 具体的に	
度数(人)	37	54	42	9	n=314
割合	11.8%	17.2%	13.4%	2.9%	

Q25 あなたは、岡山大学で研究・教育をする上で、次のようなことを感じていますか。

		1 いつも感じる	2 とてもよく感じる	3 よく感じる	4 時々感じる	5 めったに感じない	6 ほとんど感じない	7 そのように感じたことは一度もない	
(1) 仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる	度数(人)	34	53	107	156	45	24	12	n=431
	割合	7.9%	12.3%	24.8%	36.2%	10.4%	5.6%	2.8%	
(2) 職場では、元気が出て精神的になるように感じる	度数(人)	33	53	98	143	64	26	14	n=431
	割合	7.7%	12.3%	22.7%	33.2%	14.8%	6.0%	3.2%	
(3) 仕事に熱心である	度数(人)	60	95	139	111	11	11	4	n=431
	割合	13.9%	22.0%	32.3%	25.8%	2.6%	2.6%	0.9%	
(4) 仕事は、私に活力を与えてくれる	度数(人)	51	83	112	125	33	17	10	n=431
	割合	11.8%	19.3%	26.0%	29.0%	7.7%	3.9%	2.3%	
(5) 朝に目が覚めると、さあ仕事へ行こう、という気持ち	度数(人)	39	60	99	119	65	27	22	n=431
	割合	9.0%	13.9%	23.0%	27.6%	15.1%	6.3%	5.1%	
(6) 仕事に没頭していると、幸せだと感じる	度数(人)	62	90	94	111	37	26	11	n=431
	割合	14.4%	20.9%	21.8%	25.8%	8.6%	6.0%	2.6%	
(7) 自分の仕事に誇りを感じる	度数(人)	88	125	91	95	15	10	7	n=431
	割合	20.4%	29.0%	21.1%	22.0%	3.5%	2.3%	1.6%	
(8) 私は仕事にのめり込んでいる	度数(人)	45	78	103	131	48	18	8	n=431
	割合	10.4%	18.1%	23.9%	30.4%	11.1%	4.2%	1.9%	
(9) 仕事をしていると、つい夢中になってしまう	度数(人)	61	85	101	133	27	16	8	n=431
	割合	14.2%	19.7%	23.4%	30.9%	6.3%	3.7%	1.9%	

Q26 あなたは、岡山大学で研究・教育をする上で、次のようなことを感じていますか。

		1 とてもそう思う	2 ややそう思う	3 どちらともいえない	4 あまりそう思わない	5 全くそう思わない	
(1) 研究や実験などの拘束時間が長い	度数(人)	33	66	152	107	73	n=431
	割合	7.7%	15.3%	35.3%	24.8%	16.9%	
(2) 研究のための時間が十分に確保できない	度数(人)	155	140	68	50	18	n=431
	割合	36.0%	32.5%	15.8%	11.6%	4.2%	
(3) 教育のための時間が十分に確保できない	度数(人)	62	150	119	73	27	n=431
	割合	14.4%	34.8%	27.6%	16.9%	6.3%	
(4) 体力的にきつい時がある	度数(人)	80	139	104	75	33	n=431
	割合	18.6%	32.3%	24.1%	17.4%	7.7%	
(5) 研究室の雰囲気男性または女性中心でなじめないことがある	度数(人)	15	23	108	98	187	n=431
	割合	3.5%	5.3%	25.1%	22.7%	43.4%	
(6) 困ったときに気軽に相談できる同性が身近にいない	度数(人)	52	66	102	106	105	n=431
	割合	12.1%	15.3%	23.7%	24.6%	24.4%	
(7) 学生との人間関係に悩んでいる	度数(人)	11	37	93	123	167	n=431
	割合	2.6%	8.6%	21.6%	28.5%	38.7%	
(8) 教員間の人間関係に悩んでいる	度数(人)	41	61	88	120	121	n=431
	割合	9.5%	14.2%	20.4%	27.8%	28.1%	
(9) 職員との人間関係に悩んでいる	度数(人)	18	35	87	131	160	n=431
	割合	4.2%	8.1%	20.2%	30.4%	37.1%	
(10) 家族のための時間が十分に確保できない	度数(人)	86	116	105	81	43	n=431
	割合	20.0%	26.9%	24.4%	18.8%	10.0%	
(11) 研究生生活について家族や周囲の理解が少ない	度数(人)	19	34	93	123	162	n=431
	割合	4.4%	7.9%	21.6%	28.5%	37.6%	

Q27 あなたは、ウェルビーイングの概念を知っていましたか。

	よく知っていた	ある程度知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった	
度数(人)	56	161	93	121	n=431
割合	13.0%	37.4%	21.6%	28.1%	

Q28 あなた自身の現在の幸福度についての質問です。ハシゴを想像してみてください。ハシゴの各段には数字が降っており、ハシゴを上るにつれて数字は大きくなっていきます。最下段は“0”で、最上段は“10”です。最上段はあなたにとって“最高の人生”で、最下段は“最低の人生”です。今現在、あなたはハシゴの何段目に立っていると思いますか。

	0	1	2	3	4	5	6	
度数(人)	9	5	10	21	13	64	59	
割合	2.1%	1.2%	2.3%	4.9%	3.1%	15.0%	13.8%	
	7	8	9	10				
度数(人)	111	100	27	7				n=426
割合	26.1%	23.5%	6.3%	1.6%				

Q29

岡山大学では、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学を指目して、平成21年度に策定された「岡山大学ダイバーシティポリシー」を見直し、「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」の策定を進めています。岡山大学にダイバーシティポリシーがあることをあなたは知っていましたか。

	知っていた	知らなかった	
度数(人)	175	232	n=407
割合	43.0%	57.0%	

Q31 あなたの国籍は次のうち、どれですか。

	日本	日本以外	日本と日本以外の多重国籍	答えたくない	
度数(人)	395	28	0	8	n=431
割合	91.6%	6.5%	0.0%	1.9%	

Q32 あなたの雇用契約は次のうち、どちらですか。

	任期なし(テニキュア・トラックを含む)	任期付き	答えたくない	
度数(人)	334	77	12	n=423
割合	79.0%	18.2%	2.8%	

Q33 あなたには、現在、配偶者がいますか。(婚姻届の有無は問いません)

	現在、配偶者がいる	いない(死別または離別した)	いない(結婚したことはない)	答えたくない	
度数(人)	338	21	65	4	n=428
割合	79.0%	4.9%	15.2%	0.9%	

Q34 【Q33で「現在、配偶者がいる」を選択した方にお尋ねします】配偶者の勤務状況について、次のうちあてはまるものを選択してください。

	無職	パートタイム勤務	フルタイム勤務	自営業	その他	答えたくない	
度数(人)	92	83	120	20	8	11	n=334
割合	27.5%	24.9%	35.9%	6.0%	2.4%	3.3%	

Q35 あなたに高校生までのお子さんはいますか。

	いる	いない	答えたくない	
度数(人)	168	236	10	n=414
割合	40.6%	57.0%	2.4%	

Q36 あなたに介護を必要とする近親者はいますか。

	介護が必要な近親者と同居している	介護が必要な近親者と別居している	介護が必要な近親者はいない	答えたくない	
度数(人)	13	103	284	30	n=430
割合	3.0%	24.0%	66.0%	7.0%	

1-2. 職員

ダイバーシティに関するアンケート [職員] 集計結果

Q1 あなたの性別を教えてください。

	男性	女性	その他	答えたくない	
度数(人)	292	747	4	8	n=1051
割合	27.8%	71.1%	0.4%	0.8%	

Q2 あなたは2021年2月1日現在で何歳ですか。

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	答えたくない	
度数(人)	156	224	325	261	59	15	n=1040
割合	15.0%	21.5%	31.3%	25.1%	5.7%	1.4%	

Q3 あなたの職種は次のうちどれにあたりますか。

	事務職員	技術職員	医療系職員	その他	答えたくない	
度数(人)	586	103	225	129	5	n=1048
割合	55.9%	9.8%	21.5%	12.3%	0.5%	

Q4 あなたは現在管理職ですか。

	管理職	管理職ではない	答えたくない	
度数(人)	90	951	11	n=1052
割合	8.6%	90.4%	1.0%	

Q5 あなたは、1週間に平均何時間くらい職務に費やしていますか。

	38.75時間未満	38.75時間以上50時間未満	50時間以上60時間未満	60時間以上70時間未満	70時間以上80時間未満	80時間以上	
度数(人)	372	504	120	30	8	6	n=1040
割合	35.8%	48.5%	11.5%	2.9%	0.8%	0.6%	

Q6 あなたは、平日1日に平均何時間くらい家事（炊事、洗濯、掃除、買い物、家計管理など家庭での日常生活に関する様々な仕事や作業）・育児・介護に費やしていますか。（半角の数値を直接入力してください）

※平成28年度社会生活基本調査「妻の家事時間階級」に沿って集計

	なし	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上5時間未満	5時間以上6時間未満	6時間以上	
度数(人)	14	47	198	224	161	122	101	139	n=1006
割合	1.4%	4.7%	19.7%	22.3%	16.0%	12.1%	10.0%	13.8%	

Q7 次の意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当するものを選択してください。

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 思わない	
(1) 家族を（経済的に）養うのは男性の役割だ	度数(人) 50 割合 4.7%	394 37.1%	249 23.5%	368 34.7%	n=1061
(2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ	度数(人) 52 割合 4.9%	229 21.7%	322 30.5%	452 42.8%	n=1055
(3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである	度数(人) 13 割合 1.2%	108 10.2%	305 28.8%	634 59.8%	n=1060
(4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児・介護の両立ができたほうがよい	度数(人) 712 割合 67.1%	257 24.2%	37 3.5%	55 5.2%	n=1061

Q8 現在、岡山大学の女性管理職の比率は、19%（2020年度）と低い状況です。その理由として以下の事柄はどの程度あてはまると思いますか。

	1 とてもあてはまる	2 ややあてはまる	3 どちらともいえない	4 あまりあてはまらない	5 全くあてはまらない	
(1) 評価する側に男性を優先する意識がある	度数(人) 151 割合 14.4%	306 29.2%	370 35.3%	137 13.1%	83 7.9%	n=1047
(2) 女性自身の能力が不足している	度数(人) 10 割合 1.0%	61 5.8%	295 28.1%	334 31.8%	349 33.3%	n=1049
(3) 女性自身の意欲が不足している	度数(人) 36 割合 3.4%	269 25.7%	336 32.1%	215 20.5%	191 18.2%	n=1047
(4) 女性にとって家庭責任との両立が困難である	度数(人) 244 割合 23.3%	477 45.6%	209 20.0%	82 7.8%	35 3.3%	n=1047
(5) 女性は早期に離職する可能性が高い	度数(人) 53 割合 5.1%	293 28.0%	369 35.3%	199 19.0%	131 12.5%	n=1045

Q9 あなたの現在の職場では、男女で担当する業務について、差別的な取り扱いがあると思いますか。

	顕著にある	少しある	どちらともいえない	ほとんどない	全くない	
度数(人)	21	94	233	417	265	n=1030
割合	2.0%	9.1%	22.6%	40.5%	25.7%	

Q11 あなたは、大学内での男女共同参画を進める取り組みについてどう思いますか。

	ぜひともこのよう な取り組み は必要だ	どちらかとい えばこのよう な取り組みは必 要だ	どちらともい えない	このような取 組みはあまり 必要ではない	このような取 組みは全く必 要ではない	
度数(人)	459	429	125	12	2	n=1027
割合	44.7%	41.8%	12.2%	1.2%	0.2%	

Q12(1) 本学では、障害者差別解消法が定められていることについて、周知が図られていると思いますか。

	十分に図られ ている	やや図られ ている	あまり図られ ていない	全く図られ ていない	わからない	
度数(人)	78	341	316	35	269	n=1039
割合	7.5%	32.8%	30.4%	3.4%	25.9%	

Q13(1) 本学では、障がい者・障がい学生に配慮したバリアフリー設備（点字や音声等情報保障のある案内・トイレ・スロープ・エレベーター等）が整備されていると思いますか。

	十分に整備さ れている	やや整備され ている	あまり整備さ れていない	全く整備され ていない	わからない	
度数(人)	73	598	231	12	134	n=1048
割合	7.0%	57.1%	22.0%	1.1%	12.8%	

Q14(1) 本学では、障がい者・障がい学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備さ れている	やや整備され ている	あまり整備さ れていない	全く整備され ていない	わからない	
度数(人)	80	348	136	9	461	n=1034
割合	7.7%	33.7%	13.2%	0.9%	44.6%	

Q15(1) 本学では、障がい者・障がい学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分に ある	やや ある	あまり ない	全く ない	わからない	
度数(人)	63	261	178	15	522	n=1039
割合	6.1%	25.1%	17.1%	1.4%	50.2%	

Q16(1) 本学で、セクシュアルマイノリティへの差別的な言動や場面を見聞きしたことがありますか。（大学キャンパス内外を問わず、正課外活動や懇親会など本学が実施する諸活動を含みます。）

	見聞きしたこ とがある	見聞きしたこ とはない	わからない	
度数(人)	96	738	220	n=1054
割合	9.1%	70.0%	20.9%	

Q17(1) 本学では、セクシュアルマイノリティに配慮した設備（トイレ・更衣室等）が整備されていると思いますか。

	十分に整備さ れている	やや整備され ている	あまり整備さ れていない	全く整備され ていない	わからない	
度数(人)	21	117	384	166	362	n=1050
割合	2.0%	11.1%	36.6%	15.8%	34.5%	

Q18(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備さ れている	やや整備され ている	あまり整備さ れていない	全く整備され ていない	わからない	
度数(人)	17	159	213	38	609	n=1036
割合	1.6%	15.3%	20.6%	3.7%	58.8%	

Q19(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分に図られ ている	やや図られ ている	あまり図られ ていない	全く図られ ていない	わからない	
度数(人)	11	102	282	56	577	n=1028
割合	1.1%	9.9%	27.4%	5.4%	56.1%	

Q20(1) 本学では、海外からの研究者・学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備さ れている	やや整備され ている	あまり整備さ れていない	全く整備され ていない	わからない	
度数(人)	41	349	158	12	482	n=1042
割合	3.9%	33.5%	15.2%	1.2%	46.3%	

Q21(1) 本学では、海外からの研究者・学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分に ある	やや ある	あまり ない	全く ない	わからない	
度数(人)	43	259	139	12	592	n=1045
割合	4.1%	24.8%	13.3%	1.1%	56.7%	

Q22 一般的に、大学での職務がより魅力的になり、また大学での職務を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか。

		1 とても有効	2 やや有効	3 どちらともい えない	4 あまり有効 でない	5 全く有効で ない	
(1) 育児・介護と職務を両立するための相談窓口	度数(人)	526	351	127	37	8	n=1049
	割合	50.1%	33.5%	12.1%	3.5%	0.8%	
(2) 学内保育所	度数(人)	716	239	75	11	3	n=1044
	割合	68.6%	22.9%	7.2%	1.1%	0.3%	

(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	度数(人)	738	227	63	10	4	n=1042
	割合	70.8%	21.8%	6.0%	1.0%	0.4%	
(4) 学内学童保育所 (常設)	度数(人)	640	257	131	10	6	n=1044
	割合	61.3%	24.6%	12.5%	1.0%	0.6%	
(5) 育児に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	度数(人)	710	254	68	9	2	n=1043
	割合	68.1%	24.4%	6.5%	0.9%	0.2%	
(6) 介護に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	度数(人)	721	256	58	7	2	n=1044
	割合	69.1%	24.5%	5.6%	0.7%	0.2%	
(7) 疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	度数(人)	692	270	73	7	3	n=1045
	割合	66.2%	25.8%	7.0%	0.7%	0.3%	
(8) 在宅勤務制度	度数(人)	458	294	228	41	20	n=1041
	割合	44.0%	28.2%	21.9%	3.9%	1.9%	
(9) セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントのない環境づくり	度数(人)	682	269	75	11	9	n=1046
	割合	65.2%	25.7%	7.2%	1.1%	0.9%	
(10) 女性職員の積極的採用・登用制度	度数(人)	426	314	256	34	13	n=1043
	割合	40.8%	30.1%	24.5%	3.3%	1.2%	
(11) 短時間勤務制度	度数(人)	544	314	157	23	8	n=1046
	割合	52.0%	30.0%	15.0%	2.2%	0.8%	
(12) 障がい者に配慮した設備、支援、制度	度数(人)	584	351	96	10	7	n=1048
	割合	55.7%	33.5%	9.2%	1.0%	0.7%	
(13) セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度	度数(人)	512	350	164	10	6	n=1042
	割合	49.1%	33.6%	15.7%	1.0%	0.6%	
(14) 外国人教員や留学生のための日本語教育の充実	度数(人)	494	375	153	13	6	n=1041
	割合	47.5%	36.0%	14.7%	1.2%	0.6%	
(15) 外国人教員や留学生に配慮した情報伝達のしくみ (英語・やさしい日本語での表記、文書のデータ提供)	度数(人)	554	352	120	12	6	n=1044
	割合	53.1%	33.7%	11.5%	1.1%	0.6%	
(16) 定年退職後に利用可能な幅広い職務や処遇のある再雇用制度	度数(人)	471	332	190	35	15	n=1043
	割合	45.2%	31.8%	18.2%	3.4%	1.4%	
(17) 長時間労働を評価しない人事評価制度	度数(人)	431	260	279	38	35	n=1043
	割合	41.3%	24.9%	26.7%	3.6%	3.4%	

Q23 あなた自身が岡山大での職務を継続する上で、Q22に掲げたような支援を今、あるいは将来必要としていますか。または過去に必要としましたか。

	今、必要である	今は必要ではないが、将来必要になると思う	今は必要ではないが、過去に必要としていた	過去も、今も、将来も必要ではない	
度数(人)	238	539	138	55	n=970
割合	24.5%	55.6%	14.2%	5.7%	

Q24 【Q23で、「今、必要である」または「今は必要ではないが、将来必要になると思う」を選択した方にお尋ねします】あなた自身が岡山大での職務を継続する上で、今、あるいは将来も必要と思われる支援を次のうちから3つまで選んでください。

	育児・介護と職務を両立するための相談窓口	学内保育所	(保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	学内学童保育所 (常設)	育児に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
度数(人)	192	124	120	96	189
割合	25.0%	16.2%	15.6%	12.5%	24.6%
	介護に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	在宅勤務制度	セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントのない環境づくり	女性職員の積極的採用・登用制度
度数(人)	340	214	175	82	37
割合	44.3%	27.9%	22.8%	10.7%	4.8%
	短時間勤務制度	障がい者に配慮した設備、支援、制度	セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度	外国人教員や留学生のための日本語教育の充実	外国人教員や留学生に配慮した情報伝達のしくみ (英語・やさしい日本語での表記、文書のデータ提供)
度数(人)	132	39	17	7	19
割合	17.2%	5.1%	2.2%	0.9%	2.5%
	定年退職後に利用可能な幅広い職務や処遇のある再雇用制度	長時間労働を評価しない人事評価制度	その他 具体的に		
度数(人)	148	98	16	n=767	
割合	19.3%	12.8%	2.1%		

Q25 あなたは、岡山大で職務をする上で、次のようなことを感じていますか。

	1 いつも感じる	2 とてもよく感じる	3 よく感じる	4 時々感じる	5 めったに感じない	6 ほとんど感じない	7 そのように感じたことは一度もない	
(1) 仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる	度数(人)	33	49	159	473	212	93	n=1051
	割合	3.1%	4.7%	15.1%	45.0%	20.2%	8.8%	
(2) 職場では、元気が出て精神的になるように感じる	度数(人)	35	51	181	431	205	110	n=1050
	割合	3.3%	4.9%	17.2%	41.0%	19.5%	10.5%	
(3) 仕事に熱心である	度数(人)	70	113	322	403	87	38	n=1049
	割合	6.7%	10.8%	30.7%	38.4%	8.3%	3.6%	

(4) 仕事は、私に活力を与えてくれる	度数(人)	55	92	233	393	159	87	30	n=1049
	割合	5.2%	8.8%	22.2%	37.5%	15.2%	8.3%	2.9%	
(5) 朝に目が覚めると、さあ仕事へ行こう、という気持ち	度数(人)	49	47	179	359	230	126	60	n=1050
	割合	4.7%	4.5%	17.0%	34.2%	21.9%	12.0%	5.7%	
(6) 仕事に没頭していると、幸せだと感じる	度数(人)	38	60	164	380	227	127	55	n=1051
	割合	3.6%	5.7%	15.6%	36.2%	21.6%	12.1%	5.2%	
(7) 自分の仕事に誇りを感じる	度数(人)	66	121	229	420	116	75	21	n=1048
	割合	6.3%	11.5%	21.9%	40.1%	11.1%	7.2%	2.0%	
(8) 私は仕事にのめり込んでいる	度数(人)	28	57	140	375	276	112	59	n=1047
	割合	2.7%	5.4%	13.4%	35.8%	26.4%	10.7%	5.6%	
(9) 仕事をしていると、つい夢中になってしまう	度数(人)	41	73	171	439	206	80	40	n=1050
	割合	3.9%	7.0%	16.3%	41.8%	19.6%	7.6%	3.8%	

Q26 次の事項について、あなたは現在、問題を感じていますか。

		1 おおいに問題を感じている	2 やや問題を感じている	3 あまり問題を感じていない	4 全く問題を感じていない	
(1) 職場の物理的環境（設備、スペースなど）	度数(人)	118	288	454	190	n=1050
	割合	11.2%	27.4%	43.2%	18.1%	
(2) 給与	度数(人)	169	332	429	119	n=1049
	割合	16.1%	31.6%	40.9%	11.3%	
(3) 休日・休暇制度	度数(人)	61	159	545	284	n=1049
	割合	5.8%	15.2%	52.0%	27.1%	
(4) 福利厚生	度数(人)	62	163	603	214	n=1042
	割合	6.0%	15.6%	57.9%	20.5%	
(5) 仕事と家庭生活の両立	度数(人)	99	258	504	187	n=1048
	割合	9.4%	24.6%	48.1%	17.8%	
(6) 仕事を離れた自由時間の確保	度数(人)	108	238	492	213	n=1051
	割合	10.3%	22.6%	46.8%	20.3%	
(7) 職場での人間関係	度数(人)	96	243	469	194	n=1002
	割合	9.6%	24.3%	46.8%	19.4%	

(7)は不備により、一部の対象者に実施できていない。

Q27 あなたは、ウェルビーイングの概念を知っていましたか。

	よく知っていた	ある程度知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった	
度数(人)	35	219	301	473	n=1028
割合	3.4%	21.3%	29.3%	46.0%	

Q28 あなた自身の現在の幸福度についての質問です。ハシゴを想像してみてください。ハシゴの各段には数字が降っており、ハシゴを上るにつれて数字は大きくなっていきます。最下段は“0”で、最上段は“10”です。最上段はあなたにとって“最高の人生”で、最下段は“最低の人生”です。今現在、あなたはハシゴの何段目に立っていると思いますか。

	0	1	2	3	4	5	6
度数(人)	5	12	31	82	81	208	159
割合	0.5%	1.2%	3.1%	8.1%	8.0%	20.5%	15.7%
	7	8	9	10			
度数(人)	192	186	32	25	n=1013		
割合	19.0%	18.4%	3.2%	2.5%			

Q29 岡山大学では、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学を指目して、平成21年度に策定された「岡山大学ダイバーシティポリシー」を見直し、「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」の策定を進めています。岡山大学にダイバーシティポリシーがあることをあなたは知っていましたか。

	知っていた	知らなかった	
度数(人)	350	627	n=977
割合	35.8%	64.2%	

Q31 あなたの勤務体系は次のうち、どちらですか。

	常勤	非常勤	答えたくない	
度数(人)	687	312	19	n=1018
割合	67.5%	30.6%	1.9%	

Q32 あなたには、現在、配偶者がいますか。（婚姻届の有無は問いません）

	現在、配偶者がいる	いない（死別または離別した）	いない（結婚したことはない）	答えたくない	
度数(人)	656	63	277	16	n=1012
割合	64.8%	6.2%	27.4%	1.6%	

Q33 【Q32で「現在、配偶者がいる」を選択した方にお尋ねします】配偶者の勤務状況について、次のうちあてはまるものを選択してください。

	無職	パートタイム勤	フルタイム勤務	自営業	その他	答えたくない	
度数(人)	61	93	434	32	18	10	n=648
割合	9.4%	14.4%	67.0%	4.9%	2.8%	1.5%	

Q34 あなたに高校生までのお子さんはいますか。

	いる	いない	答えたくない	
度数(人)	345	591	17	n=953
割合	36.2%	62.0%	1.8%	

Q35 あなたに介護を必要とする近親者はいますか。

	介護が必要な近親者と同居している	介護が必要な近親者と別居している	介護が必要な近親者はいない	答えたくない
度数(人)	67	217	707	48
割合	6.5%	20.9%	68.2%	4.6%

1-3. 附属学校教員

ダイバーシティに関するアンケート【附属学校教員】集計結果

Q1 あなたの性別を教えてください。

	男性	女性	その他	答えたくない	
度数(人)	12	16	0	0	n=28
割合	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	

Q2 あなたは2021年2月1日現在で何歳ですか。

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	答えたくない	
度数(人)	4	14	7	3	1	0	n=29
割合	13.8%	48.3%	24.1%	10.3%	3.4%	0.0%	

Q3 あなたは、1週間に平均何時間くらい職務に費やしていますか。

	38.75時間未満	38.75時間以上50時間未満	50時間以上60時間未満	60時間以上70時間未満	70時間以上80時間未満	80時間以上	
度数(人)	1	5	10	10	1	2	n=29
割合	3.4%	17.2%	34.5%	34.5%	3.4%	6.9%	

Q4 あなたは、平日1日に平均何時間くらい家事（炊事、洗濯、掃除、買い物、家計管理など家庭での日常生活に関する様々な仕事や作業）・育児・介護に費やしていますか。（半角の数値を直接入力してください）

	なし	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上5時間未満	5時間以上6時間未満	6時間以上	
度数(人)	0	4	9	7	5	1	3	0	n=29
割合	0.0%	13.8%	31.0%	24.1%	17.2%	3.4%	10.3%	0.0%	

Q5 もし、あなたに、今、1日3時間の自由な時間ができた場合、次のうちの活動に使いたいですか。（チェックは2つまで）

	校務分掌業務	教育業務	研究	休憩・睡眠	家族と一緒に過ごす	家事・育児・介護	趣味・余暇活動	その他	
度数(人)	0	3	1	14	9	7	18	1	n=29
割合	0.0%	10.3%	3.4%	48.3%	31.0%	24.1%	62.1%	3.4%	

Q6 次の意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当するものを選択してください。

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 思わない	
(1) 家族を（経済的に）養うのは男性の役割だ	1	10	5	13	n=29
度数(人)	1	10	5	13	
割合	3.4%	34.5%	17.2%	44.8%	
(2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ	1	6	10	12	n=29
度数(人)	1	6	10	12	
割合	3.4%	20.7%	34.5%	41.4%	
(3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである	0	2	6	21	n=29
度数(人)	0	2	6	21	
割合	0.0%	6.9%	20.7%	72.4%	
(4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児・介護の両立ができたほうがよい	24	5	0	0	n=29
度数(人)	24	5	0	0	
割合	82.8%	17.2%	0.0%	0.0%	

Q7 現在、教育現場の女性管理職の比率は低い状況です。その理由として以下の事柄はどの程度あてはまると考えますか。

		1 とてもあてはまる	2 ややあてはまる	3 どちらともいえない	4 あまりあてはまらない	5 全くあてはまらない	
(1) 採用する側に男性を優先する意識がある	度数(人)	4	12	4	6	3	n=29
	割合	13.8%	41.4%	13.8%	20.7%	10.3%	
(2) 女性自身の能力が不足している	度数(人)	1	0	3	8	17	n=29
	割合	3.4%	0.0%	10.3%	27.6%	58.6%	
(3) 女性自身の意欲が不足している	度数(人)	1	6	5	5	12	n=29
	割合	3.4%	20.7%	17.2%	17.2%	41.4%	
(4) 女性にとって家庭責任との両立が困難である	度数(人)	5	15	4	2	3	n=29
	割合	17.2%	51.7%	13.8%	6.9%	10.3%	
(5) 女性は早期に離職する可能性が高い	度数(人)	1	6	10	10	2	n=29
	割合	3.4%	20.7%	34.5%	34.5%	6.9%	

Q8 あなたの現在の職場では、男女で担当する業務について、差別的な取り扱いがあると思いますか。

	顕著にある	少しある	どちらともいえない	ほとんどない	全くない	
度数(人)	1	3	7	8	10	n=29
割合	3.4%	10.3%	24.1%	27.6%	34.5%	

Q10 あなたは、大学内での男女共同参画を進める取り組みについてどう思いますか。

	ぜひともこのような取り組みは必要だ	どちらかといえばこのような取り組みは必要だ	どちらともいえない	このような取り組みはあまり必要ではない	このような取り組みは全く必要ではない	
度数(人)	17	11	1	0	0	n=29
割合	58.6%	37.9%	3.4%	0.0%	0.0%	

Q11(1) 本学では、障害者差別解消法が定められていることについて、周知が図られていると思いますか。

	十分に図られている	やや図られている	あまり図られていない	全く図られていない	わからない
度数(人)	4	13	6	0	5
割合	14.3%	46.4%	21.4%	0.0%	17.9%

Q12(1) 本学では、障がい者・障がい学生・生徒・児童・園児に配慮したバリアフリー設備（点字や音声等情報保障のある案内・トイレ・スロープ・エレベーター等）が整備されていると思いますか。

	十分に整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	全く整備されていない	わからない
度数(人)	3	12	7	0	6
割合	10.7%	42.9%	25.0%	0.0%	21.4%

Q13(1) 本学では、障がい者・障がい学生・生徒・児童・園児が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	全く整備されていない	わからない
度数(人)	1	15	4	2	6
割合	3.6%	53.6%	14.3%	7.1%	21.4%

Q14(1) 本学では、障がい者・障がい学生・生徒・児童・園児が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分にあり	ややあり	あまりない	全くない	わからない
度数(人)	0	13	4	2	9
割合	0.0%	46.4%	14.3%	7.1%	32.1%

Q15(1) 本学で、セクシュアルマイノリティへの差別的な言動や場面を見聞きしたことがありますか。（大学キャンパス内外を問わず、正課外活動や懇親会など本学が実施する諸活動を含みます。）

	見聞きしたことがある	見聞きしたことはない	わからない
度数(人)	0	19	9
割合	0.0%	67.9%	32.1%

Q16(1) 本学では、セクシュアルマイノリティに配慮した設備（トイレ・更衣室等）が整備されていると思いますか。

	十分に整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	全く整備されていない	わからない
度数(人)	0	5	10	3	9
割合	0.0%	18.5%	37.0%	11.1%	33.3%

Q17(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	全く整備されていない	わからない
度数(人)	1	2	7	0	18
割合	3.6%	7.1%	25.0%	0.0%	64.3%

Q18(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分に図られている	やや図られている	あまり図られていない	全く図られていない	わからない
度数(人)	0	1	7	1	19
割合	0.0%	3.6%	25.0%	3.6%	67.9%

Q19(1) 本学では、海外からの研究者・児童・生徒・学生・ALTが必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	全く整備されていない	わからない
度数(人)	2	4	3	1	18
割合	7.1%	14.3%	10.7%	3.6%	64.3%

Q20(1) 本学では、海外からの研究者・児童・生徒・学生・ALTが、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分にあり	ややあり	あまりない	全くない	わからない
度数(人)	2	4	3	1	18
割合	7.1%	14.3%	10.7%	3.6%	64.3%

Q21 一般的に、附属学校園での研究・教育がより魅力的になり、また附属学校園での研究・教育を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか。

		1 とても有効	2 やや有効	3 どちらともいえない	4 あまり有効でない	5 全く有効でない
(1) 育児・介護と研究・教育を両立するための相談窓口	度数(人)	15	8	6	0	0
	割合	51.7%	27.6%	20.7%	0.0%	0.0%
(2) 学内保育所	度数(人)	14	12	2	1	0
	割合	48.3%	41.4%	6.9%	3.4%	0.0%
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	度数(人)	17	8	4	0	0
	割合	58.6%	27.6%	13.8%	0.0%	0.0%
(4) 学内学童保育所 (常設)	度数(人)	14	8	5	2	0
	割合	48.3%	27.6%	17.2%	6.9%	0.0%
(5) 育児に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	度数(人)	19	8	2	0	0
	割合	65.5%	27.6%	6.9%	0.0%	0.0%
(6) 介護に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	度数(人)	19	8	2	0	0
	割合	65.5%	27.6%	6.9%	0.0%	0.0%

(7) 疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	度数(人)	19	7	3	0	0	n=29
	割合	65.5%	24.1%	10.3%	0.0%	0.0%	
(8) 在宅勤務制度	度数(人)	8	7	8	6	0	n=29
	割合	27.6%	24.1%	27.6%	20.7%	0.0%	
(9) セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントのない環境づくり	度数(人)	18	9	2	0	0	n=29
	割合	62.1%	31.0%	6.9%	0.0%	0.0%	
(10) 女性管理職の積極的採用・登用制度	度数(人)	12	9	7	1	0	n=29
	割合	41.4%	31.0%	24.1%	3.4%	0.0%	
(11) 短時間勤務制度	度数(人)	12	8	7	2	0	n=29
	割合	41.4%	27.6%	24.1%	6.9%	0.0%	
(12) 障がい者に配慮した設備、支援、制度	度数(人)	16	7	6	0	0	n=29
	割合	55.2%	24.1%	20.7%	0.0%	0.0%	
(13) セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度	度数(人)	16	6	6	1	0	n=29
	割合	55.2%	20.7%	20.7%	3.4%	0.0%	
(14) 定年退職後に利用可能な幅広い職務や処遇のある再雇用制度	度数(人)	12	8	7	2	0	n=29
	割合	41.4%	27.6%	24.1%	6.9%	0.0%	
(15) 長時間労働を評価しない人事評価制度	度数(人)	14	7	8	0	0	n=29
	割合	48.3%	24.1%	27.6%	0.0%	0.0%	

Q22 あなた自身が岡山大学での研究・教育を継続する上で、Q21に掲げたような支援を今、あるいは将来必要としていますか。または過去に必要としていましたか。

	今、必要である	今は必要ではないが、将来必要になると思う	今は必要ではないが、過去に必要としていた	過去も、今も、将来も必要ではない	n=26
度数(人)	10	15	1	0	
割合	38.5%	57.7%	3.8%	0.0%	

Q23 【Q22で、「今、必要である」または「今は必要ではないが、将来必要になると思う」を選択した方にお尋ねします】あなたが岡山大学での研究・教育を継続する上で、今、あるいは将来も必要と思われる支援を次のうちから3つまで選んでください。

	育児・介護と研究・教育を両立するための相談窓口	学内保育所	(保育所に通えない時の)病児・病後児保育	学内学童保育所(常設)	育児に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	n=25
度数(人)	5	6	5	1	6	
割合	20.0%	24.0%	20.0%	4.0%	24.0%	
	介護に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	在宅勤務制度	セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントのない環境づくり	女性管理職の積極的採用・登用制度	n=25
度数(人)	10	6	5	2	0	
割合	40.0%	24.0%	20.0%	8.0%	0.0%	
	短時間勤務制度	障がい者に配慮した設備、支援、制度	セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度	定年退職後に利用可能な幅広い職務や処遇のある再雇用制度	長時間労働を評価しない人事評価制度	n=25
度数(人)	6	2	1	3	7	
割合	24.0%	8.0%	4.0%	12.0%	28.0%	
	その他 具体的に					n=25
度数(人)	1					
割合	4.0%					

Q24 あなたは、岡山大学で研究・教育をする上で、次のようなことを感じていますか。

		1 いつも感じる	2 とてもよく感じる	3 よく感じる	4 時々感じる	5 めったに感じない	6 ほとんど感じない	7 そのように感じたことは一度もない	n=28
(1) 仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる	度数(人)	0	0	4	16	8	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	
(2) 職場では、元気が出て精神的になるように感じる	度数(人)	1	0	3	15	6	3	0	n=28
	割合	3.6%	0.0%	10.7%	53.6%	21.4%	10.7%	0.0%	
(3) 仕事に熱心である	度数(人)	1	0	9	16	1	1	0	n=28
	割合	3.6%	0.0%	32.1%	57.1%	3.6%	3.6%	0.0%	
(4) 仕事は、私に活力を与えてくれる	度数(人)	0	1	7	13	7	0	0	n=28
	割合	0.0%	3.6%	25.0%	46.4%	25.0%	0.0%	0.0%	
(5) 朝に目が覚めると、さあ仕事へ行こう、という気持ち	度数(人)	1	0	4	9	5	5	4	n=28
	割合	3.6%	0.0%	14.3%	32.1%	17.9%	17.9%	14.3%	
(6) 仕事に没頭していると、幸せだと感じる	度数(人)	0	1	6	9	7	5	0	n=28
	割合	0.0%	3.6%	21.4%	32.1%	25.0%	17.9%	0.0%	
(7) 自分の仕事に誇りを感じる	度数(人)	1	0	12	9	5	1	0	n=28
	割合	3.6%	0.0%	42.9%	32.1%	17.9%	3.6%	0.0%	
(8) 私は仕事にのめり込んでいる	度数(人)	0	1	5	11	5	6	0	n=28
	割合	0.0%	3.6%	17.9%	39.3%	17.9%	21.4%	0.0%	
(9) 仕事をしていると、つい夢中になってしまう	度数(人)	0	0	6	9	9	4	0	n=28
	割合	0.0%	0.0%	21.4%	32.1%	32.1%	14.3%	0.0%	

Q25 あなたは、岡山大学で研究・教育をする上で、次のようなことを感じていますか。

		1 とてもそう思う	2 ややそう思う	3 どちらともいえない	4 あまりそう思わない	5 全くそう思わない	
(1) 研究や教育などの拘束時間が長い	度数(人)	9	14	4	2	0	n=29
	割合	31.0%	48.3%	13.8%	6.9%	0.0%	
(2) 研究のための時間が十分に確保できない	度数(人)	4	15	8	1	1	n=29
	割合	13.8%	51.7%	27.6%	3.4%	3.4%	
(3) 教育のための時間が十分に確保できない	度数(人)	6	16	5	2	0	n=29
	割合	20.7%	55.2%	17.2%	6.9%	0.0%	
(4) 体力的にきつい時がある	度数(人)	9	15	3	2	0	n=29
	割合	31.0%	51.7%	10.3%	6.9%	0.0%	
(5) 学校園の雰囲気男性または女性中心でなじめないことがある	度数(人)	3	0	6	12	8	n=29
	割合	10.3%	0.0%	20.7%	41.4%	27.6%	
(6) 困ったときに気軽に相談できる同性が身近にいない	度数(人)	5	3	6	10	5	n=29
	割合	17.2%	10.3%	20.7%	34.5%	17.2%	
(7) 児童・生徒との人間関係に悩んでいる	度数(人)	3	2	7	15	2	n=29
	割合	10.3%	6.9%	24.1%	51.7%	6.9%	
(8) 保護者との人間関係に悩んでいる	度数(人)	1	4	7	15	2	n=29
	割合	3.4%	13.8%	24.1%	51.7%	6.9%	
(9) 教職員間の人間関係に悩んでいる	度数(人)	5	7	6	7	4	n=29
	割合	17.2%	24.1%	20.7%	24.1%	13.8%	
(10) 家族のための時間が十分に確保できない	度数(人)	11	9	5	2	2	n=29
	割合	37.9%	31.0%	17.2%	6.9%	6.9%	
(11) 研究・教育生活について家族や周囲の理解が少ない	度数(人)	3	1	6	13	6	n=29
	割合	10.3%	3.4%	20.7%	44.8%	20.7%	

Q26 あなたは、ウェルビーイングの概念を知っていましたか。

	よく知っていた	ある程度知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった	
度数(人)	1	6	9	11	n=27
割合	3.7%	22.2%	33.3%	40.7%	

Q27 あなた自身の現在の幸福度についての質問です。ハシゴを想像してみてください。ハシゴの各段には数字が降っており、ハシゴを上るにつれて数字は大きくなっていきます。最下段は“0”で、最上段は“10”です。最上段はあなたにとって“最高の人生”で、最下段は“最低の人生”です。今現在、あなたはハシゴの何段目に立っていると思いますか。

	0	1	2	3	4	5	6
度数(人)	0	0	0	2	3	6	4
割合	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	11.5%	23.1%	15.4%
	7	8	9	10			
度数(人)	5	5	0	1			
割合	19.2%	19.2%	0.0%	3.8%			

Q28 岡山大学では、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学を指目して、平成21年度に策定された「岡山大学ダイバーシティポリシー」を見直し、「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」の策定を進めています。岡山大学にダイバーシティポリシーがあることをあなたは知っていましたか。

	知っていた	知らなかった	
度数(人)	7	19	n=26
割合	26.9%	73.1%	

Q30 あなたの勤務体系は次のうち、どちらですか。

	常勤	非常勤	答えたくない	
度数(人)	26	2	0	n=28
割合	92.9%	7.1%	0.0%	

Q31 あなたには、現在、配偶者がいますか。(婚姻届の有無は問いません)

	現在、配偶者がいる	いない(死別または離別した)	いない(結婚したことはない)	答えたくない	
度数(人)	16	0	12	0	n=28
割合	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%	

Q32 【Q31で「現在、配偶者がいる」を選択した方にお尋ねします】配偶者の勤務状況について、次のうちあてはまるものを選択してください。

	無職	パートタイム勤務	フルタイム勤務	自営業	その他	答えたくない	
度数(人)	1	3	10	1	0	1	n=16
割合	6.3%	18.8%	62.5%	6.3%	0.0%	6.3%	

Q33 あなたに高校生までのお子さんはいますか。

	いる	いない	答えたくない	
度数(人)	10	16	1	n=27
割合	37.0%	59.3%	3.7%	

Q34 あなたに介護を必要とする近親者はいますか。

	介護が必要な近親者と同居している	介護が必要な近親者と別居している	介護が必要な近親者がいない	答えたくない
度数(人)	1	6	20	2
割合	3.4%	20.7%	69.0%	6.9%

n=29

1-4. 大学院生

ダイバーシティに関するアンケート [大学院生 (ポスドク含む)] 集計結果

Q1 あなたの性別を教えてください。

	男性	女性	その他	答えたくない	n=200
度数(人)	100	98	1	1	
割合	50.0%	49.0%	0.5%	0.5%	

Q2 あなたは2021年2月1日現在で何歳ですか。

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	答えたくない	n=196
度数(人)	120	54	12	4	2	4	
割合	61.2%	27.6%	6.1%	2.0%	1.0%	2.0%	

Q3 あなたの専門分野は、次のうちどれですか。

	人文社会科学	自然科学	医歯薬学	その他	答えたくない	n=199
度数(人)	46	85	64	2	2	
割合	23.1%	42.7%	32.2%	1.0%	1.0%	

Q4 あなたは留学生ですか。

	はい	いいえ	答えたくない	n=200
度数(人)	79	119	2	
割合	39.5%	59.5%	1.0%	

Q5 あなたは学部卒業後（博士後期課程の方は博士前期課程修了後も含む）に社会人経験（勤務経験）がありますか。

	ある	ない	答えたくない	n=196
度数(人)	76	117	3	
割合	38.8%	59.7%	1.5%	

Q6 あなたの所属する課程は次のうちどれですか。

	博士前期課程・修士課程	博士後期課程・博士課程	専門職学位課程	研究生	ポスドク	答えたくない	n=198
度数(人)	95	72	5	14	11	1	
割合	48.0%	36.4%	2.5%	7.1%	5.6%	0.5%	

Q7 あなたは、1週間に平均何時間くらい研究や学修に費やしていますか。自宅での仕事時間も合わせて教えてください。

	38.75時間未満	38.75時間以上50時間未満	50時間以上60時間未満	60時間以上70時間未満	70時間以上80時間未満	80時間以上	n=195
度数(人)	58	65	36	20	8	8	
割合	29.7%	33.3%	18.5%	10.3%	4.1%	4.1%	

Q8 あなたは、平日1日に平均何時間くらい家事（炊事、洗濯、掃除、買い物、家計管理など家庭での日常生活に関する様々な仕事や作業）・育児・介護に費やしていますか。（半角の数値を直接入力してください）

※平成28年度社会生活基本調査「妻の家事時間階級」に沿って集計

	なし	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上5時間未満	5時間以上6時間未満	6時間以上	n=186
度数(人)	6	5	47	48	28	10	14	28	
割合	3.2%	2.7%	25.3%	25.8%	15.1%	5.4%	7.5%	15.1%	

Q9 次の意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当するものを選択してください。

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 思わない	n=200
(1) 家族を（経済的に）養うのは男性の役割だ	度数(人) 23	66	39	72	
	割合 11.5%	33.0%	19.5%	36.0%	
(2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ	度数(人) 7	38	59	96	n=200
	割合 3.5%	19.0%	29.5%	48.0%	
(3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである	度数(人) 4	14	57	125	n=200
	割合 2.0%	7.0%	28.5%	62.5%	
(4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児・介護の両立ができたほうがよい	度数(人) 147	37	5	11	n=200
	割合 73.5%	18.5%	2.5%	5.5%	

Q10 女子学生の比率は、文系では比較的多く、理系では比較的小さい傾向にあります。その理由として、以下の事柄はどの程度あてはまると思いますか。

	1 とてもあてはまる	2 ややあてはまる	3 どちらともいえない	4 あまりあてはまらない	5 全くあてはまらない	n=200	
(1) 女性は文系、男性は理系という社会通念のため	度数(人) 16	48	48	39	49		n=200
	割合 8.0%	24.0%	24.0%	19.5%	24.5%		
(2) 高校で女性には文系、男性には理系の進路を勧めるため	度数(人) 7	33	43	45	72	n=200	
	割合 3.5%	16.5%	21.5%	22.5%	36.0%		
(3) 親が女性には文系、男性には理系の進路を期待するため	度数(人) 6	39	42	43	70	n=200	
	割合 3.0%	19.5%	21.0%	21.5%	35.0%		
(4) 女性は文系科目が得意で、男性は理数系科目が得意であるため	度数(人) 13	61	41	36	49	n=200	
	割合 6.5%	30.5%	20.5%	18.0%	24.5%		

(5) ロールモデルとなるような理系の女性研究者・教員が少ないため	度数(人)	24	79	43	31	23	n=200
	割合	12.0%	39.5%	21.5%	15.5%	11.5%	

Q11 岡山大学におけるこれまでの男女共同参画室の取り組みを評価できますか。

	評価できる	どちらかという と評価できる	どちらかという と評価できない	評価できない	男女共同参 画室の取り組 みを知らない	n=190
度数(人)	28	31	11	11	109	
割合	14.7%	16.3%	5.8%	5.8%	57.4%	

Q12 本学では、障害者差別解消法が定められていることについて、周知が図られていると思いますか。

	十分に図られ ている	やや図られて いる	あまり図られ ていない	全く図られて いない	わからない	n=199
度数(人)	24	52	40	12	71	
割合	12.1%	26.1%	20.1%	6.0%	35.7%	

Q13(1) 本学では、障がい者・障がい学生に配慮したバリアフリー設備（点字や音声等情報保障のある案内・トイレ・スロープ・エレベーター等）が整備されていると思いますか。

	十分に整備さ れている	やや整備され ている	あまり整備さ れていない	全く整備され ていない	わからない	n=195
度数(人)	33	116	23	3	20	
割合	16.9%	59.5%	11.8%	1.5%	10.3%	

Q14(1) 本学では、障がい者・障がい学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備さ れている	やや整備され ている	あまり整備さ れていない	全く整備され ていない	わからない	n=194
度数(人)	26	49	11	1	107	
割合	13.4%	25.3%	5.7%	0.5%	55.2%	

Q15(1) 本学では、障がい者・障がい学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分にある	ややある	あまりない	全くない	わからない	n=194
度数(人)	32	51	19	1	91	
割合	16.5%	26.3%	9.8%	0.5%	46.9%	

Q16(1) 本学で、セクシュアルマイノリティへの差別的な言動や場面を見聞きしたことがありますか。（大学キャンパス内外を問わず、正課外活動や懇親会など本学が実施する諸活動を含みます。）

	見聞きしたこ とがある	見聞きしたこ とはない	わからない	n=195
度数(人)	27	117	51	
割合	13.8%	60.0%	26.2%	

Q17(1) 本学では、セクシュアルマイノリティに配慮した設備（トイレ・更衣室等）が整備されていると思いますか。

	十分に整備さ れている	やや整備され ている	あまり整備さ れていない	全く整備され ていない	わからない	n=191
度数(人)	21	33	53	25	59	
割合	11.0%	17.3%	27.7%	13.1%	30.9%	

Q18(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備さ れている	やや整備され ている	あまり整備さ れていない	全く整備され ていない	わからない	n=184
度数(人)	18	24	19	4	119	
割合	9.8%	13.0%	10.3%	2.2%	64.7%	

Q19(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分にある	ややある	あまりない	全くない	わからない	n=189
度数(人)	16	28	21	10	114	
割合	8.5%	14.8%	11.1%	5.3%	60.3%	

Q20(1) 本学では、海外からの研究者・学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

	十分に整備さ れている	やや整備され ている	あまり整備さ れていない	全く整備され ていない	わからない	n=198
度数(人)	33	78	27	7	53	
割合	16.7%	39.4%	13.6%	3.5%	26.8%	

Q21(1) 本学では、海外からの研究者・学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

	十分にある	ややある	あまりない	全くない	わからない	n=199
度数(人)	32	64	33	4	66	
割合	16.1%	32.2%	16.6%	2.0%	33.2%	

Q22 一般的に、大学での研究職がより魅力的になり、また大学での研究を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか。

(1) 育児・介護と研究を両立するための相談窓口		1 とても有効	2 やや有効	3 どちらともい えない	4 あまり有効 でない	5 全く有効で ない	n=199
	度数(人)	67	79	45	3	5	
	割合	33.7%	39.7%	22.6%	1.5%	2.5%	

(2) 学内保育所	度数(人)	81	74	41	1	2	n=199
	割合	40.7%	37.2%	20.6%	0.5%	1.0%	
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	度数(人)	82	76	37	1	3	n=199
	割合	41.2%	38.2%	18.6%	0.5%	1.5%	
(4) 学内学童保育所 (常設)	度数(人)	75	73	45	3	3	n=199
	割合	37.7%	36.7%	22.6%	1.5%	1.5%	
(5) 育児に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実	度数(人)	97	61	39	0	2	n=199
	割合	48.7%	30.7%	19.6%	0.0%	1.0%	
(6) 介護に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実	度数(人)	93	67	35	1	3	n=199
	割合	46.7%	33.7%	17.6%	0.5%	1.5%	
(7) 疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実	度数(人)	97	68	28	3	3	n=199
	割合	48.7%	34.2%	14.1%	1.5%	1.5%	
(8) 在宅勤務制度	度数(人)	78	74	34	8	5	n=199
	割合	39.2%	37.2%	17.1%	4.0%	2.5%	
(9) セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントのない環境づくり	度数(人)	96	63	34	3	3	n=199
	割合	48.2%	31.7%	17.1%	1.5%	1.5%	
(10) 女性研究者の積極的採用制度	度数(人)	63	57	64	8	7	n=199
	割合	31.7%	28.6%	32.2%	4.0%	3.5%	
(11) 短時間勤務制度	度数(人)	67	67	49	11	5	n=199
	割合	33.7%	33.7%	24.6%	5.5%	2.5%	
(12) 研究者のためのメンタープログラム	度数(人)	70	73	48	2	6	n=199
	割合	35.2%	36.7%	24.1%	1.0%	3.0%	
(13) 障がい者に配慮した設備、支援、制度	度数(人)	84	71	38	3	3	n=199
	割合	42.2%	35.7%	19.1%	1.5%	1.5%	
(14) セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度	度数(人)	67	70	51	6	5	n=199
	割合	33.7%	35.2%	25.6%	3.0%	2.5%	
(15) 外国人教員や留学生のための日本語教育の充実	度数(人)	81	72	34	6	6	n=199
	割合	40.7%	36.2%	17.1%	3.0%	3.0%	
(16) 外国人教員や留学生に配慮した情報伝達のしくみ (英語・やさしい日本語での表記、文書のデータ提供)	度数(人)	96	74	19	5	5	n=199
	割合	48.2%	37.2%	9.5%	2.5%	2.5%	

Q23 あなた自身が岡山大学での研究を継続する上で、Q22に掲げたような支援を今、あるいは将来必要としていますか。または過去に必要としましたか。

	今、必要である	今は必要ではないが、将来必要になると思う	今は必要ではないが、過去に必要としていた	過去も、今も、将来も必要ではない	n=178
度数(人)	49	79	16	34	
割合	27.5%	44.4%	9.0%	19.1%	

Q24 【Q23で、「今、必要である」または「今は必要ではないが、将来必要になると思う」を選択した方にお尋ねします】あなた自身が岡山大学での研究を継続する上で、今、あるいは将来も必要と思われる支援を次のうちから3つまで選んでください。

	育児・介護と研究を両立するための相談窓口	学内保育所	(保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	学内学童保育所 (常設)	育児に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実	n=125
度数(人)	29	31	25	16	30	
割合	23.2%	24.8%	20.0%	12.8%	24.0%	
	介護に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実	疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実	在宅勤務制度	セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントのない環境づくり	女性研究者の積極的採用制度	n=125
度数(人)	16	17	28	20	17	
割合	12.8%	13.6%	22.4%	16.0%	13.6%	
	短時間勤務制度	研究者のためのメンタープログラム	障がい者に配慮した設備、支援、制度	セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度	外国人教員や留学生のための日本語教育の充実	n=125
度数(人)	19	18	3	4	26	
割合	15.2%	14.4%	2.4%	3.2%	20.8%	
	外国人教員や留学生に配慮した情報伝達のしくみ (英語・やさしい日本語での表記、文書のデータ提供)	その他 具体的に				n=125
度数(人)	25	3				
割合	20.0%	2.4%				

Q25 あなたは、岡山大学で研究をする上で、次のようなことを感じていますか。

		1 いつも感じる	2 とてもよく感じる	3 よく感じる	4 時々感じる	5 めったに感じない	6 ほとんど感じない	7 そのように感じたことは一度もない	n=197
(1) 研究をしていると、活気がみなぎるように感じる	度数(人)	21	37	36	67	21	7	8	
	割合	10.7%	18.8%	18.3%	34.0%	10.7%	3.6%	4.1%	
(2) 研究室では、元気が出て精神的になるように感じる	度数(人)	22	33	43	53	27	8	11	n=197
	割合	11.2%	16.8%	21.8%	26.9%	13.7%	4.1%	5.6%	
(3) 研究に熱心である	度数(人)	38	43	47	46	14	6	3	n=197
	割合	19.3%	21.8%	23.9%	23.4%	7.1%	3.0%	1.5%	
(4) 研究は、私に活力を与えてくれる	度数(人)	27	36	45	57	19	5	8	n=197
	割合	13.7%	18.3%	22.8%	28.9%	9.6%	2.5%	4.1%	

(5) 朝に目が覚めると、さあ研究へ行こう、という気持ち	度数(人)	17	27	36	52	34	17	14	n=197
	割合	8.6%	13.7%	18.3%	26.4%	17.3%	8.6%	7.1%	
(6) 研究に没頭していると、幸せだと感じる	度数(人)	30	35	42	49	26	7	8	n=197
	割合	15.2%	17.8%	21.3%	24.9%	13.2%	3.6%	4.1%	
(7) 自分の研究に誇りを感じる	度数(人)	37	34	48	49	15	8	6	n=197
	割合	18.8%	17.3%	24.4%	24.9%	7.6%	4.1%	3.0%	
(8) 私は研究にのめり込んでいる	度数(人)	26	30	44	53	26	11	7	n=197
	割合	13.2%	15.2%	22.3%	26.9%	13.2%	5.6%	3.6%	
(9) 研究をしていると、つい夢中になってしまう	度数(人)	25	34	45	52	25	11	5	n=197
	割合	12.7%	17.3%	22.8%	26.4%	12.7%	5.6%	2.5%	

Q26 あなたは、岡山大学で研究をする上で、次のようなことを感じていますか。

		1 とてもそう思う	2 ややそう思う	3 どちらともいえない	4 あまりそう思わない	5 全くそう思わない	
(1) 研究や実験などの拘束時間が長い	度数(人)	21	44	45	46	42	n=198
	割合	10.6%	22.2%	22.7%	23.2%	21.2%	
(2) 研究のための時間が十分に確保できない	度数(人)	22	44	46	52	34	n=198
	割合	11.1%	22.2%	23.2%	26.3%	17.2%	
(3) 体力的にきつい時がある	度数(人)	26	65	52	31	24	n=198
	割合	13.1%	32.8%	26.3%	15.7%	12.1%	
(4) 研究室の雰囲気や男性または女性中心でなじめないことがある	度数(人)	9	17	32	56	84	n=198
	割合	4.5%	8.6%	16.2%	28.3%	42.4%	
(5) 困ったときに気軽に相談できる同性が身近にいない	度数(人)	22	31	33	49	63	n=198
	割合	11.1%	15.7%	16.7%	24.7%	31.8%	
(6) 教員との人間関係に悩んでいる	度数(人)	12	25	25	50	86	n=198
	割合	6.1%	12.6%	12.6%	25.3%	43.4%	
(7) 学生間の人間関係に悩んでいる	度数(人)	9	21	34	44	90	n=198
	割合	4.5%	10.6%	17.2%	22.2%	45.5%	
(8) 自分自身または周りの学生がセクシュアル・ハラスメントを受けている(受けたことがあ	度数(人)	9	8	30	31	120	n=198
	割合	4.5%	4.0%	15.2%	15.7%	60.6%	
(9) 自分自身または周りの学生がアカデミック・ハラスメントを受けている(受けたことがあ	度数(人)	13	19	33	37	96	n=198
	割合	6.6%	9.6%	16.7%	18.7%	48.5%	
(10) 家族のための時間が十分に確保できない	度数(人)	17	34	33	54	60	n=198
	割合	8.6%	17.2%	16.7%	27.3%	30.3%	
(11) 研究生活について家族や周囲の理解が少ない	度数(人)	12	24	37	54	71	n=198
	割合	6.1%	12.1%	18.7%	27.3%	35.9%	
(12) 女性のほうが就職に関して不利だと思う。	度数(人)	13	34	51	40	60	n=198
	割合	6.6%	17.2%	25.8%	20.2%	30.3%	

Q27 あなたは、ウェルビーイングの概念を知っていましたか。

	よく知っていた	ある程度知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった	
度数(人)	37	57	34	69	n=197
割合	18.8%	28.9%	17.3%	35.0%	

Q28 あなた自身の現在の幸福度についての質問です。ハジゴを想像してみてください。ハジゴの各段には数字が降っており、ハジゴを上るにつれて数字は大きくなっていきます。最下段は“0”で、最上段は“10”です。最上段はあなたにとって“最高の人生”で、最下段は“最低の人生”です。今現在、あなたはハジゴの何段目に立っていると思いますか。

	0	1	2	3	4	5	6
度数(人)	2	2	8	11	16	34	26
割合	1.1%	1.1%	4.2%	5.8%	8.4%	17.9%	13.7%
	7	8	9	10			
度数(人)	34	37	15	5	n=190		
割合	17.9%	19.5%	7.9%	2.6%			

Q29 岡山大学では、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学を目指して、平成21年度に策定された「岡山大学ダイバーシティポリシー」を見直し、「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」の策定を進めています。岡山大学にダイバーシティポリシーがあることをあなたは知っていましたか。

	知っていた	知らなかった	
度数(人)	46	142	n=188
割合	24.5%	75.5%	

Q31 あなたには、現在、配偶者がいますか。(婚姻届の有無は問いません)

	現在、配偶者がいる	いない(死別または離別した)	いない(結婚したことはない)	答えたくない	
度数(人)	53	11	131	1	n=196
割合	27.0%	5.6%	66.8%	0.5%	

Q32 【Q31で「現在、配偶者がいる」を選択した方にお尋ねします】配偶者の勤務状況について、次のうちあてはまるものを選択してください。

	無職	パートタイム勤務	フルタイム勤務	自営業	大学院生	その他	答えたくない	
度数(人)	10	4	25	1	7	3	3	n=53
割合	18.9%	7.5%	47.2%	1.9%	13.2%	5.7%	5.7%	

Q33 あなたに高校生までのお子さんはいますか。

	いる	いない	答えたくない	
度数(人)	26	149	8	n=183
割合	14.2%	81.4%	4.4%	

Q34 あなたに介護を必要とする近親者はいますか。

	介護が必要な近親者と同居している	介護が必要な近親者と別居している	介護が必要な近親者はいない	答えたくない	
度数(人)	5	22	144	24	n=195
割合	2.6%	11.3%	73.8%	12.3%	

資料2. ダイバーシティに関するアンケート

2-1. 教員用和文

ダイバーシティに関するアンケート[教員用][和文]

ページ 1

・あなた自身についてお聞きします (Q1-4)

Q1 あなたの性別を教えてください。

- 男性 女性 その他 答えたくない

Q2 あなたは2021年2月1日現在で何歳ですか。

- 20代以下 30代 40代 50代 60代以上 答えたくない

Q3 あなたの現在の職位は、次のうちどれですか。

- 教授 准教授 専任講師 助教 助手・医員 答えたくない

Q4 あなたの専門分野は、次のうちどれですか。

- 人文社会科学 自然科学 医歯薬学 その他
 答えたくない

ページ 2

・ワークライフバランスについて (Q5-7)

Q5 あなたは、**1週間に平均何時間くらい**仕事（教育・研究・学内行政業務を含む）に費やしていますか。自宅での仕事時間も含めて教えてください。

- 38.75時間未満 38.75時間以上50時間未満 50時間以上60時間未満
 60時間以上70時間未満 70時間以上80時間未満 80時間以上

Q6 あなたは、**平日1日に平均何時間くらい**家事（炊事、洗濯、掃除、買い物、家計管理など家庭での日常生活に関する様々な仕事や作業）・育児・介護に費やしていますか。（半角の数値を直接入力してください）

Q7 もし、あなたに、今、1日3時間の自由な時間ができた場合、次のうちどの活動に使いたいですか。（**チェックは2つまで**）

- 学（院）内業務
 教育業務
 研究
 休憩・睡眠
 家族と一緒に過ごす
 家事・育児・介護

趣味・余暇活動

その他

ページ 3

・男女共同参画について (Q8-11)

Q8 次の意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当するものを選択してください。

- 1 そう思う
2 どちらかといえばそう思う
3 どちらかといえばそう思わない
4 そう思わない

- (1) 家族を（経済的に）養うのは男性の役割だ
(2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ
(3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである
(4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児・介護の両立ができたほうがよい

	1	2	3	4
(1)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q9 女子学生の比率は、文系では比較的多く、理系では比較的少ない傾向にあります。その理由として、以下の事柄はどの程度あてはまると思いますか。

- 1 とてもあてはまる
2 ややあてはまる
3 どちらともいえない
4 あまりあてはまらない
5 全くあてはまらない

- (1) 女性は文系、男性は理系という社会通念のため
(2) 高校で女性には文系、男性には理系の進路を勧めるため
(3) 女子生徒は文系の、男子生徒は理系の職業に就きたいという志向があるため
(4) 親が女性には文系、男性には理系の進路を期待するため
(5) 女性は文系科目が得意で、男性は理数系科目が得意であるため
(6) ロールモデルとなるような理系の女性研究者・教員が少ないため

	1	2	3	4	5
(1)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q10 現在、岡山大学の女性教員の在職比率は19.4%（専任教員・2020年度）であり、女子学生の在籍比率39.6%（2020年度）と比べて少ない状況です。その理由として以下の事柄はどの程度あてはまると思いますか。

- 1 とてもあてはまる
2 ややあてはまる
3 どちらともいえない

- 4 あまりあてはまらない
5 全くあてはまらない

- (1) 採用する側に男性を優先する意識がある
(2) 女性自身の能力が不足している
(3) 女性自身の意欲が不足している
(4) 女性にとって育児期間後の復帰が困難である
(5) 女性は早期に離職する可能性が高い
(6) 女性が専攻する分野に偏りがある
(7) 応募者の女性比率そのものが低い

	1	2	3	4	5
(1)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- (8) (1)～(7)以外に考えられる理由がありましたら具体的に記入してください。

Q11 岡山大学におけるこれまでの男女共同参画室の取り組みを評価できますか。

- 評価できる どちらかという評価できる どちらかという評価できない
 評価できない 男女共同参画室の取り組みを知らない

・その他多様な参画について (Q12-21)

2016年4月に施行された「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律」により、大学においても「不当な差別的取り扱いの禁止」※1と「合理的配慮の提供」※2が定められました。法の施行から5年を迎えるにあたり、以下のことについてお伺いします。(Q12-15)

※1 正当な理由なく障がいを理由として拒否・制限・条件付け等を行うこと

※2 社会の中にあるバリアによって生活や参加がしづらい申し出があった場合に、必要な対応を行うこと

Q12(1) 本学では、上記の法律が定められていることについて、周知が図られていると思いますか。

- 十分に図られている やや図られている あまり図られていない
 全く図られていない わからない

Q12(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q13(1) 本学では、障がい者・障がい学生に配慮したバリアフリー設備(点字や音声等情報保障のある案内・トイレ・スロープ・エレベーター等)が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q13(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q14(1) 本学では、障がい者・障がい学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q14(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q15(1) 本学では、障がい者・障がい学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分に有る やや有る あまりない 全くない わからない

Q15(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

セクシュアルマイノリティには、LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)やXジェンダー(性自認が男女どちらかに決まっていない)、アセクシュアル(無性愛)などがあり、約13人に1人の割合で存在しているとも言われています。セクシュアルマイノリティに関し、以下のことについてお伺いします。(Q16-19)

Q16(1) 本学で、セクシュアルマイノリティへの差別的な言動や場面を見聞きしたことがありますか。(大学キャンパス内外を問わず、正課外活動や懇親会など本学が実施する諸活動を含みます。)

- 見聞きしたことがある 見聞きしたことはない わからない

Q16(2) どのような言動を見聞きしたか、ご記入ください（任意回答）

Q17(1) 本学では、セクシュアルマイノリティに配慮した設備（トイレ・更衣室等）が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q17(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

Q18(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q18(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

Q19(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q19(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

本学は、SGU（スーパーグローバル大学創成支援）事業に採択されている大学であり、積極的にキャンパスのグローバル化に取り組み、海外からの研究者・学生を迎え入れてきました。以下のごことについてお伺いします。（Q20-21）

Q20(1) 本学では、海外からの研究者・学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q20(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

Q21(1) 本学では、海外からの研究者・学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q21(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

ページ 5

・大学における研究・教育等について（Q22-26）

Q22 一般的に、大学での研究・教育職がより魅力的になり、また大学での研究・教育を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか。

- 1 とても有効
- 2 やや有効
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり有効でない
- 5 全く有効でない

- (1) 育児・介護と研究・教育を両立するための相談窓口
(2) 学内保育所
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育
(4) 学内学童保育所（常設）

	1	2	3	4	5
(1) 育児・介護と研究・教育を両立するための相談窓口	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 学内保育所	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 学内学童保育所（常設）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- (10) 家族のための時間が十分に確保できない
(11) 研究生活について家族や周囲の理解が少ない

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ページ 6

・ウェルビーイングとダイバーシティ&インクルージョンについて (Q27-30)

1946年 世界保健機構 (WHO) 憲章において「健康」が定義され、その中でwell-being (ウェルビーイング) は身体的、精神的、社会的に良好な状態という意味で使用されています。本学では一人ひとりがウェルビーイングであることが、ダイバーシティ&インクルージョンの実現にとって重要と考えています。それをふまえて、以下のことについてお伺いします。

Q27 あなたは、ウェルビーイングの概念を知っていましたか。

- よく知っていた ある程度知っていた あまり知らなかった 全く知らなかった

Q28 あなた自身の現在の幸福度についての質問です。

ハシゴを想像してみてください。ハシゴの各段には数字が降っており、ハシゴを上るにつれて数字は大きくなっていきます。最下段は“0”で、最上段は“10”です。最上段はあなたにとって“最高の人生”で、最下段は“最低の人生”です。今現在、あなたはハシゴの何段目に立っていると思いますか。

- 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

Q29 岡山大学では、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学を目指して、平成21年度に策定された「岡山大学ダイバーシティポリシー」を見直し、「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」の策定を進めています。岡山大学にダイバーシティポリシーがあることをあなたは知っていましたか。

- 知っていた 知らなかった

Q30 岡山大学が、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学となるために、あなたが必要だとと思うこと、あるいは問題と考えることは何ですか。ご自由に意見をお書きください。

岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー (素案)

岡山大学は、多様な属性・個性を持つ一人一人の構成員が、互いの価値を理解し合い尊重し、それぞれの特性を活かして共に成長できる大学となります。そのために、ジェンダー、国籍、年齢、障がいの有無だけでなく、価値観、セクシャルリティ、働き方等の多様性を認め合い、様々なステークホルダーと協働するための基盤をつくります。

このようなダイバーシティ&インクルージョンの実践により、大学組織の創造性、革新性、しなやかさをより一層高め、本学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を目指します。そして、サステナビリティとウェルビーイングを追求する研究大学とし

て、新たな価値を創造し、誰一人取り残さない共生社会の実現に寄与します。

ここに本学は、「岡山大学ダイバーシティポリシー」(平成21年10月20日制定)を基盤に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定し、すべての構成員共通の価値と位置づけ、そのもとで行動していきます。

岡山大学ダイバーシティポリシー

平成21年10月20日制定

岡山大学では、性別、国籍、年齢、障害の有無に関する構成員の多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努める。これを以て組織の発想の創造性、革新性、強靱さおよび変化への柔軟性を高める。そして優秀な職員の確保と定着を促しながら、多様性の中で育まれた知性を世に送り出して、共生社会の実現に尽力する。

本学の理念である、「高度な知の創成(研究)」には、偏見や差別に左右されない能力主体の人材登用・育成をもってあたり、常に新たな知識基盤を構築していくために、発想の多様性を活用していく。「的確な知の継承(教育)」には、教育の場において、多様な構成員から成る学びの空間で、異なる文化・価値観を尊重する精神を育み、様々な職員の発想を活かして多岐に渡る学生のニーズに対応していく。さらに、社会貢献の一助として、学内の就業機会を社会参加の道として提供し、加齢や障害の有無等に関わらず幅広く社会の構成員の力を活用する。

上記のダイバーシティ文化の推進にあたり、体制を整え、葛藤の問題を乗り越える努力を継続し、長期的視野で組織の持続的発展を目指す。

ページ 7

・最後に、もう一度あなた自身についてお尋ねします (Q31-36)

Q31 あなたの国籍は次のうち、どれですか。

- 日本 日本以外 日本と日本以外の多重国籍 答えたくない

Q32 あなたの雇用契約は次のうち、どちらですか。

- 任期なし(テニユア・トラックを含む) 任期付き 答えたくない

Q33 あなたには、現在、配偶者がいますか。(婚姻届の有無は問いません)

- 現在、配偶者がいる いない(死別または離別した)
 いない(結婚したことはない) 答えたくない

Q34 【Q33で「現在、配偶者がいる」を選択した方にお尋ねします】

配偶者の勤務状況について、次のうちあてはまるものを選択してください。

- 無職 パートタイム勤務 フルタイム勤務 自営業 その他
 答えたくない

Q35 あなたに高校生までのお子さんはいますか。

- いる いない 答えたくない

Q36 あなたに介護を必要とする近親者はいますか。

- 介護が必要な近親者と同居している
- 介護が必要な近親者と別居している
- 介護が必要な近親者はいない
- 答えたくない

アンケートは以上です。ご回答ありがとうございました。

ウィンドウを閉じる

Questionnaire on Diversity [for faculty]

ページ 1

・ We ask the following questions about yourself (Q1-4)

Q1 Please indicate your gender.

- Male Female Other No answer

Q2 What is your age as of February 1, 2021?

- 20s or younger 30s 40s 50s 60s and above No answer

Q3 Which position among the following do you hold currently?

- Professor Associate professor Senior assistant professor
 Assistant professor Research associate or medical staff No answer

Q4 In which field among the following is your specialty?

- Humanities and social sciences Natural sciences
 Medicine, dentistry and pharmaceutical sciences
 Other No answer

ページ 2

・ The following questions ask about your work-life balance. (Q5-7)

Q5 How many hours **a week on average** do you spend working (including teaching, doing research and university administration)? Please include any time you spend working at home.

- Less than 38.75 hrs From 38.75 to less than 50 hrs.
 From 50 to less than 60 hrs. From 60 to less than 70 hrs.
 From 70 hrs. to less than 80 hrs. 80 hrs. or more

Q6 How many hours on average do you spend **on each weekday** at housekeeping (cooking, laundry, cleaning, shopping, family budget management and various other tasks in connection with daily life in your household), child raising and caregiving? (Please enter the figure using half-width numerals.)

Q7 If you were given three hours of free time a day, which of the following activities would you like to spend them on? (Check one or two.)

- University administration
 Educational work
 Research
 Resting or sleep
 Time with family
 Housekeeping, child raising or caregiving
 Hobbies or leisure activities
 Other

ページ 3

・ The following questions ask for your views on gender equality (Q8-11)

Q8 What do you think of the following opinions? Choose the response that is closest to your own feelings about each of the following opinions by checking the appropriate box in the response columns.

- 1 Agree
 2 Agree somewhat
 3 Disagree somewhat
 4 Disagree

(1) It is a man's role to support his family (economically).

(2) Mothers should not work but devote themselves to child raising until their children are about three years old.

(3) Men should work outside the home and women should maintain the household.

(4) It would be better for both men and women to share responsibility for work, housekeeping, child raising and caregiving.

	1	2	3	4
(1) It is a man's role to support his family (economically).	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) Mothers should not work but devote themselves to child raising until their children are about three years old.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) Men should work outside the home and women should maintain the household.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) It would be better for both men and women to share responsibility for work, housekeeping, child raising and caregiving.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q9 The ratio of female students is relatively high in the humanities/social sciences, but relatively low in the sciences. Among the following possible reasons for that, to what extent do you agree or disagree?

- 1 Agree
 2 Agree somewhat
 3 Neither agree nor disagree
 4 Disagree somewhat
 5 Disagree

(1) Because women in humanities/social sciences and men in sciences is the social norm.

	1	2	3	4	5
(1) Because women in humanities/social sciences and men in sciences is the social norm.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- (2) Because in high school, girls are advised to pursue humanities/social sciences and boys, sciences.
- (3) Because women are inclined toward careers in humanities/social sciences and men toward careers in sciences.
- (4) Because parents expect their daughters to pursue humanities/social sciences and their sons to pursue sciences.
- (5) Because women are better skilled in humanities/social sciences subjects and men in scientific subjects.
- (6) Because there are few female researchers or teachers serving as role models in sciences.

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q10 Currently, women comprise 19.4% of the faculty at Okayama University (full-time teachers, fiscal year 2020), few compared to the 39.5% ratio of female students. Among the following possible reasons for that, to what extent do you agree or disagree?

- 1 Agree
- 2 Agree somewhat
- 3 Neither agree nor disagree
- 4 Disagree somewhat
- 5 Disagree

- (1) Because those hiring them give preference to men.
- (2) Because women themselves are insufficiently capable.
- (3) Because women themselves lack the desire.
- (4) Because women have trouble resuming their careers after child raising.
- (5) Because women have a high likelihood of quitting their jobs early.
- (6) Because there is bias in the fields women specialize in.
- (7) Because the ratio of women applying for positions is small itself.

	1	2	3	4	5
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(8) If you can think of reasons other than (1) through (7), please specify them below.

Q11 Please rate the Gender Equality Office's efforts so far at Okayama University.

- They are good
- They are somewhat good
- They are not very good
- They are not good
- I don't know well enough about their efforts to rate them

・ The following questions ask for your views on diversity management. (Q12-21)

The "Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities" which went into effect in April 2016 prescribes "prohibition of unfair discriminatory treatment"* and "provision of reasonable accommodation"**. We ask the following questions five years after this law came into effect. **(Q12-15)**

*Refusing, restricting or making conditions to offer goods and services or opportunities on the grounds of disability, without any proper reason.

**Extending needed help to persons with disabilities requesting it when social barriers make living or participation difficult for them.

Q12(1) Do you think wide knowledge of the above law has been achieved at our university?

- Achieved well
- Achieved somewhat
- Not achieved very well
- Not achieved at all
- I don't know

Q12(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q13(1) Do you think provision of barrier-free facilities (assurance of information accessibility through braille, audio, etc.; restrooms, slopes, elevators, etc.) in consideration of disabled students and other disabled persons has been achieved at our university?

- Achieved well
- Achieved somewhat
- Not achieved very well
- Not achieved at all
- I don't know

Q13(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q14(1) Do you think provision of consulting services regarding support needed by disabled students and other disabled persons has been achieved at our university?

- Achieved well Achieved somewhat Not achieved very well
 Not achieved at all I don't know

Q14(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q15(1) Do you think our university has an atmosphere that makes it easy for disabled students and other disabled persons to request consideration when needed?

- Very favorable Somewhat favorable Not very favorable
 Completely unfavorable I don't know

Q15(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Sexual minorities include LGBT (lesbian, gay, bisexual, transsexual), non-binary gender (self-identifying as neither male nor female), asexual and others; it is said that about one person in 13 belongs to a sexual minority. We ask the following questions regarding sexual minorities. **(Q16-19)**

Q16(1) Have you observed or heard of discriminatory behavior or speech toward sexual minorities at our university? (Both on and off campus, including extracurricular activities and social gatherings.)

- Yes, I have No, I have not I don't know

Q16(2) Please describe the kind of behavior or speech observed. (optional)

Q17(1) Do you think that provision of facilities in consideration of sexual minorities (restrooms, changing rooms, etc.) has been achieved at our university?

- Achieved well Achieved somewhat Not achieved very well
 Not achieved at all I don't know

Q17(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q18(1) Do you think that provision of consulting services regarding support needed by sexual minorities has been achieved at our university?

- Achieved well Achieved somewhat Not achieved very well
 Not achieved at all I don't know

Q18(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q19(1) Do you think our university has an atmosphere that makes it easy for sexual minorities to request consideration when needed?

- Very favorable Somewhat favorable Not very favorable
 Completely unfavorable I don't know

Q19(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Our university has been selected for the SGU (Top Global University in Japan) Project, and has been making proactive efforts for globalization of our campus, welcoming in researchers and students from abroad. We ask the following questions regarding researchers and students from abroad. **(Q20-21)**

Q20(1) Do you think that provision of consultation services regarding support needed by researchers and students from abroad has been achieved at our university?

- Achieved well Achieved somewhat Not achieved very well
 Not achieved at all I don't know

Q20(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q21(1) Do you think our university has an atmosphere that makes it easy for researchers and students from abroad to request consideration when needed?

- Very favorable
 Somewhat favorable
 Not very favorable
 Completely unfavorable
 I don't know

Q21(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

• The following questions ask about the overall research and educational content at universities. (Q22-26)

Q22 In general, do you think the following forms of support are effective at making research and teaching careers attractive or making it easy to continue research or teaching at universities, or do you think not?

- 1 Very effective
- 2 Somewhat effective
- 3 I can't tell
- 4 Not very effective
- 5 Completely ineffective

- (1) Consultation services for managing both child raising/care-giving and research/teaching
- (2) On-campus day care centers
- (3) Daycare for sick or convalescent children (if not otherwise going to a day care center)
- (4) On-campus after-school day care centers (permanent)
- (5) Enhancement of systems to support financial assistance, holidays and reinstatement with regard to child raising
- (6) Enhancement of systems to support financial assistance, holidays and reinstatement with regard to caregiving

	1	2	3	4	5
(1)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- (7) Enhancement of systems to support financial assistance, holidays and reinstatement with regard to managing both work and treatment of illnesses
- (8) Remote working systems
- (9) Creating an environment free from sexual harassment or academic harassment
- (10) Systems for proactively hiring female teachers
- (11) Short working hour systems
- (12) Mentor programs for researchers
- (13) Facilities, support and systems in consideration of disabled persons
- (14) Facilities, support and systems in consideration of sexual minorities
- (15) Enhancement of Japanese language education for international students and teachers
- (16) Mechanisms for conveying information in consideration of international students and teachers (written in English or simplified Japanese, provision of data for documents)
- (17) Re-employment systems that apply to a wider variety of work and severance types and can be used post-retirement
- (18) Performance appraisal that does not look at long working hours

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(19) Anything else, specifically

Q23 Do you yourself need any of the forms of support mentioned in Q22 to continue your research or teaching at Okayama University now or will you in the future? Did you need it in the past?

- I need it now
 I don't need it now, but think I will in the future
 I don't need it now, but did in the past
 I have not needed it in the past or now, nor will I in the future

Q24 [To all who replied "I need it now" or "I don't need it now, but think I will in the future" to Q23]

Please select up to three of the following forms of support that you need now or think you will in the future to continue your own research or teaching at Okayama University. (up to 3)

- Consultation services for managing both child raising/care-giving and research/teaching
 On-campus day care centers
 Daycare for sick or convalescent children (if not otherwise going to a day care center)
 On-campus after-school day care centers (permanent)
 Enhancement of systems to support financial assistance, holidays and reinstatement

with regard to child raising

- Enhancement of systems to support financial assistance, holidays and reinstatement with regard to caregiving
- Enhancement of systems to support financial assistance, holidays and reinstatement with regard to managing both work and treatment of illnesses
- Remote working systems
- Creating an environment free from sexual harassment or academic harassment
- Systems for proactively hiring female teachers
- Short working hour systems
- Mentor programs for researchers
- Facilities, support and systems in consideration of disabled persons
- Facilities, support and systems in consideration of sexual minorities
- Enhancement of Japanese language education for international students and teachers
- Mechanisms for conveying information in consideration of international students and teachers (written in English or simplified Japanese, provision of data for documents)
- Re-employment systems that apply to a wider variety of work and severance types and can be used post-retirement
- Performance appraisal that does not look at long working hours
- Anything else, specifically

Q25 Do you have, or not have, any of the following feelings when conducting your research or teaching at Okayama University?

- 1 Always
- 2 Very often
- 3 Often
- 4 Sometimes
- 5 Rarely
- 6 Almost never
- 7 Not even once

- (1) I feel full of vitality when I am working.
- (2) I feel uplifted and energized in my workplace.
- (3) I have enthusiasm for my work.
- (4) My work invigorates me.
- (5) When I wake up in the morning, I want to go straight to work.
- (6) When I am immersed in my work, I feel happy.
- (7) I take pride in my work.
- (8) I am absorbed in my work.
- (9) When I am working, I lose track of all else.

	1	2	3	4	5	6	7
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q26 Do you have, or not have, any of the following feelings when conducting your research or teaching at Okayama University?

- 1 I feel that way strongly
- 2 I feel that way somewhat
- 3 I can't say
- 4 I don't feel that way much
- 5 I don't feel that way at all

- (1) My total working hours in research, experimentation, etc. are long.
- (2) I can't ensure sufficient time for my research.
- (3) I can't ensure sufficient time for my teaching.
- (4) There are times when my work is physically demanding.
- (5) I can't fit in well because the laboratory atmosphere is male or female oriented.
- (6) There is no one of my gender nearby with whom I can consult freely when I have difficulties.
- (7) I have problems with interpersonal relations with my students.
- (8) I have problems with interpersonal relations with other teachers.
- (9) I have problems with interpersonal relations with staff members.
- (10) I can't ensure sufficient time for my family.
- (11) My family and friends have little understanding of research life.

	1	2	3	4	5
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ページ 6

• The following questions ask your views on well-being and on diversity & inclusion. (Q27-30)

The World Health Organization (WHO) defined 'health' in its charter in 1946, using "well-being" to mean being in good condition in body, in spirit and socially. At our university, we consider the well-being of each individual important from the standpoint of realizing diversity and inclusion. On this basis, we are asking the following questions.

Q27 Did you know about the concept of well-being?

- I knew about it well
- I knew about it somewhat
- I didn't know about it very well
- I didn't know about it at all

Q28 This is a question about your degree of happiness at this time.

Imagine a ladder. The rungs of the ladder are numbered, with the numbers increasing higher on the ladder. The lowest rung is marked "0," and the highest is marked "10." The highest rung represents the best possible life for you, and the lowest, the worst possible life for you. At this time, on what rung of the ladder would you stand?

- 0
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10

Q29 Okayama University aims to be a good place to work and study for all its members. We are in the process of revising the "Okayama University Diversity Policy" that was formulated in 2009 and proceeding with formulation of the "Okayama University Diversity and Inclusion Policy." Did you know about the existence of a diversity policy at Okayama University?

- I knew about it I didn't know about it

Q30 Regarding promotion of diversity and inclusion at Okayama University, to make it a good place to work and study for all its members, what does it need, or what issues do you think it has? Please express your opinion freely.

Okayama University Diversity & Inclusion Policy (draft)

Okayama University is the kind of place where each and every member, all with diverse attributes and individuality, can grow together, mutually respecting and recognizing each other's value and making good use of everyone's respective distinguishing traits. To achieve this, we are creating a basis for cooperation among the various stakeholders, with mutual recognition of diversity not only in gender, nationality, age and disability status, but also in values, sexuality, ways of working and so on.

By implementing this kind of diversity & inclusion, we increase the creativity, innovativeness and flexibility of our university's organization, aiming to achieve our university's goal of "Building up a new paradigm for a sustainable world." Furthermore, as a research university pursuing sustainability and well-being, we create new value and contribute to the realization of an inclusive society in which nobody is left behind.

Here, on the basis of the "Okayama University Diversity Policy" (established Oct. 20, 2009), we have established the "Okayama University Diversity & Inclusion Policy," declaring it a common value among all our members, and taking actions on this basis.

Okayama University Diversity Policy

Established Oct. 20, 2009

Okayama University will increase the diversity of its members in terms of gender, nationality, age and disabilities, endeavoring to encourage a culture of diversity. This way, we increase the originality of ideas at our university, together with our organization's creativity, innovativeness, resilience and ability to respond flexibly to changes. Also, while ensuring excellent staff and encouraging them to stay, we send out to the world intelligence fostered within diversity and strive for the realization of an inclusive society.

In our university's mission of "Creation of higher knowledge" (through research), we use diversity of ideas to always build new knowledge bases by ensuring that capable human resources are fostered and selected without the influence of bias or discrimination. In "Passing on of wisdom" (through education), we use the variety of ideas among our staff to foster a spirit of respect for different cultures and senses of values in educational settings, while meeting the needs of a wide variety of students in this seat of learning, with its diversity in membership. In addition, as part of our contribution to society, we offer routes for public participation through employment opportunities at our university, making use of the abilities of the wide range of society among our members, regardless of factors such as age or disabilities.

Through the above advances in diversity culture, we aim to improve our system, continue striving to overcome issues of conflict and develop our organization sustainably with a long-term view.

ページ 7

・ Finally, a few questions once again about yourself. (Q31-36)

Q31 Which of the following describes your nationality?

- Japanese Non-Japanese Both No answer

Q32 What is your hired position?

- Permanent (including Tenure-track) Fixed-term No answer

Q33 Do you currently have a spouse or partner in life (regardless of whether or not you have registered the marriage)?

- Currently, yes. No (due to death or separation) No (I've never had one)
 No answer

Q34 [To those who replied "Currently, yes" to Q33]

Regarding your spouse or partner's employment status, please choose the most suitable from among the following selections.

- Unemployed Employed part-time Employed full-time Self-employed
 Other No answer

Q35 Do you have any children of high school age or younger?

- Yes No No answer

Q36 Do you have any close relatives who require care-giving?

- I am living with a close relative who requires care-giving
 I am living separately from a close relative who requires care-giving
 I have no close relatives who require care-giving
 No answer

This is the end of the questionnaire. Thank you very much for your cooperation.

ウィンドウを閉じる

ダイバーシティに関するアンケート[職員用]

ページ 1

・あなた自身についてお聞きします (Q1-4)

Q1 あなたの性別を教えてください。

- 男性 女性 その他 答えたくない

Q2 あなたは2021年2月1日現在で何歳ですか。

- 20代以下 30代 40代 50代 60代以上 答えたくない

Q3 あなたの職種は次のうちどれにあたりますか。

- 事務職員 技術職員 医療系職員 その他 答えたくない

Q4 あなたは現在管理職ですか。

- 管理職 管理職ではない 答えたくない

ページ 2

・ワークライフバランスについて (Q5-6)

Q5 あなたは、1週間に平均何時間くらい職務に費やしていますか。

- 38.75時間未満 38.75時間以上50時間未満 50時間以上60時間未満
 60時間以上70時間未満 70時間以上80時間未満 80時間以上

Q6 あなたは、平日1日に平均何時間くらい家事（炊事、洗濯、掃除、買い物、家計管理など家庭での日常生活に関する様々な仕事や作業）・育児・介護に費やしていますか。（半角の数値を入力してください）

ページ 3

・男女共同参画について (Q7-11)

Q7 次の意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当するものを選択してください。

- 1 そう思う
 2 どちらかといえばそう思う
 3 どちらかといえばそう思わない
 4 そう思わない

- (1) 家族を（経済的に）養うのは男性の役割だ
 (2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ
 (3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである
 (4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児・介護の両立ができたほうがよい

	1	2	3	4
(1)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q8 現在、岡山大学の女性管理職の比率は、19%（2020年度）と低い状況です。その理由として以下の事柄はどの程度あてはまると思いますか。

- 1 とてもあてはまる
 2 ややあてはまる
 3 どちらともいえない
 4 あまりあてはまらない
 5 全くあてはまらない

- (1) 評価する側に男性を優先する意識がある
 (2) 女性自身の能力が不足している
 (3) 女性自身の意欲が不足している
 (4) 女性にとって家庭責任との両立が困難である
 (5) 女性は早期に離職する可能性が高い

	1	2	3	4	5
(1)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(6) (1)~(5)以外に考えられる理由がありましたら具体的に記入してください。

Q9 あなたの現在の職場では、男女で担当する業務について、差別的な取り扱いがあると思いますか。

- 顕著にある 少しある どちらともいえない ほとんどない 全くない

Q10 【Q9で「顕著にある」または「少しある」を選択した方にお尋ねします】

よろしければ、差別的取り扱いの内容を具体的に記入してください。

Q11 あなたは、大学内での男女共同参画を進める取り組みについてどう思いますか。

- ぜひともこのような取り組みは必要だ どちらかといえばこのような取り組みは必要だ
 どちらともいえない このような取り組みはあまり必要ではない

- このような取り組みは全く必要ではない

・その他多様な参画について (Q12-21)

2016年4月に施行された「障がい者を理由とする差別の解消の推進に関する法律」により、大学においても「不当な差別的取り扱いの禁止」※1と「合理的配慮の提供」※2が定められました。法の施行から5年を迎えるにあたり、以下のことについてお伺いします。(Q12-15)

※1 正当な理由なく障がいを理由として拒否・制限・条件付け等を行うこと

※2 社会の中にあるバリアによって生活や参加がしづらい申し出があった場合に、必要な対応を行うこと

Q12(1) 本学では、上記の法律が定められていることについて、周知が図られていると思いますか。

- 十分に図られている やや図られている あまり図られていない
 全く図られていない わからない

Q12(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q13(1) 本学では、障がい者・障がい学生に配慮したバリアフリー設備(点字や音声等情報保障のある案内・トイレ・スロープ・エレベーター等)が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q13(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q14(1) 本学では、障がい者・障がい学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q14(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q15(1) 本学では、障がい者・障がい学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q15(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

セクシュアルマイノリティには、LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)やXジェンダー(性自認が男女どちらかに決まっていない)、アセクシュアル(無性愛)などがあり、約13人に1人の割合で存在しているとも言われています。セクシュアルマイノリティに関し、以下のことについてお伺いします。(Q16-19)

Q16(1) 本学で、セクシュアルマイノリティへの差別的な言動や場面を見聞きしたことがありますか。(大学キャンパス内外を問わず、正課外活動や懇親会など本学が実施する諸活動を含みます。)

- 見聞きしたことがある 見聞きしたことはない わからない

Q16(2) どのような言動を見聞きしたか、ご記入ください(任意回答)

Q17(1) 本学では、セクシュアルマイノリティに配慮した設備(トイレ・更衣室等)が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q17(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q18(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q18(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

Q19(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分に図られている やや図られている あまり図られていない
 全く図られていない わからない

Q19(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

本学は、SGU（スーパーグローバル大学創成支援）事業に採択されている大学であり、積極的にキャンパスのグローバル化に取り組み、海外からの研究者・学生を迎え入れてきました。以下のごことについてお伺いします。（**Q20-21**）

Q20(1) 本学では、海外からの研究者・学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q20(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

Q21(1) 本学では、海外からの研究者・学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q21(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

ページ 5

・大学における職務等について（Q22-26）

Q22 一般的に、大学での職務がより魅力的になり、また大学での職務を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか。

- 1 とても有効
- 2 やや有効
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり有効でない
- 5 全く有効でない

- (1) 育児・介護と職務を両立するための相談窓口
- (2) 学内保育所
- (3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育
- (4) 学内学童保育所（常設）
- (5) 育児に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
- (6) 介護に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
- (7) 疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
- (8) 在宅勤務制度
- (9) セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントのない環境づくり
- (10) 女性職員の積極的採用・登用制度
- (11) 短時間勤務制度
- (12) 障がい者に配慮した設備、支援、制度

	1	2	3	4	5
(1)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(9)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(10)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(11)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(12)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- (13) セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度
- (14) 外国人教員や留学生のための日本語教育の充実
- (15) 外国人教員や留学生に配慮した情報伝達のしくみ（英語・やさしい日本語での表記、文書のデータ提供）
- (16) 定年退職後に利用可能な幅広い職務や処遇のある再雇用制度
- (17) 長時間労働を評価しない人事評価制度

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(18) その他 具体的に

Q23 あなた自身が岡山大学での職務を継続する上で、Q22に掲げたような支援を今、あるいは将来必要としていますか。または過去に必要としていましたか。

- 今、必要である 今は必要ではないが、将来必要になると思う
- 今は必要ではないが、過去に必要としていた 過去も、今も、将来も必要ではない

Q24 【Q23で、「今、必要である」または「今は必要ではないが、将来必要になると思う」を選択した方にお尋ねします】

あなた自身が大学で職務を継続する上で、今、あるいは将来もっとも必要と思われる支援を次のうちから3つまで選んでください。

- 育児・介護と職務を両立するための相談窓口
- 学内保育所
- （保育所に通えない時の）病児・病後児保育
- 学内学童保育所（常設）
- 育児に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
- 介護に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
- 疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
- 在宅勤務制度
- セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントのない環境づくり
- 女性職員の積極的採用・登用制度
- 短時間勤務制度
- 障がい者に配慮した設備、支援、制度
- セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度
- 外国人教員や留学生のための日本語教育の充実
- 外国人教員や留学生に配慮した情報伝達のしくみ（英語・やさしい日本語での表記、文書データ提供）
- 定年退職後に利用可能な幅広い職務や処遇のある再雇用制度
- 長時間労働を評価しない人事評価制度
- その他 具体的に

Q25 あなたは、岡山大学で職務をする上で、次のようなことを感じていますか。

- 1 いつも感じる
- 2 とてもよく感じる
- 3 よく感じる
- 4 時々感じる

- 5 めったに感じない
- 6 ほとんど感じない
- 7 そのように感じたことは一度もない

- (1) 仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる
- (2) 職場では、元気が出て精力的になるように感じる
- (3) 仕事に熱心である
- (4) 仕事は、私に活力を与えてくれる
- (5) 朝に目が覚めると、さあ仕事へ行こう、という気持ちになる
- (6) 仕事に没頭しているとき、幸せだと感じる
- (7) 自分の仕事に誇りを感じる
- (8) 私は仕事にのめり込んでいる
- (9) 仕事をしていると、つい夢中になってしまう

	1	2	3	4	5	6	7
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q26 次の事項について、あなたは現在、問題を感じていますか。

- 1 おおいに問題を感じている
- 2 やや問題を感じている
- 3 あまり問題を感じていない
- 4 全く問題を感じていない

- (1) 職場の物理的環境（設備、スペースなど）
- (2) 給与
- (3) 休日・休暇制度
- (4) 福利厚生
- (5) 仕事と家庭生活の両立
- (6) 仕事を離れた自由時間の確保
- (7) 職場での人間関係

	1	2	3	4
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ページ 6

・ウェルビーイングとダイバーシティ&インクルージョンについて（Q27-30）

1946年 世界保健機構（WHO）憲章において「健康」が定義され、その中でwell-being（ウェルビーイング）は身体的、精神的、社会的に良好な状態という意味で使用されています。本学では一人ひとりがウェルビーイングであることが、ダイバーシティ&インクルージョンの実現にとって重要と考えています。それをふまえて、以下のことについてお伺いします。

Q27 あなたは、ウェルビーイングの概念を知っていましたか。

- よく知っていた ある程度知っていた あまり知らなかった 全く知らなかった

Q28 あなた自身の現在の幸福度についての質問です。

ハシゴを想像してみてください。ハシゴの各段には数字が降っており、ハシゴを上るにつれて数字は大きくなっていきます。最下段は“0”で、最上段は“10”です。最上段はあなたにとって“最高の人生”で、最下段は“最低の人生”です。今現在、あなたはハシゴの何段目に立っていると思

いますか。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

Q29 岡山大学では、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学を目指して、平成21年度に策定された「岡山大学ダイバーシティポリシー」を見直し、「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」の策定を進めています。岡山大学にダイバーシティポリシーがあることをあなたは知っていましたか。

知っていた 知らなかった

Q30 岡山大学が、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学となるために、あなたが必要だと思うこと、あるいは問題と考えることは何ですか。ご自由に意見をお書きください。

岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー（素案）

岡山大学は、多様な属性・個性を持つ一人一人の構成員が、互いの価値を理解し合い尊重し、それぞれの特性を活かして共に成長できる大学となります。そのために、ジェンダー、国籍、年齢、障がいの有無だけでなく、価値観、セクシャリティ、働き方等の多様性を認め合い、様々なステークホルダーと協働するための基盤をつくります。

このようなダイバーシティ&インクルージョンの実践により、大学組織の創造性、革新性、しなやかさをより一層高め、本学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を目指します。そして、サステナビリティとウェルビーイングを追究する研究大学として、新たな価値を創造し、誰一人取り残さない共生社会の実現に寄与します。

ここに本学は、「岡山大学ダイバーシティポリシー」（平成21年10月20日制定）を基盤に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定し、すべての構成員共通の価値と位置づけ、そのもとで行動していきます。

岡山大学ダイバーシティポリシー

平成21年10月20日制定

岡山大学では、性別、国籍、年齢、障害の有無に関する構成員の多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努める。これを以て組織の発想の創造性、革新性、強靭さおよび変化への柔軟性を高める。そして優秀な職員の確保と定着を促しながら、多様性の中で育まれた知性を世に送り出して、共生社会の実現に尽力する。

本学の理念である、「高度な知の創成（研究）」には、偏見や差別に左右されない能力主体の人材登用・育成をもってあたり、常に新たな知識基盤を構築していくために、発想の多様性を活用していく。「的確な知の継承（教育）」には、教育の場において、多様な構成員から成る学びの空間で、異なる文化・価値観を尊重する精神を育み、様々な職員の発想を活かして多岐に渡る学生のニーズに対応していく。さらに、社会貢献の一助として、学内の就業機会を社会参加の道として提供し、加齢や障害の有無等に関わらず幅広く社会の構成員の力を活用する。

上記のダイバーシティ文化の推進にあたり、体制を整え、葛藤の問題を乗り越える努力を継続し、長期的視野で組織の持続的発展を目指す。

・最後に、もう一度あなた自身についてお尋ねします（Q31-35）

Q31 あなたの勤務体系は次のうち、どちらですか。

常勤 非常勤 答えたくない

Q32 あなたには、現在、配偶者がいますか。（婚姻届の有無は問いません）

現在、配偶者がいる いない（死別または離別した）
 いない（結婚したことはない） 答えたくない

Q33 【Q32で「現在、配偶者がいる」を選択した方にお尋ねします】

配偶者の勤務状況について、次のうちあてはまるものを選択してください。

無職 パートタイム勤務 フルタイム勤務 自営業 その他
 答えたくない

Q34 あなたに高校生までのお子さんはいますか。

いる いない 答えたくない

Q35 あなたに介護を必要とする近親者はいますか。

介護が必要な近親者と同居している
 介護が必要な近親者と別居している
 介護が必要な近親者はいない
 答えたくない

アンケートは以上です。ご回答ありがとうございました。

ウィンドウを閉じる

2-4. 平易な和文版

だ い ば - し て い か ん あ ん け - と ち ょ う さ
ダイバーシティに関するアンケート調査

岡山大は、大学にいるすべての人が、性別・障がい・年齢・国籍などに関係なく、気持ちよく働き、学ぶことができるような環境作りに取り組んで来ました。これからもっと岡山大がよくなるために、皆さんが毎日の中で感じていることを知りたいので、アンケートに協力してください。なお、答えたくない質問に記入する必要はありません。また、あなたの名前が知られることもありません。アンケートは2月26日(金曜日)までに、アンケートに付いている封筒に入れて、グッドジョブ支援センターに置いてあるアンケートボックスに入れてください。

岡山大ダイバーシティ推進本部

【あなた自身についてお聞きします(Q1-4)】

Q1 あなたの性別を教えてください。

- 男性 女性 その他 答えたくない わからない

Q2 あなたは2021年2月1日現在で何歳ですか。

- 29歳以下 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60歳以上
- 答えたくない わからない

Q3 あなたの仕事は次のうちどれにあたりますか。

- 事務職員 技術職員 医療系職員 その他 答えたくない わからない

Q4 あなたは現在管理職ですか、そうではありませんか。

- 管理職である 管理職ではない 答えたくない わからない

(裏面にも質問があります)

【あなたの仕事や生活について教えてください(Q5-6)】

Q5 あなたは、1週間に何時間くらい働いていますか。

- 38.75時間未満 38.75時間以上50時間未満 50時間以上60時間未満
- 60時間以上70時間未満 70時間以上80時間未満 80時間以上 わからない

Q6 仕事のある日についての質問です。あなたは1日に何時間くらい家事・子育て・介護など、家庭の用事をしてしていますか。それらの合計時間を教えてください。

- 合計 _____ 時間 わからない

【男性や女性の役割などについてあなたの考えを教えてください(Q7-11)】

Q7 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちに一番近いものを選んで○をしてください。

	1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらか といえば そう 思わない	4 そう 思わない	5 わからない
(1) 家族のために働いてお金を稼ぐのは、女性ではなく男性がすべきことだ					
(2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は働かず、家で家庭のこと(家事や子育てなど)をするべきだ					
(3) 男性は外で働き、女性は家で家庭のこと(家事や子育てなど)をするべきだ					
(4) 男性であっても女性であっても、仕事も家庭のこと(家事や子育てなど)も、両方できる方がよい					

Q8 現在、岡山大学の女性管理職の人数は、全体の19%と少ないです。その理由について、あなたはどのように思いますか。一番近いものを選んで○をしてください。

	1 とてもあ てはまる	2 ややあ てはまる	3 どちらと もいえ ない	4 あまりあ てはまら ない	5 全くあ てはまら ない	6 わか らない
(1) 同じ仕事をした場合、男性が評価されやすいから						
(2) 女性はあまり仕事ができないから						
(3) 女性は責任のある立場の人になりたがらないから／女性はやる気が足りないから						
(4) 女性は男性よりも、仕事と家庭のこと(家事や子育てなど)の両方をするのが大変だから						
(5) 女性は、家庭の事情などで、男性より早く仕事をやめる可能性が高いから						

(6) (1)～(5)以外に考えられる理由がありましたら具体的に記入してください。(記入しても記入しなくてもよい)

(裏面にも質問があります)

Q9 あなたの職場で、男性と女性が一緒に仕事をするとときに、差別されることがあると思いますか。例:「女性だから○○しなさい」とか、「男性だから○○できて当たり前でしょう」と、仕事を決められてしまう。

- とてもある 少しある どちらともいえない ほとんどない 全くない
- わからない

Q10 Q9で「とてもある」「少しある」を選んだ人にお聞きします。よろしければ、どのような差別を感じるか書いてください。

Q11 あなたは、岡山大学での、男性と女性が平等に扱われて同じように働くことを目指す取組みについてどう思いますか。

- ぜひともこのような取り組みは必要だ
- どちらかといえばこのような取り組みは必要だ
- どちらともいえない
- このような取り組みはあまり必要ではない
- このような取り組みは全く必要ではない
- わからない

【岡山大学で、障がいのある人を含め、様々な人たちが働いたり学んだりすることについて、あなたの考えをお聞きます。(Q12-21)】

2016年に、障がいを理由にした差別をなくし、障がいのある人が生活していくために必要な対応をするための法律ができました。

Q12(1) 岡山大学ではこの法律についてのお知らせが、十分にできていると思いますか。

- 十分にできている ややできている あまりできていない 全くできていない
わからない

Q12(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

Q13(1) 岡山大学では、障がいのある人のために、バリアフリー（点字や音声による案内・手すりのあるトイレ・車いすでも通れるスロープ など）ができていますか。

- 十分にできている ややできている あまりできていない 全くできていない
わからない

Q13(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

(裏面にも質問があります)

Q14(1) 岡山大学には、障がいのある職員や学生が、何かを必要としたり、助けが欲しい時に、「〇〇で困っています」と相談したりするところがあると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q14(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

Q15(1) 岡山大学には、障がいのある職員や学生が、何かを必要としたり、助けが欲しい時に、「〇〇してもらいたいです」と言いたしたりしやすい雰囲気があると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q15(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

セクシャルマイノリティとは、同性が好きな人(例:男同士、女同士)、男性も女性も好きな人、自分の性に違和感を覚える人(例:見た目は女性だが気持ちは男性である人)などのことを言います。13人に1人くらいいるとも言われています。

Q16(1) 岡山大学またはそれ以外の場所で、セクシャルマイノリティに対する差別(良くない/いじわるな言葉や態度)を見たり聞いたりしたことがありますか。

見たり聞いたりしたことがある 見たり聞いたりしたことはない わからない

Q16(2) どのような差別を見たり聞いたりしたか、ご記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

Q17(1) 岡山大学には、性別に関係なく使用できる多目的トイレや更衣室が十分にあると思いますか。

十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q17(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

(裏面にも質問があります)

Q18(1) 岡山大学には、セクシャルマイノリティの人が、何かを必要としたり、助けが欲しい時に、「〇〇で困っています」と相談したりするところがあると思いますか。

十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q18(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

Q19(1) 岡山大学には、セクシャルマイノリティの人が、何かを必要としたり、助けが欲しい時に、「〇〇をしてもらいたいです」と言いだしたりしやすい雰囲気があると思いますか。

十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q19(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

岡山大学では、外国人の研究者や留学生を受入れることができます。

Q20(1) 岡山大学には、外国人の研究者や留学生が、何かを必要としたり、助けが欲しい時に、「〇で困っています」と相談したりするところがあると思いますか。
 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q20(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

Q21(1) 岡山大学には、外国人研究者や留学生が、何かを必要としたり、助けが欲しい時に、「〇をしてもらいたいです」と言いだしたりしやすい雰囲気があると思いますか。
 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q21(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

(裏面にも質問があります)

【あなたを含む岡山大学で働く人全体のことについてお聞きします(Q22-26)】

Q22 大学で働く人のために、次の支援は役立つと思いますか。一番近いものを選んで〇をしてください。

	1 とても 有効	2 やや 有効	3 どちらとも いえない	4 あまり 有効で ない	5 全く 有効で ない	6 わから ない
(1) 家庭のこと(家事・育児・介護など)について相談するところ						
(2) 岡山大学で働く人の子どもを預ける岡山大学内にある保育所						
(3) 病気の子どもの一時預かり						
(4) 岡山大学で働く人の子ども(小学生)を預かる岡山大学内にある放課後児童クラブ						
(5) 子育てに関するお金の補助(ベビーシッター代の補助など)、子どもが病気の時に仕事を休めること、出産のための休みから仕事にもどる時のサポート						
(6) 家族を介護する時に使えるお金の補助や休みなど						
(7) 病院に行くために使えるお金の補助や休みなど						
(8) 自宅で仕事ができること						
(9) 性別を理由にした嫌がらせや上司からの嫌がらせがない職場にすること						
(10) 女性を積極的に採用や昇進させること						
(11) 短い時間で働くことを選べること						
(12) 障がい者へのサポート						
(13) セクシャルマイノリティへのサポート						
(14) 外国人の先生や学生に日本語を教えること						

	1 とても 有効	2 やや 有効	3 どちらとも いえない	4 あまり 有効で ない	5 全く 有効で ない	6 わから ない
(15) 外国人の先生や学生もよくわかるように、お知らせなどにかんたんな日本語をつけること						
(16) 定年退職後に、色々な仕事の内容や働き方を選んで、もう一度岡山大学で働けるようにすること						
(17) 長時間働く人だけを評価しないようにすること						

(18) 他にあれば具体的に記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

Q23 あなたが岡山大学で働く時に、Q22の支援が必要ですか。または過去に必要でしたか。

- 今、必要である 今、必要ではないが、将来必要になると思う
- 今、必要ではないが、過去に必要としていた 過去も、今も、将来も必要ではない
- わからない

Q24 Q23で「今、必要である」または「将来必要になると思う」と回答した人にお聞きします。あなたがこれからも岡山大学で働き続けるために、次の中から最も必要だと思う支援(サポート)を選んでください。(3つまで)

- わからない
- 育児や介護について相談するところ
- 岡山大学で働く人の子どもの預ける岡山大学内にある保育所

(裏面に続きます)

- 病気の子どもの一時預かり
- 岡山大学で働く人の子どもの(小学生)を預かる岡山大学内にある放課後児童クラブ
- 子育てに関するお金の補助(ベビーシッター代の補助など)、子どもが病気の時に仕事を休めること、出産のための休みから仕事にもどる時のサポート
- 家族を介護する時に使えるお金の補助や休みなど
- 病院に行くために使えるお金の補助や休みなど
- 自宅で仕事ができること
- 性別を理由にした嫌がらせや上司からの嫌がらせがない職場にすること
- 女性を積極的に採用や昇進させること
- 短い時間で働くことを選べること
- 障がい者へのサポート
- セクシャルマイノリティへのサポート
- 外国人の先生や学生に日本語を教えること
- 外国人の先生や学生もよくわかるように、お知らせなどにかんたんな日本語をつけること
- 定年退職後に、色々な仕事の内容や働き方を選んで、もう一度岡山大学で働けるようにすること
- 長時間働く人だけを評価しないようにすること
- 他にあれば具体的に記入ください。(記入しても記入しなくてもよい)

Q25 あなたは、岡山大で働いている時にどう感じますか。あなたの気持ちに一番近いものを選んで○をしてください。

	1 いつも 感じる	2 とても よく 感じる	3 よく 感じる	4 時々 感じる	5 めったに 感じない	6 ほとんど 感じない	7 そのよう に感じた ことは 一度もない	8 わか らない
(1) 仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる								
(2) 職場では、元気が出て精力的（力があふれること）になるように感じる								
(3) 仕事に熱心である								
(4) 仕事は、私に活力（元気に働く力）を与えてくれる								
(5) 朝に目が覚めると、さあ仕事へ行こう、という気持ちになる								
(6) 仕事に打ち込んでいるとき、幸せだと感じる								
(7) 自分の仕事に誇りを感じる								
(8) 私は仕事にのめり込んでいる								
(9) 仕事をしていると、つい夢中になってしまう								

(裏面にも質問があります)

Q26 次のことについて、あなたは今問題があると思いますか。あなたの気持ちに一番近いものを選んで○をしてください。

	1 とても 問題を 感じて いる	2 やや 問題を 感じて いる	3 あまり 問題を 感じて いない	4 全く 問題を 感じて いない	5 わか らない
(1) 仕事をする場所の設備や広さなど					
(2) 給与					
(3) 休日制度					
(4) 職員への給与・休暇以外のサービス					
(5) 仕事と家庭生活の両方のバランスが取れている					
(6) 仕事をしていない時に、自分が自由に使える時間を持っていて					

【ウェルビーイングとダイバーシティ&インクルージョンについてあなたのお考えをお聞きます

(Q27-30)】

「ウェルビーイング」とは、体だけでなく、心も健康で、人間関係や社会生活もよいことを言います。

Q27 あなたは「ウェルビーイング」という言葉の意味を知っていましたか。

よく知っていた ある程度知っていた あまり知らなかった 全く知らなかった わからない

Q28 あなたが今どれくらい幸せだと感じているかお聞きます。

ハシゴを想像してみてください。ハシゴの各段には数字が書いてあり、ハシゴを上るにつれて数字は大きくなっていきます。一番低い段は“0”で、一番高い段は“10”です。一番高い段はあなたにとって“最高の人生”で、一番低い段は“最低の人生”です。今現在、あなたはハシゴの何段目に立っていると思いますか。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 わからない

(裏面にも質問があります)

岡山大学にいる全ての人が働きやすく学びやすい大学を目指して、平成21年度に作った「岡山

大学ダイバーシティポリシー」を見直し、新しく「岡山大学ダイバーシティ&

インクルージョンポリシー」を作っています。

※「岡山大学ダイバーシティポリシー」と「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー(案)」は下記のとおりです。

Q29 岡山大学にダイバーシティポリシーがあることをあなたは知っていましたか。

知っていた 知らなかった わからない

岡山大学ダイバーシティポリシー

平成21年10月20日制定

岡山大学では、性別、国籍、年齢、障害の有無に関する構成員の多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努める。これを以て組織の創造性、革新性、強靭さおよび変化への柔軟性を高める。そして優秀な職員の確保と定着を促しながら、多様性の中で育まれた知性を世に送り出して、共生社会の実現に尽力する。

本学の理念である、「高度な知の創成(研究)」には、偏見や差別に左右されない能力主体の人材登用・育成をもってあたり、常に新たな知識基盤を構築していくために、発想の多様性を活用していく。「的確な知の継承(教育)」には、教育の場において、多様な構成員から成る学びの空間で、異なる文化・価値観を尊重する精神を育み、様々な職員の発想を活かして多岐に渡る学生のニーズに対応していく。さらに、社会貢献の一助として、学内の就業機会を社会参加の道として提供し、加齢や障害の有無等に関わらず幅広く社会の構成員の力を活用する。

上記のダイバーシティ文化の推進にあたり、体制を整え、葛藤の問題を乗り越える努力を継続し、長期的視野で組織の持続的発展を目指す。

岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー（案）

岡山大学は、多様な属性・個性を持つ一人一人の構成員が、互いの価値を理解し合い尊重し、それぞれの特性を活かして共に成長できる大学となります。そのために、ジェンダー、国籍、年齢、障がいの有無だけでなく、価値観、セクシャリティ、働き方等の多様性を認め合い、様々なステークホルダーと協働するための基盤をつくります。

このようなダイバーシティ&インクルージョンの実践により、大学組織の創造性、革新性、しなやかさをより一層高め、本学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を目指します。そして、サステナビリティとウェルビーイングを追究する研究大学として、新たな価値を創造し、誰一人取り残さない共生社会の実現に寄与します。

ここに本学は、「岡山大学ダイバーシティポリシー」（平成21年10月20日制定）を基盤に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定し、すべての構成員共通の価値と位置づけ、そのもとで行動していきます。

（裏面にも質問があります）

Q30 岡山大学にいる全ての人が、性別・障がい・年齢・国籍などに関係なく、気持ちよく働き、学ぶことができるようにするために、あなたがしてほしいこと、必要だと思うこと、大切だと思うこと、問題だと思うこと、直して欲しいことなどを自由に書いてください。（記入しても記入しなくてもよい）

【最後に、もう一度あなたについてお尋ねします。(Q31-35)】

Q31 あなたは1日何時間働いていますか。

約8時間(フルタイム) 6時間以内(パートタイム) 答えたくない わからない

Q32 あなたには、今、妻か夫がいますか。(婚姻届を出していない場合も含みます)

今、妻または夫がいる いない(死亡した・離婚した) いない(結婚をしたことはない)

答えたくない わからない

Q33 Q32 で「今、妻または夫がいる」と答えた人にお聞きします。あなたの妻か夫は、1日何時間くらい働いていますか。

働いていない 6時間以内(パートタイム) 約8時間(フルタイム)

自分でお店や会社をしている その他 答えたくない わからない

Q34 あなたに高校生までのお子さんはいますか。

いる いない 答えたくない わからない

Q35 あなたの身近に介護が必要な人はいますか。

介護が必要な人が身近にいて、その人と一緒に住んでいる

介護が必要な人は身近にいるが、その人とは別に住んでいる

介護が必要な人は身近にいない

答えたくない

わからない

これでアンケートは終わりです。ご協力本当にありがとうございました。

ダイバーシティに関するアンケート[附属学校教員用]

ページ 1

・あなた自身についてお聞きします (Q1-2)

Q1 あなたの性別を教えてください。

- 男性 女性 その他 答えたくない

Q2 あなたは2021年2月1日現在で何歳ですか。

- 20代以下 30代 40代 50代 60代以上 答えたくない

ページ 2

・ワークライフバランスについて (Q3-5)

Q3 あなたは、1週間に平均何時間くらい職務に費やしていますか。

- 38.75時間未満 38.75時間以上50時間未満 50時間以上60時間未満
 60時間以上70時間未満 70時間以上80時間未満 80時間以上

Q4 あなたは、平日1日に平均何時間くらい家事（炊事、洗濯、掃除、買い物、家計管理など家庭での日常生活に関する様々な仕事や作業）・育児・介護に費やしていますか。（半角の数値を入力してください）

Q5 もし、あなたに、今、1日3時間の自由な時間ができた場合、次のうちの活動に使いたいですか。（チェックは2つまで）

- 校務分掌業務
 教育業務
 研究
 休憩・睡眠
 家族と一緒に過ごす
 家事・育児・介護
 趣味・余暇活動
 その他

ページ 3

・男女共同参画について (Q6-10)

Q6 次の意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当するものを選択してください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

- (1) 家族を（経済的に）養うのは男性の役割だ
- (2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ
- (3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである
- (4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児・介護の両立ができたほうがよい

	1	2	3	4
(1) 家族を（経済的に）養うのは男性の役割だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児・介護の両立ができたほうがよい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q7 現在、教育現場の女性管理職の比率は低い状況です。その理由として以下の事柄はどの程度あてはまると思いますか。

- 1 とてもあてはまる
- 2 ややあてはまる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりあてはまらない
- 5 全くあてはまらない

- (1) 評価する側に男性を優先する意識がある
- (2) 女性自身の能力が不足している
- (3) 女性自身の意欲が不足している
- (4) 女性にとって家庭責任との両立が困難である
- (5) 女性は早期に離職する可能性が高い

	1	2	3	4	5
(1) 評価する側に男性を優先する意識がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 女性自身の能力が不足している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 女性自身の意欲が不足している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 女性にとって家庭責任との両立が困難である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) 女性は早期に離職する可能性が高い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(6) (1)~(5)以外に考えられる理由がありましたら具体的に記入してください。

Q8 あなたの現在の職場では、男女で担当する業務について、差別的な取り扱いがあると思いますか。

- 顕著にある 少しある どちらともいえない ほとんどない 全くない

Q9 【Q8で「顕著にある」または「少しある」を選択した方にお尋ねします】

よろしければ、差別的取り扱いの内容を具体的に記入してください。

Q10 あなたは、大学内での男女共同参画を進める取り組みについてどう思いますか。

- ぜひともこのような取り組みは必要だ どちらかといえばこのような取り組みは必要だ
 どちらともいえない このような取り組みはあまり必要ではない
 このような取り組みは全く必要ではない

ページ 4

・その他多様な参画について (Q11-20)

2016年4月に施行された「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律」により、大学においても「不当な差別的取り扱いの禁止」※1と「合理的配慮の提供」※2が定められました。法の施行から5年を迎えるにあたり、以下のことについてお伺いします。(Q11-14)

- ※1 正当な理由なく障がいを理由として拒否・制限・条件付け等を行うこと
※2 社会の中にあるバリアによって生活や参加がしづらい申し出があった場合に、必要な対応を行うこと

Q11(1) 本学では、上記の法律が定められていることについて、周知が図られていると思いますか。

- 十分に図られている やや図られている あまり図られていない
 全く図られていない わからない

Q11(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q12(1) 本学では、障がい者・障がい学生・生徒・児童・園児に配慮したバリアフリー設備(点字や音声等情報保障のある案内・トイレ・スロープ・エレベーター等)が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q12(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q13(1) 本学では、障がい者・障がい学生・生徒・児童・園児が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q13(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q14(1) 本学では、障がい者・障がい学生・生徒・児童・園児が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q14(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

セクシュアルマイノリティには、LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)やXジェンダー(性自認が男女どちらかに決まっていない)、アセクシュアル(無性愛)などがあり、約13人に1人の割合で存在しているとも言われています。セクシュアルマイノリティに関し、以下のことについてお伺いします。(Q15-18)

Q15(1) 本学で、セクシュアルマイノリティへの差別的な言動や場面を見聞きしたことがありますか。(大学キャンパス内外を問わず、正課外活動や懇親会など本学が実施する諸活動を含みます。)

- 見聞きしたことがある 見聞きしたことはない わからない

Q15(2) どのような言動を見聞きしたか、ご記入ください(任意回答)

Q16(1) 本学では、セクシュアルマイノリティに配慮した設備(トイレ・更衣室等)が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q16(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q17(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q17(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

Q18(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分に図られている やや図られている あまり図られていない
 全く図られていない わからない

Q18(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

本学は、SGU（スーパーグローバル大学創成支援）事業に採択されている大学であり、積極的にキャンパスのグローバル化に取り組み、海外からの研究者・児童・生徒・学生・ALTを迎え入れてきました。以下のことについてお伺いします。（**Q19-20**）

Q19(1) 本学では、海外からの研究者・児童・生徒・学生・ALTが必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q19(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

Q20(1) 本学では、海外からの研究者・児童・生徒・学生・ALTが、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q20(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

ページ 5

・附属学校園における研究・教育等について（Q21-25）

Q21 一般的に、附属学校園での研究・教育がより魅力的になり、また附属学校園での研究・教育を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか。

- 1 とても有効
- 2 やや有効
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり有効でない
- 5 全く有効でない

	1	2	3	4	5
(1) 育児・介護と研究・教育を両立するための相談窓口	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 学内保育所	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 学内学童保育所（常設）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) 育児に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6) 介護に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7) 疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8) 在宅勤務制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(9) セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントのない環境づくり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(10) 女性管理職の積極的採用・登用制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(11) 短時間勤務制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(12) 障がい者に配慮した設備、支援、制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- (13) セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度
- (14) 定年退職後に利用可能な幅広い職務や処遇のある再雇用制度
- (15) 長時間労働を評価しない人事評価制度

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(16) その他 具体的に

Q22 あなた自身が岡山大での研究・教育を継続する上で、Q21に掲げたような支援を今、あるいは将来必要としていますか。または過去に必要としていましたか。

- 今、必要である 今は必要ではないが、将来必要になると思う
- 今は必要ではないが、過去に必要としていた 過去も、今も、将来も必要ではない

Q23 【Q22で、「今、必要である」または「今は必要ではないが、将来必要になると思う」を選択した方にお尋ねします】

あなた自身が大学で研究・教育を継続する上で、今、あるいは将来もっとも必要と思われる支援を次のうちから3つまで選んでください。

- 育児・介護と研究・教育を両立するための相談窓口
- 学内保育所
- (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育
- 学内学童保育所 (常設)
- 育児に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
- 介護に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
- 疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休暇・復職支援制度の充実
- 在宅勤務制度
- セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントのない環境づくり
- 女性管理職の積極的採用・登用制度
- 短時間勤務制度
- 障がい者に配慮した設備、支援、制度
- セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度
- 定年退職後に利用可能な幅広い職務や処遇のある再雇用制度
- 長時間労働を評価しない人事評価制度
- その他 具体的に

Q24 あなたは、岡山大で研究・教育をする上で、次のようなことを感じていますか。

- 1 いつも感じる
- 2 とてもよく感じる
- 3 よく感じる
- 4 時々感じる
- 5 めったに感じない
- 6 ほとんど感じない
- 7 そのように感じたことは一度もない

- (1) 仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる
- (2) 職場では、元気が出て精力的になるように感じる

	1	2	3	4	5	6	7
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- (3) 仕事に熱心である
- (4) 仕事は、私に活力を与えてくれる
- (5) 朝に目が覚めると、さあ仕事へ行こう、という気持ちになる
- (6) 仕事に没頭しているとき、幸せだと感じる
- (7) 自分の仕事に誇りを感じる
- (8) 私は仕事にのめり込んでいる
- (9) 仕事をしていると、つい夢中になってしまう

Q25 あなたは、岡山大で研究・教育をする上で、次のようなことを感じていますか。

- 1 とてもそう思う
- 2 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりそう思わない
- 5 全くそう思わない

- | | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| (1) 研究や教育などの拘束時間が長い | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (2) 研究のための時間が十分に確保できない | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (3) 教育のための時間が十分に確保できない | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (4) 体力的にきつい時がある | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (5) 学校の雰囲気や男性または女性中心でなじめないことがある | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (6) 困ったときに気軽に相談できる同性が身近にいない | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (7) 児童・生徒との人間関係に悩んでいる | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (8) 保護者との人間関係に悩んでいる | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (9) 教職員間の人間関係に悩んでいる | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (10) 家族のための時間が十分に確保できない | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (11) 研究・教育生活について家族や周囲の理解が少ない | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

ページ 6

・ウェルビーイングとダイバーシティ&インクルージョンについて (Q26-29)

1946年 世界保健機構 (WHO) 憲章において「健康」が定義され、その中でwell-being (ウェルビーイング) は身体的、精神的、社会的に良好な状態という意味で使用されています。本学では一人ひとりがウェルビーイングであることが、ダイバーシティ&インクルージョンの実現にとって重要と考えています。それをふまえて、以下のことについてお伺いします。

Q26 あなたは、ウェルビーイングの概念を知っていましたか。

- よく知っていた ある程度知っていた あまり知らなかった 全く知らなかった

Q27 あなた自身の現在の幸福度についての質問です。

ハシゴを想像してみてください。ハシゴの各段には数字が降っており、ハシゴを上るにつれて数字は大きくなっていきます。最下段は“0”で、最上段は“10”です。最上段はあなたにとって“最高の人生”で、最下段は“最低の人生”です。今現在、あなたはハシゴの何段階目に立っていると Think しますか。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

Q28 岡山大学では、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学を目指して、平成21年度に策定された「岡山大学ダイバーシティポリシー」を見直し、「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」の策定を進めています。岡山大学にダイバーシティポリシーがあることをあなたは知っていましたか。

知っていた 知らなかった

Q29 岡山大学が、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学となるために、あなたが必要だと思うこと、あるいは問題と考えることは何ですか。ご自由に意見をお書きください。

岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー（素案）

岡山大学は、多様な属性・個性を持つ一人一人の構成員が、互いの価値を理解し合い尊重し、それぞれの特性を活かして共に成長できる大学となります。そのために、ジェンダー、国籍、年齢、障がいの有無だけでなく、価値観、セクシャリティ、働き方等の多様性を認め合い、様々なステークホルダーと協働するための基盤をつくります。

このようなダイバーシティ&インクルージョンの実践により、大学組織の創造性、革新性、しなやかさをより一層高め、本学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を目指します。そして、サステナビリティとウェルビーイングを追求する研究大学として、新たな価値を創造し、誰一人取り残さない共生社会の実現に寄与します。

ここに本学は、「岡山大学ダイバーシティポリシー」（平成21年10月20日制定）を基盤に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定し、すべての構成員共通の価値と位置づけ、そのもとで行動していきます。

岡山大学ダイバーシティポリシー

平成21年10月20日制定

岡山大学では、性別、国籍、年齢、障害の有無に関する構成員の多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努める。これを以て組織の発想の創造性、革新性、強靱さおよび変化への柔軟性を高める。そして優秀な職員の確保と定着を促しながら、多様性の中で育まれた知性を世に送り出して、共生社会の実現に尽力する。

本学の理念である、「高度な知の創成（研究）」には、偏見や差別に左右されない能力主体の人材登用・育成をもってあたり、常に新たな知識基盤を構築していくために、発想の多様性を活用していく。「的確な知の継承（教育）」には、教育の場において、多様な構成員から成る学びの空間で、異なる文化・価値観を尊重する精神を育み、様々な職員の発想を活かして多岐に渡る学生のニーズに対応していく。さらに、社会貢献の一助として、学内の就業機会を社会参加の道として提供し、加齢や障害の有無等に関わらず幅広く社会の構成員の力を活用する。

上記のダイバーシティ文化の推進にあたり、体制を整え、葛藤の問題を乗り越える努力を継続し、長期的視野で組織の持続的発展を目指す。

ページ 7

・最後に、もう一度あなた自身についてお尋ねします（Q30-34）

Q30 あなたの勤務体系は次のうち、どちらですか。

常勤 非常勤 答えたくない

Q31 あなたには、現在、配偶者がいますか。（婚姻届の有無は問いません）

現在、配偶者がいる いない（死別または離別した）
 いない（結婚したことはない） 答えたくない

Q32 【Q31で「現在、配偶者がいる」を選択した方にお尋ねします】

配偶者の勤務状況について、次のうちあてはまるものを選択してください。

無職 パートタイム勤務 フルタイム勤務 自営業 その他
 答えたくない

Q33 あなたに高校生までのお子さんはいますか。

いる いない 答えたくない

Q34 あなたに介護を必要とする近親者はいますか。

介護が必要な近親者と同居している
 介護が必要な近親者と別居している
 介護が必要な近親者はいない
 答えたくない

アンケートは以上です。ご回答ありがとうございました。

ウィンドウを閉じる

ダイバーシティに関するアンケート[大学院生用（ポスドクを含む）][和文]

ページ 1

・あなた自身についてお聞きます（Q1-6）

Q1 あなたの性別を教えてください。

男性 女性 その他 答えたくない

Q2 あなたは2021年2月1日現在で何歳ですか。

20代以下 30代 40代 50代 60代以上 答えたくない

Q3 あなたの専門分野は、次のうちどれですか。

人文社会科学 自然科学 医歯薬学 その他

答えたくない

Q4 あなたは留学生ですか。

はい いいえ 答えたくない

Q5 あなたは学部卒業後（博士後期課程の方は博士前期課程修了後も含む）に社会人経験（勤務経験）がありますか。

ある ない 答えたくない

Q6 あなたの所属する課程は次のうちどれですか。

博士前期課程・修士課程 博士後期課程・博士課程 専門職学位課程 研究生
 ポスドク 答えたくない

ページ 2

・ワークライフバランスについて（Q7-8）

Q7 あなたは、1週間に平均何時間くらい研究や学修に費やしていますか。自宅での時間も含めて教えてください。

38.75時間未満 38.75時間以上50時間未満 50時間以上60時間未満
 60時間以上70時間未満 70時間以上80時間未満 80時間以上

Q8 あなたは、平日1日に平均何時間くらい家事（炊事、洗濯、掃除、買い物、家計管理など家庭での日常生活に関する様々な仕事や作業）・育児・介護に費やしていますか。（半角の数値を入力してください）



ページ 3

・男女共同参画について（Q9-11）

Q9 次の意見について、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを選び、それぞれの回答欄の該当するものを選択してください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

- (1) 家族を（経済的に）養うのは男性の役割だ
- (2) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず、育児に専念すべきだ
- (3) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである
- (4) 男性と女性は、どちらも仕事と家事・育児・介護の両立ができたほうがよい

	1	2	3	4
(1)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q10 女子学生の比率は、文系では比較的多く、理系では比較的小さい傾向にあります。その理由として、以下の事柄はどの程度あてはまると思われますか。

- 1 とてもあてはまる
- 2 ややあてはまる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりあてはまらない
- 5 全くあてはまらない

- (1) 女性は文系、男性は理系という社会通念のため
- (2) 高校で女性には文系、男性には理系の進路を勧めるため
- (3) 親が女性には文系、男性には理系の進路を期待するため
- (4) 女性は文系科目が得意で、男性は理数系科目が得意であるため
- (5) ロールモデルとなるような理系の女性研究者・教員が少ないため

	1	2	3	4	5
(1)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(6) (1)～(5)以外に考えられる理由がありましたら具体的に記入してください。

Q11 岡山大学におけるこれまでの男女共同参画室の取り組みを評価できますか。

- 評価できる どちらかという評価できる どちらかという評価できない
 評価できない 男女共同参画室の取り組みを知らない

・その他多様な参画について (Q12-21)

2016年4月に施行された「障がい者を理由とする差別の解消の推進に関する法律」により、大学においても「不当な差別的取り扱いの禁止」※1と「合理的配慮の提供」※2が定められました。法の施行から5年を迎えるにあたり、以下のことについてお伺いします。(Q12-15)

- ※1 正当な理由なく障がいを理由として拒否・制限・条件付け等を行うこと
※2 社会の中にあるバリアによって生活や参加がしづらい申し出があった場合に、必要な対応を行うこと

Q12(1) 本学では、上記の法律が定められていることについて、周知が図られていると思いますか。

- 十分に図られている やや図られている あまり図られていない
 全く図られていない わからない

Q12(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q13(1) 本学では、障がい者・障がい学生に配慮したバリアフリー設備(点字や音声等情報保障のある案内・トイレ・スロープ・エレベーター等)が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q13(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q14(1) 本学では、障がい者・障がい学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q14(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q15(1) 本学では、障がい者・障がい学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q15(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

セクシュアルマイノリティには、LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)やXジェンダー(性自認が男女どちらかに決まっていない)、アセクシュアル(無性愛)などがあり、約13人に1人の割合で存在しているとも言われています。セクシュアルマイノリティに関し、以下のことについてお伺いします。(Q16-19)

Q16(1) 本学で、セクシュアルマイノリティへの差別的な言動や場面を見聞きしたことがありますか。(大学キャンパス内外を問わず、正課外活動や懇親会など本学が実施する諸活動を含みます。)

- 見聞きしたことがある 見聞きしたことはない わからない

Q16(2) どのような言動を見聞きしたか、ご記入ください(任意回答)

Q17(1) 本学では、セクシュアルマイノリティに配慮した設備(トイレ・更衣室等)が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q17(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください(任意回答)

Q18(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q18(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

Q19(1) 本学では、セクシュアルマイノリティが、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q19(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

本学は、SGU（スーパーグローバル大学創成支援）事業に採択されている大学であり、積極的にキャンパスのグローバル化に取り組み、海外からの研究者・学生を迎え入れました。以下のことについてお伺いします。（**Q20-21**）

Q20(1) 本学では、海外からの研究者・学生が必要とする支援について、相談先が整備されていると思いますか。

- 十分に整備されている やや整備されている あまり整備されていない
 全く整備されていない わからない

Q20(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

Q21(1) 本学では、海外からの研究者・学生が、配慮を必要とする時に申し出やすい雰囲気があると思いますか。

- 十分にある ややある あまりない 全くない わからない

Q21(2) そのように思う理由について、自由にご記入ください（任意回答）

ページ 5

・大学における研究等について（Q22-26）

Q22 一般的に、大学での研究職がより魅力的になり、また大学での研究を継続しやすくなるために、次のような支援は有効だと思いますか。

- 1 とても有効
- 2 やや有効
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり有効でない
- 5 全く有効でない

- (1) 育児・介護と研究を両立するための相談窓口
- (2) 学内保育所
- (3) (保育所に通えない時の) 病児・病後児保育
- (4) 学内学童保育所（常設）
- (5) 育児に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実
- (6) 介護に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実
- (7) 疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実
- (8) 在宅勤務制度
- (9) セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントのない環境づくり
- (10) 女性研究者の積極的採用制度
- (11) 短時間勤務制度
- (12) 研究者のためのメンタープログラム
- (13) 障がい者に配慮した設備、支援、制度

	1	2	3	4	5
(1)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(9)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(10)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(11)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(12)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(13)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- (14) セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度
 (15) 外国人教員や留学生のための日本語教育の充実
 (16) 外国人教員や留学生に配慮した情報伝達のしくみ（英語・やさしい日本語での表記、文書のデータ提供）

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(17) その他 具体的に

Q23 あなた自身が岡山大学での研究を継続する上で、Q22に掲げたような支援を今、あるいは将来必要としていますか。または過去に必要としていましたか。

- 今、必要である 今は必要ではないが、将来必要になると思う
 今は必要ではないが、過去に必要としていた 過去も、今も、将来も必要ではない

Q24 【Q23で、「今、必要である」または「今は必要ではないが、将来必要になると思う」を選択した方にお尋ねします】

あなた自身が岡山大学での研究を継続する上で、今、あるいは将来もっとも必要と思われる支援を次のうちから3つまで選んでください。

- 育児・介護と研究を両立するための相談窓口
- 学内保育所
- （保育所に通えない時の）病児・病後児保育
- 学内学童保育所（常設）
- 育児に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実
- 介護に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実
- 疾患の治療と仕事の両立に関する費用補助・休学・復学支援制度の充実
- 在宅勤務制度
- セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントのない環境づくり
- 女性研究者の積極的採用制度
- 短時間勤務制度
- 研究者のためのメンタープログラム
- 障がい者に配慮した設備、支援、制度
- セクシュアルマイノリティに配慮した設備、支援、制度
- 外国人教員や留学生のための日本語教育の充実
- 外国人教員や留学生に配慮した情報伝達のしくみ（英語・やさしい日本語での表記、文書のデータ提供）
- その他 具体的に

Q25 あなたは、岡山大学で研究をする上で、次のようなことを感じていますか。

- 1 いつも感じる
- 2 とてもよく感じる
- 3 よく感じる
- 4 時々感じる
- 5 めったに感じない
- 6 ほとんど感じない
- 7 そのように感じたことは一度もない

- (1) 研究をしていると、活力がみなぎるように感じる
- (2) 研究室では、元気が出て精神的になるように感じる
- (3) 研究に熱心である
- (4) 研究は、私に活力を与えてくれる
- (5) 朝に目が覚めると、さあ研究室へ行こう、という気持ちになる
- (6) 研究に没頭しているとき、幸せだと感じる
- (7) 自分の研究に誇りを感じる
- (8) 私は研究にのめり込んでいる
- (9) 研究をしていると、つい夢中になってしまう

	1	2	3	4	5	6	7
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q26 あなたは、岡山大学で研究する上で、次のようなことを感じていますか。

- 1 とてもそう思う
- 2 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりそう思わない
- 5 全くそう思わない

- (1) 研究や実験などの拘束時間が長い
- (2) 自分の研究のための時間が十分に確保できない
- (3) 体力的にきつい時がある
- (4) 研究室の雰囲気が男性または女性中心でなじめないことがある
- (5) 困ったときに気軽に相談できる同性が身近にいない
- (6) 教員との人間関係に悩んでいる
- (7) 学生間の人間関係に悩んでいる
- (8) 自分自身または周りの学生がセクシュアル・ハラスメントを受けている（受けたことがある）
- (9) 自分自身または周りの学生がアカデミック・ハラスメントを受けている（受けたことがある）
- (10) 家族のための時間が十分に確保できない
- (11) 研究生生活について家族や周囲の理解が少ない
- (12) 女性のほうが就職に関して不利だと思う

	1	2	3	4	5
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ページ 6

・ウェルビーイングとダイバーシティ&インクルージョンについて (Q27-30)

1946年 世界保健機構（WHO）憲章において「健康」が定義され、その中でwell-being（ウェルビーイング）は身体的、精神的、社会的に良好な状態という意味で使用されています。本学では一人ひとりがウェルビーイングであることが、ダイバーシティ&インクルージョンの実現にとって重要と考えています。それをふまえて、以下のことについてお伺いします。

Q27 あなたは、ウェルビーイングの概念を知っていましたか。

- よく知っていた ある程度知っていた あまり知らなかった 全く知らなかった

Q28 あなた自身の現在の幸福度についての質問です。

ハシゴを想像してみてください。ハシゴの各段には数字が降っており、ハシゴを上るにつれて数字が大きくなっていきます。最下段は“0”で、最上段は“10”です。最上段はあなたにとって“最高の人生”で、最下段は“最低の人生”です。今現在、あなたはハシゴの何段目に立っていると思いますか。

- 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

Q29 岡山大学では、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学を目指して、平成21年度に策定された「岡山大学ダイバーシティポリシー」を見直し、「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」の策定を進めています。岡山大学にダイバーシティポリシーがあることをあなたは知っていましたか。

- 知っていた 知らなかった

Q30 岡山大学が、すべての構成員が働きやすく学びやすい大学となるために、あなたが必要だと思うこと、あるいは問題と考えることは何ですか。ご自由に意見をお書きください。

岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー（素案）

岡山大学は、多様な属性・個性を持つ一人一人の構成員が、互いの価値を理解し合い尊重し、それぞれの特性を活かして共に成長できる大学となります。そのために、ジェンダー、国籍、年齢、障がいの有無だけでなく、価値観、セクシャリティ、働き方等の多様性を認め合い、様々なステークホルダーと協働するための基盤をつくります。

このようなダイバーシティ&インクルージョンの実践により、大学組織の創造性、革新性、しなやかさをより一層高め、本学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を目指します。そして、サステナビリティとウェルビーイングを追究する研究大学として、新たな価値を創造し、誰一人取り残さない共生社会の実現に寄与します。

ここに本学は、「岡山大学ダイバーシティポリシー」（平成21年10月20日制定）を基盤に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定し、すべての構成員共通の価値と位置づけ、そのもとで行動していきます。

岡山大学ダイバーシティポリシー

平成21年10月20日制定

岡山大学では、性別、国籍、年齢、障害の有無に関する構成員の多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努める。これを以て組織の発想の創造性、革新性、強靭さおよび変化への柔軟性を高める。そして優秀な職員の確保と定着を促しながら、多様性の中で育まれた知性を世に送り出して、共生社会の実現に尽力する。

本学の理念である、「高度な知の創成（研究）」には、偏見や差別に左右されない能力主体の人材登用・育成をもってあたり、常に新たな知識基盤を構築していくために、発想の多様性を活用していく。「的確な知の継承（教育）」には、教育の場において、多様な構成員から成る学びの空間で、異なる文化・価値観を尊重する精神を育み、様々な職員の発想を活かして多岐に渡る学生のニーズに対応していく。さらに、社会貢献の一助として、学内の就業機会を社会参加の道として提供し、加齢や障害の有無等に関わらず幅広く社会の構成員の力を活用する。

上記のダイバーシティ文化の推進にあたり、体制を整え、葛藤の問題を乗り越える努力を継続し、長期的視野で組織の持続的発展を目指す。

ページ 7

最後に、もう一度あなた自身についてお尋ねします（Q31-34）

Q31 あなたには、現在、配偶者がいますか。（婚姻届の有無は問いません）

- 現在、配偶者がいる いない（死別または離別した）
 いない（結婚したことはない） 答えたくない

Q32 【Q31で「現在、配偶者がいる」を選択した方にお尋ねします。】

配偶者の勤務状況について、次のうちあてはまるものを選択してください。

- 無職 パートタイム勤務 フルタイム勤務 自営業 大学院生 その他
 答えたくない

Q33 あなたに高校生までのお子さんはいますか。

- いる いない 答えたくない

Q34 あなたに介護を必要とする近親者はいますか。

- 介護が必要な近親者と同居している
 介護が必要な近親者と別居している
 介護が必要な近親者はいない
 答えたくない

アンケートは以上です。ご回答ありがとうございました。

ウィンドウを閉じる

Questionnaire on Diversity [For graduate students (including postdoctoral)]

ページ 1

・ We ask the following questions about yourself. (Q1-6)

Q 1 Please indicate your gender.

- Male Female Other No answer

Q 2 What is your age as of February 1, 2021?

- 20s or younger 30s 40s 50s 60s and above No answer

Q 3 In which field among the following is your specialty?

- Humanities and social sciences Natural sciences
 Medicine, dentistry and pharmaceutical sciences
 Other No answer

Q 4 Are you an international student?

- Yes No No answer

Q 5 After graduating from university (including after completing master's programs, in the case of doctoral program students), do you have work experience?

- Yes No No answer

Q 6 Which of the following programs are you enrolled in?

- Master's Course Doctor's Course Professional Degree Course
 Research Student Postdoctoral No answer

ページ 2

・ The following questions ask about your work-life balance. (Q7-8)

Q 7 How many hours a week on average do you spend on your research and studies? Please include any time you spend on your research and studies at home.

- Less than 38.75hrs. From 38.75 to less than 50 hrs.
 From 50 to less than 60 hrs. From 60 to less than 70 hrs.
 From 70 hrs. to less than 80 hrs. 80 hrs. or more

Q 8 How many hours on average do you spend on each weekday at housekeeping (cooking, laundry, cleaning, shopping, family budget management and various other tasks in connection with daily life in your household), child raising and caregiving? (Please enter the figure using half-width numerals.)

ページ 3

・ The following questions ask for your views on gender equality. (Q9-11)

Q 9 What do you think of the following opinions? Choose the response that is closest to your own feelings about each of the following opinions by checking the appropriate box in the response columns.

- 1 Agree
 2 Agree somewhat
 3 Disagree somewhat
 4 Disagree

(1) It is a man's role to support his family (economically).

(2) Mothers should not work but devote themselves to child raising until their children are about three years old.

(3) Men should work outside the home and women should maintain the household.

(4) It would be better for both men and women to share responsibility for work, housekeeping, child raising and caregiving.

	1	2	3	4
(1) It is a man's role to support his family (economically).	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) Mothers should not work but devote themselves to child raising until their children are about three years old.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) Men should work outside the home and women should maintain the household.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) It would be better for both men and women to share responsibility for work, housekeeping, child raising and caregiving.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q 10 The ratio of female students is relatively high in the humanities/social sciences, but relatively low in the sciences. Among the following possible reasons for that, to what extent do you agree or disagree?

- 1 Agree
 2 Agree somewhat
 3 Neither agree nor disagree
 4 Disagree somewhat
 5 Disagree

(1) Because women in humanities/social sciences and men in sciences is the social norm.

(2) Because in high school, girls are advised to pursue humanities/social sciences and boys, sciences.

(3) Because parents expect their daughters to pursue humanities/social sciences and their sons to pursue sciences.

	1	2	3	4	5
(1) Because women in humanities/social sciences and men in sciences is the social norm.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) Because in high school, girls are advised to pursue humanities/social sciences and boys, sciences.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) Because parents expect their daughters to pursue humanities/social sciences and their sons to pursue sciences.	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(4) Because women are better skilled in humanities/social sciences subjects and men in scientific subjects.

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(5) Because there are few female researchers or teachers serving as role models in sciences.

(6) If you can think of reasons other than (1) through (5), please specify them below.

Q11 Please rate the Gender Equality Office's efforts so far at Okayama University.

- They are good They are somewhat good They are not very good
 They are not good I don't know well enough about their efforts to rate them

ページ 4

・ The following questions ask for your views on diversity management. (Q12-21)

The "Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities" which went into effect in April 2016 prescribes "prohibition of unfair discriminatory treatment"* and "provision of reasonable accommodation"**. We ask the following questions five years after this law came into effect. (Q12-15)

*Refusing, restricting or making conditions to offer goods and services or opportunities on the grounds of disability, without any proper reason.

**Extending needed help to persons with disabilities requesting it when social barriers make living or participation difficult for them.

Q12(1) Do you think wide knowledge of the above law has been achieved at our university?

- Achieved well Achieved somewhat Not achieved very well
 Not achieved at all I don't know

Q12(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q13(1) Do you think provision of barrier-free facilities (assurance of information accessibility through braille, audio, etc.; restrooms, slopes, elevators, etc.) in consideration of disabled students and other disabled persons has been achieved at our university?

- Achieved well Achieved somewhat Not achieved very well
 Not achieved at all I don't know

Q13(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q14(1) Do you think provision of consulting services regarding support needed by disabled students and other disabled persons has been achieved at our university?

- Achieved well Achieved somewhat Not achieved very well
 Not achieved at all I don't know

Q14(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q15(1) Do you think our university has an atmosphere that makes it easy for disabled students and other disabled persons to request consideration when needed?

- Very favorable Somewhat favorable Not very favorable
 Completely unfavorable I don't know

Q15(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Sexual minorities include LGBT (lesbian, gay, bisexual, transsexual), non-binary gender (self-identifying as neither male nor female), asexual and others; it is said that about one person in 13 belongs to a sexual minority. We ask the following questions regarding sexual minorities. (Q16-19)

Q16(1) Have you observed or heard of discriminatory behavior or speech toward sexual minorities at our university? (Both on or off campus, including extracurricular activities and social gatherings.)

- Yes, I have No, I have not I don't know

Q16(2) Please describe the kind of behavior or speech observed. (optional)

Q17(1) Do you think that provision of facilities in consideration of sexual minorities (restrooms, changing rooms, etc.) has been achieved at our university?

- Achieved well Achieved somewhat Not achieved very well
 Not achieved at all I don't know

Q17(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q18(1) Do you think that provision of consulting services regarding support needed by sexual minorities has been achieved at our university?

- Achieved well Achieved somewhat Not achieved very well
 Not achieved at all I don't know

Q18(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q19(1) Do you think our university has an atmosphere that makes it easy for sexual minorities to request consideration when needed?

- Very favorable Somewhat favorable Not very favorable
 Completely unfavorable I don't know

Q19(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Our university has been selected for the SGU (Top Global University in Japan) Project, and has been making proactive efforts for globalization of our campus, welcoming in researchers and students from abroad. We ask the following questions regarding researchers and students from abroad. (Q20-21)

Q20(1) Do you think that provision of consultation services regarding support needed by researchers and students from abroad has been achieved at our university?

- Achieved well Achieved somewhat Not achieved very well
 Not achieved at all I don't know

Q20(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

Q21(1) Do you think our university has an atmosphere that makes it easy for researchers and students from abroad to request consideration when needed?

- Very favorable Somewhat favorable Not very favorable
 Completely unfavorable I don't know

Q21(2) Feel free to relate any reason you can think of for the above answer. (optional)

ページ 5

・ The following questions ask about the overall research content at universities. (Q22-26)

Q22 In general, do you think the following forms of support are effective at making research careers attractive or making it easy to continue research at universities, or do you think not?

- (6) When I am immersed in my research, I feel happy.
 (7) I take pride in my research.
 (8) I am absorbed in my research.
 (9) When I am researching, I lose track of all else.

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q26 Do you have, or not have, any of the following feelings when conducting your research at Okayama University?

- 1 I feel that way strongly
 2 I feel that way somewhat
 3 I can't say
 4 I don't feel that way much
 5 I don't feel that way at all

- (1) My total working hours in research, experimentation, etc. are long.
 (2) I can't ensure sufficient time for my research.
 (3) There are times when my research is physically demanding.
 (4) I can't fit in well because the laboratory atmosphere is male or female oriented.
 (5) There is no one of my gender nearby with whom I can consult freely when I have difficulties.
 (6) I have problems in interpersonal relations with my teachers.
 (7) I have problems in interpersonal relations with other students.
 (8) I myself or other students around me are facing (or have faced) sexual harassment.
 (9) I myself or other students around me are facing (or have faced) academic harassment.
 (10) I can't ensure sufficient time for my family.
 (11) My family and friends have little understanding of research life.
 (12) I think women are disadvantaged in finding employment.

	1	2	3	4	5
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

The following questions ask your views on well-being and on diversity & inclusion. (Q27-30)

The World Health Organization (WHO) defined 'health' in its charter in 1946, using 'well-being' to mean being in good condition in body, in spirit and socially. At our university, we consider the well-being of each individual important from the standpoint of realizing diversity and inclusion. On this basis, we are asking the following questions.

Q27 Did you know about the concept of well-being?

- I knew about it well I knew about it somewhat
 I didn't know about it very well I didn't know about it at all

Q28 This is a question about your degree of happiness at this time.

Imagine a ladder. The rungs of the ladder are numbered, with the numbers increasing higher on the ladder. The lowest rung is marked "0," and the highest is marked "10." The highest rung represents the best possible life for you, and the lowest, the worst possible life for you. At this time, on what rung of the ladder would you stand?

- 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

Q29 Okayama University aims to be a good place to work and study for all its members. We are in the process of revising the "Okayama University Diversity Policy" that was formulated in 2009 and proceeding with formulation of the "Okayama University Diversity and Inclusion Policy." Did you know about the existence of a diversity policy at Okayama University?

- I knew about it I didn't know about it

Q30 Regarding promotion of diversity & inclusion at Okayama University, to make it a good place to work and study for all its members, what does it need, or what issues do you think it has? Please express your opinion freely.

Okayama University Diversity & Inclusion Policy (draft)

Okayama University is the kind of place where each and every member, all with diverse attributes and individuality, can grow together, mutually respecting and recognizing each other's value and making good use of everyone's respective distinguishing traits. To achieve this, we are creating a basis for cooperation among the various stakeholders, with mutual recognition of diversity not only in gender, nationality, age and disability status, but also in values, sexuality, ways of working and so on.

By implementing this kind of diversity & inclusion, we increase the creativity, innovativeness and flexibility of our university's organization, aiming to achieve our university's goal of "Building up a new paradigm for a sustainable world." Furthermore, as a research university pursuing sustainability and well-being, we create new value and contribute to the realization of an inclusive society in which nobody is left behind.

Here, on the basis of the "Okayama University Diversity Policy" (established Oct. 20, 2009), we have established the "Okayama University Diversity & Inclusion Policy," declaring it a common value among all our members, and taking actions on this basis.

Okayama University will increase the diversity of its members in terms of gender, nationality, age and disabilities, endeavoring to encourage a culture of diversity. This way, we increase the originality of ideas at our university, together with our organization's creativity, innovativeness, resilience and ability to respond flexibly to changes. Also, while ensuring excellent staff and encouraging them to stay, we send out to the world intelligence fostered within diversity and strive for the realization of an inclusive society.

In our university's mission of "Creation of higher knowledge" (through research), we use diversity of ideas to always build new knowledge bases by ensuring that capable human resources are fostered and selected without the influence of bias or discrimination. In "Passing on of wisdom" (through education), we use the variety of ideas among our staff to foster a spirit of respect for different cultures and senses of values in educational settings, while meeting the needs of a wide variety of students in this seat of learning, with its diversity in membership. In addition, as part of our contribution to society, we offer routes for public participation through employment opportunities at our university, making use of the abilities of the wide range of society among our members, regardless of factors such as age or disabilities.

Through the above advances in diversity culture, we aim to improve our system, continue striving to overcome issues of conflict and develop our organization sustainably with a long-term view.

ウィンドウを閉じる

ページ 7

Finally, a few questions once again about yourself. (Q31-34)

Q31 Do you currently have a spouse or partner in life (regardless of whether or not you have registered the marriage)?

- Currently, yes. No (due to death or separation) No (I've never had one)
 No answer

Q32 [To those who replied "Currently, yes" to Q31]

Regarding your spouse or partner's employment status, please choose the most suitable from among the following selections.

- Unemployed Employed part-time Employed full-time Self-employed
 Graduate student Other No answer

Q33 Do you have any children of high school age or younger?

- Yes No No answer

Q34 Do you have any close relatives who require care-giving?

- I am living with a close relative who requires care-giving
 I am living separately from a close relative who requires care-giving
 I have no close relatives who require caregiving
 No answer

This is the end of the questionnaire. Thank you very much for your cooperation.

資料3. 岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー

岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー

令和3年5月19日制定

岡山大学は、多様な属性・個性を持つ一人一人の構成員が、互いの価値を理解し合い尊重し、それぞれの特性を活かして共に成長できる大学となります。そのために、ジェンダー、国籍、年齢、障がいの有無だけでなく、価値観、セクシャリティ、働き方等の多様性を認め合い、様々なステークホルダーと協働するための風土を醸成します。

このようなダイバーシティ&インクルージョンの実践により、大学組織の創造性、革新性、しなやかさをより一層高め、本学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を目指します。そして、サステナビリティとウェルビーイングを追究する研究大学として、新たな価値を創造し、誰一人取り残さない共生社会の実現に寄与します。

ここに本学は、「岡山大学ダイバーシティポリシー」（平成21年10月20日制定）を基盤に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定し、すべての構成員共通の価値と位置づけ、そのもとで行動していきます。

資料4. 岡山大学におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進について

岡山大学におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進について

令和4年4月1日
国立大学法人岡山大学

岡山大学は、ダイバーシティ&インクルージョン企画推進委員会からの提言(令和3年4月7日及び令和3年12月14日)を踏まえ、ダイバーシティ&インクルージョンポリシー(令和3年5月19日制定)に基づき、第4期中期目標期間において以下の課題に取り組みます。

記

1. 「ジェンダー平等」達成に向けて

「ジェンダー平等」の実現に向けた環境整備は、第4期中期目標期間において重点的に取り組むべき課題である。そのため、引き続き、女性教員の採用加速と育成支援、昇任に向けた取組み及び管理職員(課長級以上)に占める女性職員割合の向上に向けた取組みを強化していく。特に、男女共同参画に関しては数値目標の達成が重要であり、2030年に向けて可能な限り早期に、教員における女性教員比率30%、上位職として教授25%、准教授30%、事務職員における女性管理職比率30%の達成を目指す。

2. 多様な文化的背景を持つ構成員の包摂に向けて

留学生や外国人教職員をはじめとする多様な文化的背景を持つ構成員が、他の構成員と協働し、その能力を十分に発揮できる環境を整備する必要がある。そのため、本学におけるニーズ調査や他大学での取組み例の調査を踏まえ、制度面及び設備面において、必要な対策を講じる。

3. 障がい者の労働環境の充実に向けて

障がい者が安心して働けるよう、就労環境の整備・充実が求められる。そのためには、仕事内容・賃金体系の多様化を図るとともに、支援員のほか管理的職員の処遇の見直しを図り、さらに、研修等による全構成員の意識啓発を図りながら、グッドジョブセンター一元化の現状から各部局での就労へと、就労体系の転換・加速を図る必要がある。

4. ライフステージに応じた働き方・学び方の支援に向けた組織ダイバーシティの推進

出産・育児・介護等との両立など、様々なライフステージに応じた働き方・学び方を実現できる大学を目指して、本学におけるニーズ調査や他大学での取組み例の調査を踏まえ、制度面及び設備面において、必要な対策を講じる。また、男性の子育てへの参画を促進するため、第4期前半に男性の育児休業取得率30%を達成する必要がある。

18歳人口の減少が続く中、組織的なダイバーシティの推進により、シルバー世代、育児等の理由で一度職場を離れた世代、キャリアアップをめざす就労世代等、様々な世代を大学に取り込み、キャンパス内の多様化を図る。

全体に通じる課題として、ハラスメント相談体制を含めた現行の各種相談体制をD&Iの推進という観点を踏まえ見直すとともに、D&I推進の主体となる組織の強化・一体化を図る。また、全体及び対象別の効果的な研修会等の実施により、D&I推進に向けた意識啓発を継続的に行う。

以上

令和4年12月9日(金)

全国ダイバーシティネットワークシンポジウム



岡山大学におけるD&Iの取り組みについて

岡山大学 ダイバーシティ推進本部男女共同参画室長
岡山大学病院ダイバーシティー推進センター長
片岡仁美



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

R3 ダイバーシティ&インクルージョンポリシー策定



岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー

令和3年5月19日制定

岡山大学は、多様な属性・個性を持つ一人一人の構成員が、互いの価値を理解し合い尊重し、それぞれの特性を活かして共に成長できる大学となります。そのために、ジェンダー、国籍、年齢、障がいの有無だけでなく、価値観、セクシャリティ、働き方等の多様性を認め合い、様々なステークホルダーと協働するための風土を醸成します。

このようなダイバーシティ&インクルージョンの実践により、大学組織の創造性、革新性、しなやかさをより一層高め、本学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を目指します。そして、サステナビリティとウェルビーイングを追求する研究大学として、新たな価値を創造し、誰一人取り残さない共生社会の実現に寄与します。

ここに本学は、「岡山大学ダイバーシティポリシー」(平成21年10月20日制定)を基盤に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定し、すべての構成員共通の価値と位置づけ、そのもとで行動していきます。

あ せ かな オフ 設定



↑ TOP

理解し合い、尊重し、共に成長する

ダイバーシティ & インクルージョン

(D&I)ポリシー

岡山大学は、2009年1月にダイバーシティ推進本部を設置し、岡山大学ダイバーシティポリシーのもと、女性研究支援をはじめとする男女共同参画、保育所運営などの次世代育成支援、障がい者雇用など、構成員の多様性を高めるための様々な取り組みを進めてきました。2020年4月には、大学のすべての構成員がそれぞれの力を最大限発揮し、多様性を活かすことができる組織文化の醸成を目的として、「ダイバーシティ&インクルージョン企画推進委員会」が組織され、D&Iに関わる学内専門家ら12人が約1年間ジェンダー障がい者、外国人研究者、留学生、高齢者を対象とした、これまでの取り組みの検証と、D&Iの推進に向けた将来像の検討を行いました。その成果として、推進委員会、学生、教職員、外部有識者を含めた全学的な議論を行い、2021年5月に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定しました。新たなポリシーでは、構成員が互いの価値を尊重し合い、尊重し、それぞれの特性を示しながら、共に成長できる大学となることを目指しています。

岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー

岡山大学は、多様な属性・個性を持つ一人一人の構成員が、互いの価値を理解し合い尊重し、それぞれの特性を活かして共に成長できる大学となります。そのために、ジェンダー、国籍、年齢、障がいの有無だけでなく、価値観、セクシャルティ、働き方等の多様性を認め合い、様々なステークホルダーと協働するための風土を醸成します。

このようなダイバーシティ&インクルージョンの実践により、大学組織の創造性、革新性、しなやかさをより一層高め、本学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を目指します。そして、サステナビリティとウェルビーイングを追求する研究大学として、新たな価値を創造し、誰一人取り残さない共生社会の実現に寄与します。

ここに本学は、「岡山大学ダイバーシティポリシー」(2009年10月20日制定)を基盤に「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定し、すべての構成員共通の価値と位置づけ、そのもとで行動していきます。

D&Iポリシーを共通の価値・行動指針に

D&I企画推進委員会の活動は、各自にとって、気づきと学びの連続であり、また、委員の活動を通じて、岡山大学がすでに多様性を備えた大学であることも気づかれました。学内外の皆様にご意見を伺う中で、ポリシーに対して、キーワードとなるカタカナに誤解を付してはどうかとご意見をいただきましたが、それぞれの語の意味を問うことがD&Iの実践でもあるとの思いから、あえて誤解を付さないという選択をさせていただきました。第4期中期目標期間では、新たなポリシーのもと、D&Iの一層の推進に向けて、環境整備が具体化していくこととなります。新しいポリシーが岡山大学すべての構成員の共通の価値となり、行動の指針となることを願っています。



上席副学長【特命】(法政・コンプライアンス・ダイバーシティ&インクルージョン) / 学術研究法政学 教授
神例 康博
KANARI Yasuhito

D&I企画推進委員会メンバーに聞く!

岡大が目指す

これからのD&I

D&I文化の醸成を目指して

大学は学部生、学生、教員、職員など多くの異なる立場、さらに男女や年齢、疾病、障がい、国籍、マイノリティなど様々な個性を持つ者で構成されており、ある意味ですべてに多様性のある環境といえます。誰もが自分の持つハンディやマイノリティによって不利になることなく、一人ひとりが自身の長所を生かし、目標に向かって働き、学ぶことが出来るD&I文化の醸成が、岡山大学の更なる飛躍に繋がることを期待しています。



保健管理センター 部長
樋口 千草
HIGUCHI Chikusa

「誰一人取り残さない」

この度D&Iポリシーの策定にあたり、できるだけ多様な表現を目指しながらも、ジェンダーという言葉の深さやグラデーションについても反映しつつ「誰一人取り残さない」というメッセージが伝わらばという思いを込めました。表現を推敲する中で重ねたディスカッションやプロセスそのものも学び深いものでした。今後ポリシーが基盤として根付き、よりよい未来に繋がればと願っています。



男女共同参画室 室長 / 岡山大学附属ダイバーシティ推進センター 教授
片岡 仁美
KATAKATA Hisami

才能を余すことなく伸ばす環境を

色んな分野において、特定のタイプやカテゴリの人たち以外にも突出した「タレント」が存在することは誰しもおぼろげに感じているはずですが、そうした「タレント」を伸ばしつづける環境が、あまりにもないと思いませんか？ それぞれの才能を余すことなく伸ばして、発揮できるような環境(学校・職場)って、何とかが作れるのかなあ？ と考えて活動しております。皆さんのお知恵とご協力を。



男女共同参画室 副室長 / 学術研究自然科学学域 教授
今村 維克
IMAMURA Kazuyoshi

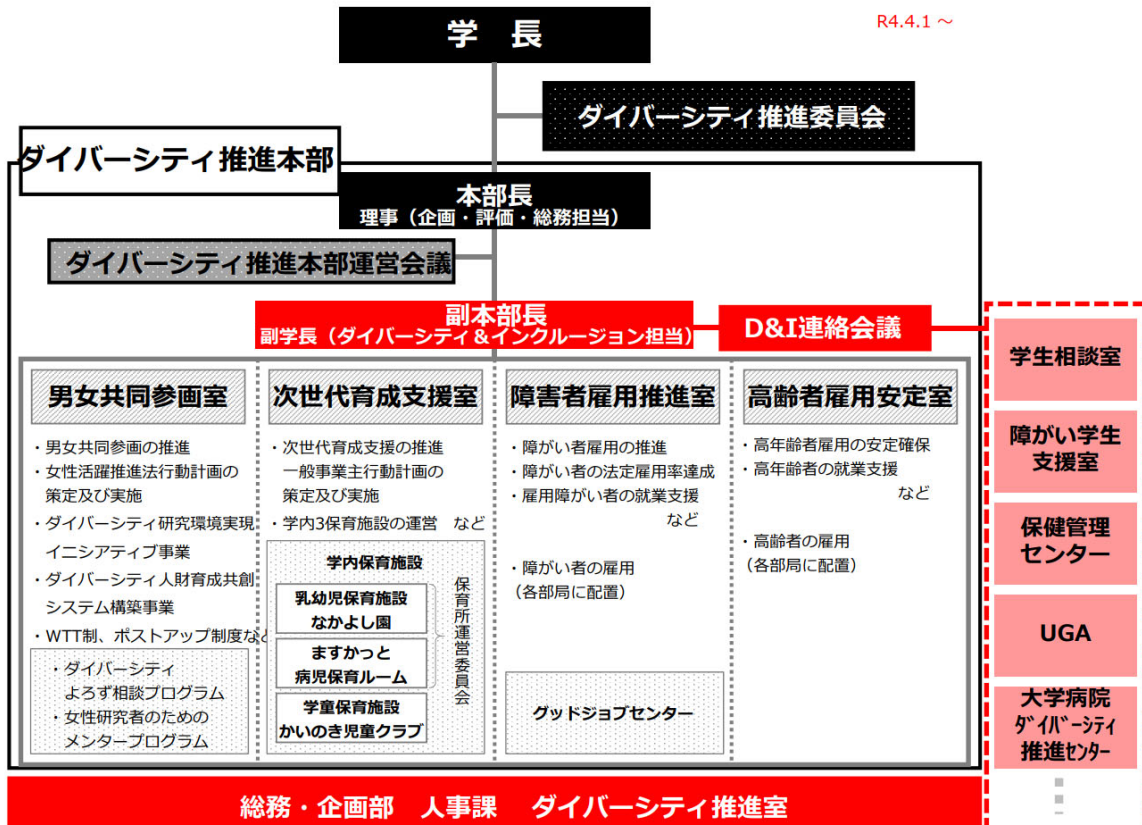
「持続可能な共存」に向けて

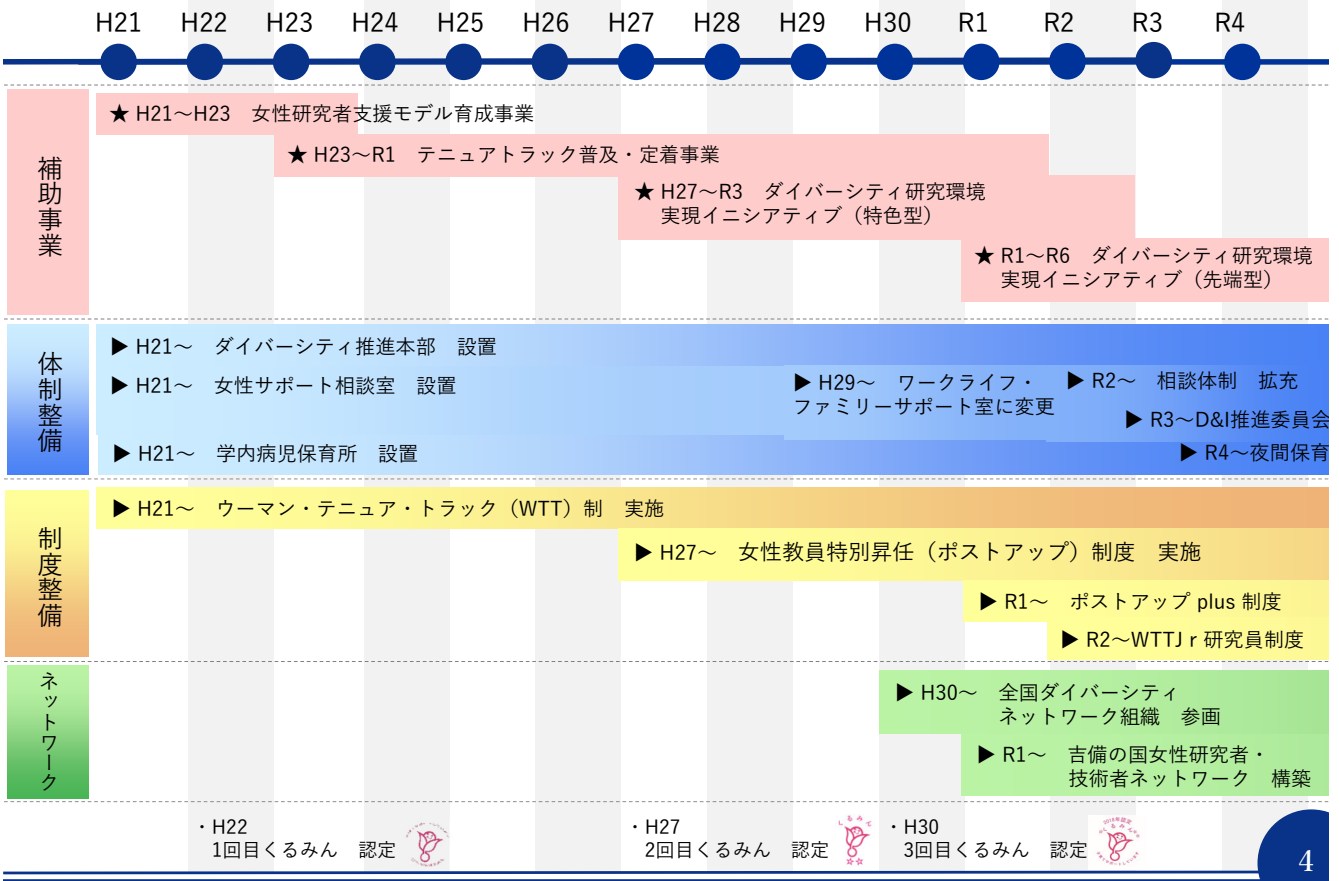
皆さんがご存知のSDGsですが、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」という世界的な文書の中の国際目標に関する部分であり、その本質は「2030アジェンダ」文書全体の世界観である「持続可能な共存」です。その視座に流れるものはD&Iだといえます。一人ひとりのウェルビーイング向上のため、本ポリシーが全学でD&Iを推進するための起点になればと思います。



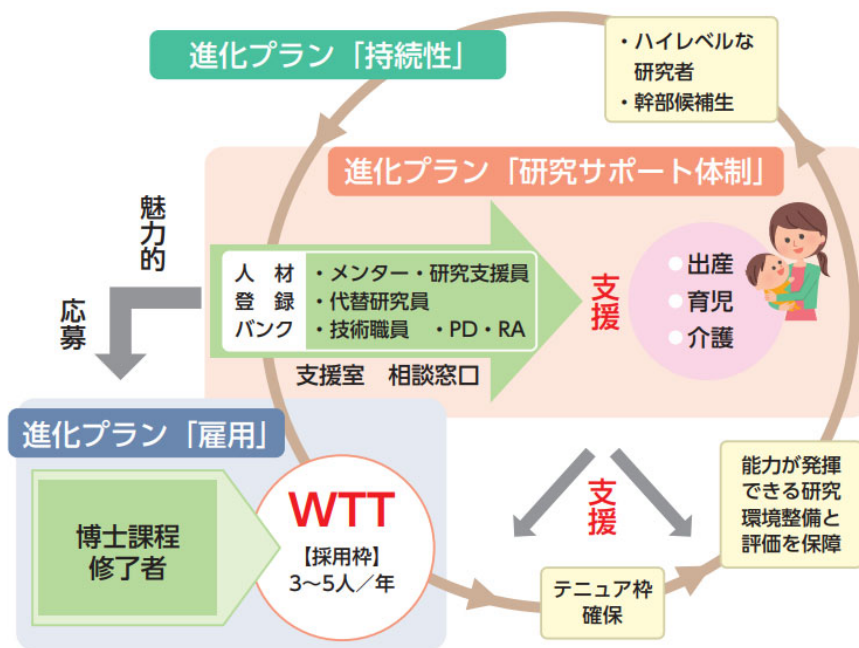
上席副学長【特命】(グローバル・ユニバーシティ・イニシアティブ) / グローバル・エンゲージメント・オフィス(OUGE) 教授
横井 篤文
YOKOI Masahito

岡山大学のダイバーシティ推進体制 (R4~)

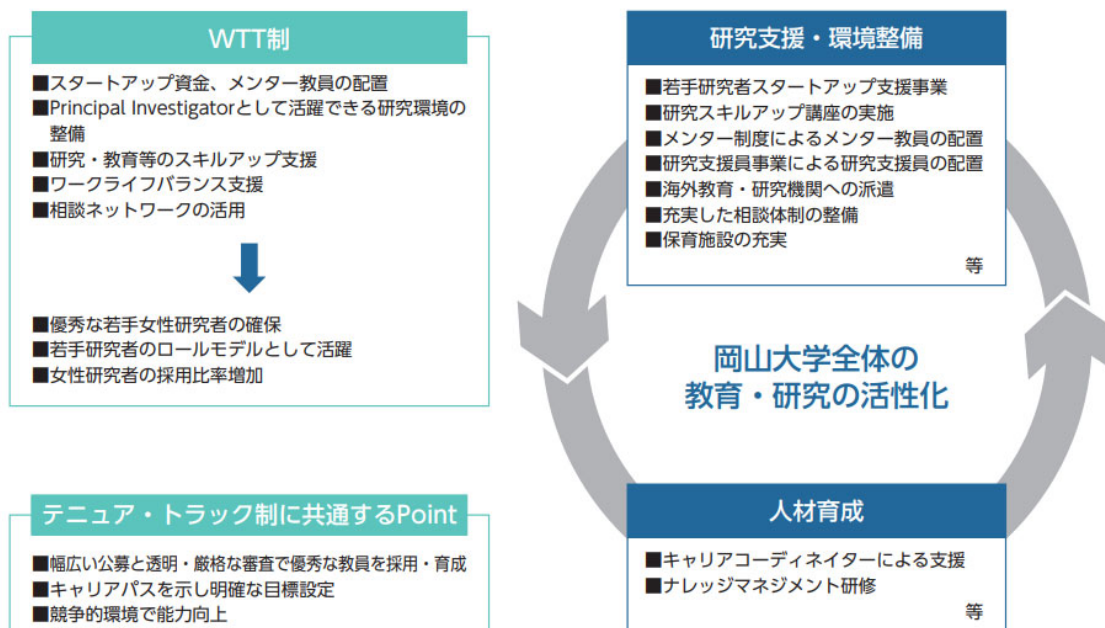




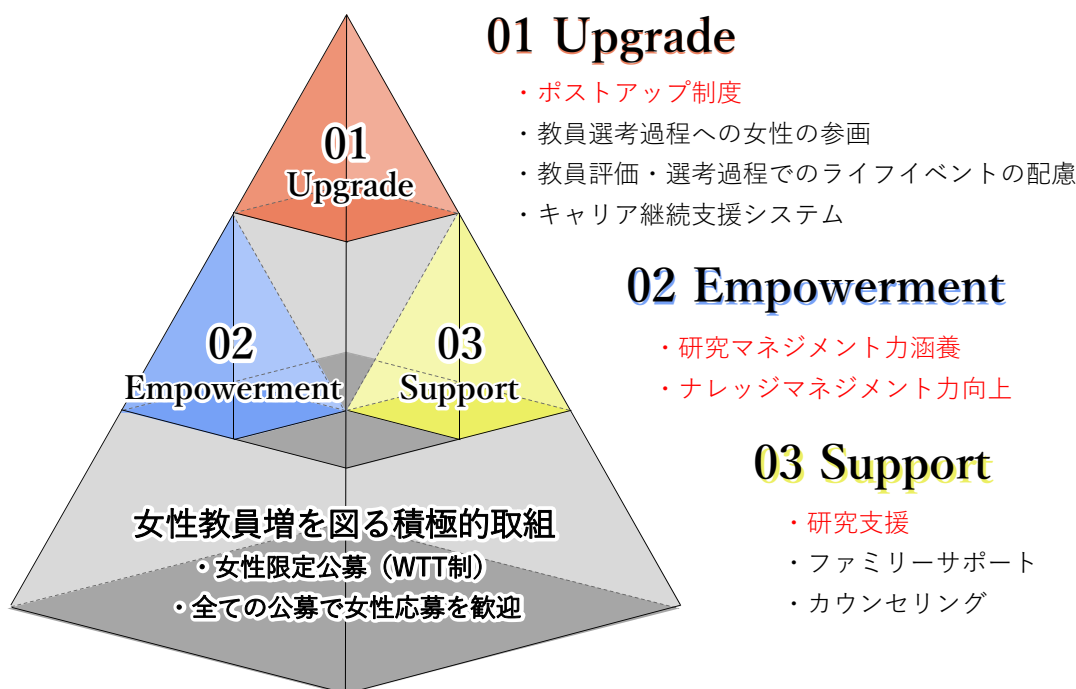
H21～H23 女性研究者支援モデル育成事業

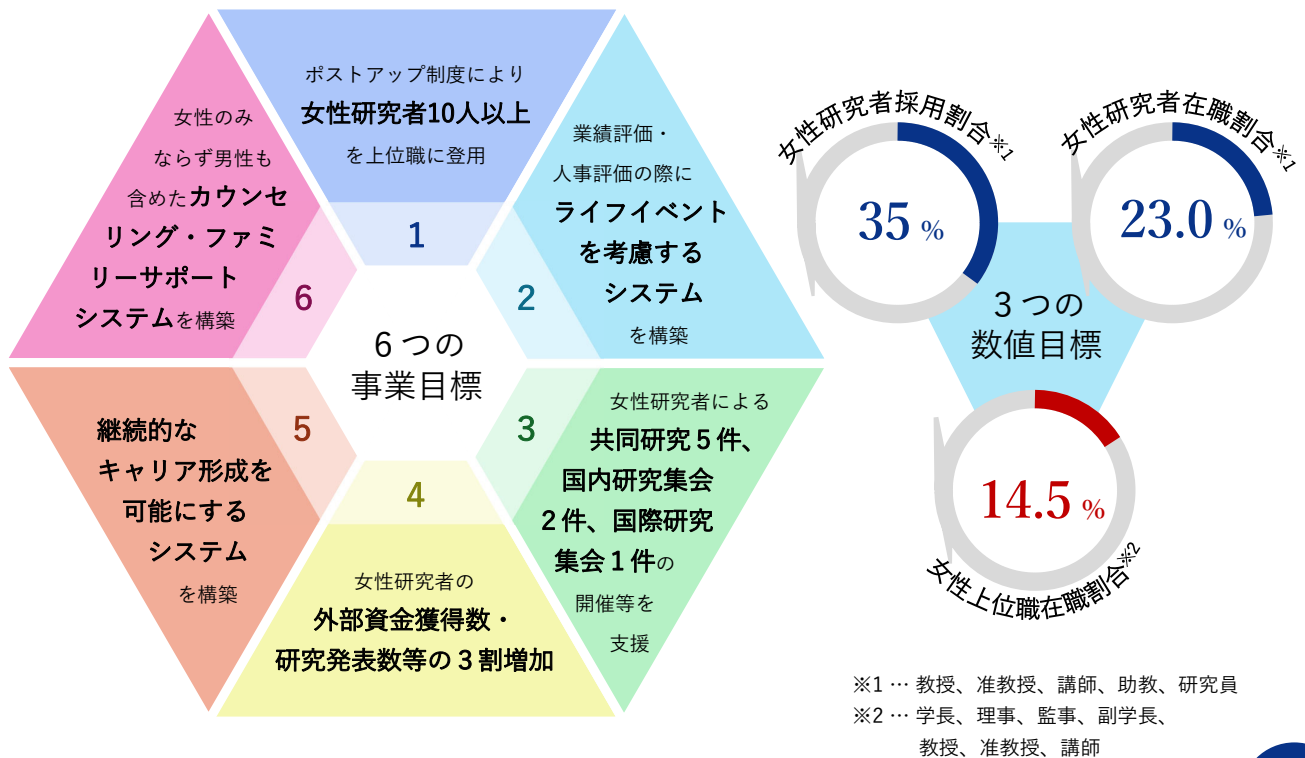


学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン

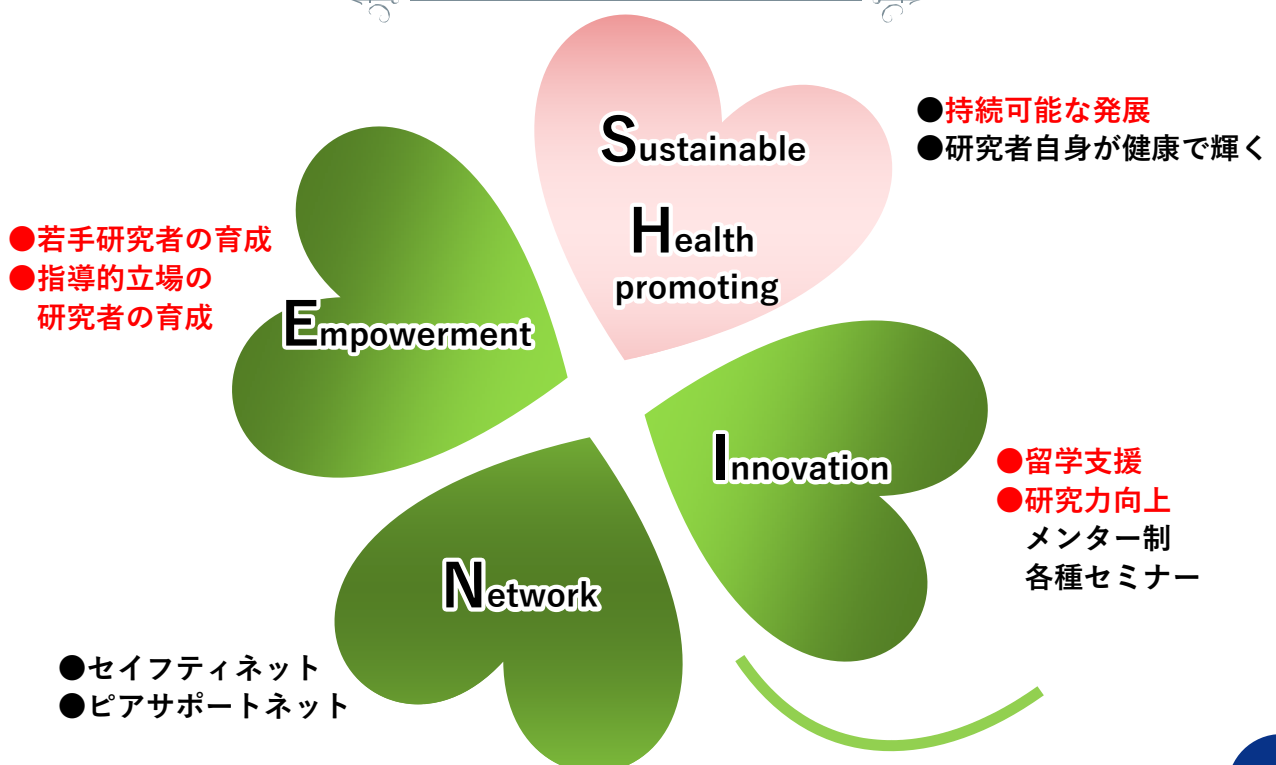


	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計 (13年間)
WTT教員採用実績	4人	3人	4人	3人	2人	3人	1人	3人	1人	1人	1人	1人	1人	28人
テンユア取得教 (累計)	0人	0人	0人	4人	7人	10人	11人	12人	15人	17人	20人	21人	23人	





概要





Empowerment



Innovation



Network



Sustainable
development
Hhealth
promotion

- 若手研究者育成：**WTT Jr制度**
→ 女性研究者採用比率45%（自然科学系40%）
- 指導者育成：**ポストアップplus制度**
→ 6年間で女性研究者10人以上を上位職に登用
- 海外派遣制度・メンター制度・セミナー
→ 研究力強化により外部資金獲得↑
研究業績等3割増加
- 次世代育成支援・ピアサポート
→ 一時保育導入、学童保育拡充による
育児環境整備とピアサポート
安心して研究に従事し継続したキャリア構築
- 持続可能な発展
- 能力を磨き、研究者自身が健康で輝く！

女性研究者支援事業：研究力の向上

- 研究スキルアップ講座（年数回）
研究費獲得セミナー
英語論文書き方セミナー
研究室マネジメント
- 女性研究者シーズ発信会（年1回）
女性研究者の研究紹介
→共同研究への発展
- 研究支援員配置
- 女性教員研究助成金（他機関訪問型、マネジメント力向上型、国際学会発表型、研究費配分型）
- 復職支援助成金
- 女性研究者のためのメンタープログラム（年数名）
- よろず相談プログラム

	復職支援助成金	女性教員支援助成金			R2 新設 研究費配分型	研究支援員事業利用者
		他機関訪問型	マネジメント力向上支援型	国際学会発表型		
	復職者へ研究費を配分	他機関を訪問する旅費を助成	研究集会等の開催費を助成	国際学会発表に係る旅費を助成	研究力向上のため研究費を配分	研究補助業務従事者を雇用
H27	8	—	—	—	—	10
H28	5	7	3	—	—	16
H29	7	7	3	—	—	14
H30	3	3	2	1	—	11
R1	7	7	0	4	—	12
R2	3	2	1	1	11	12
R3	3	0	0	3	16	17
合計	36	26	9	9	26	92

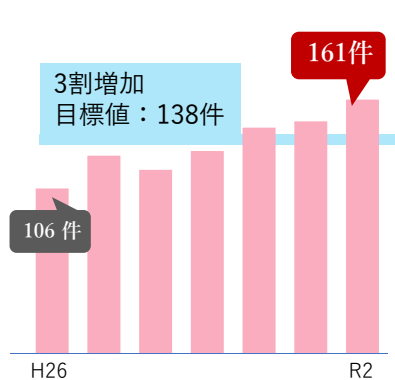
研究力の向上：外部資金獲得数・研究発表数



科学研究費採択件数の中の女性教員採択件数

…教授、准教授・講師、助教

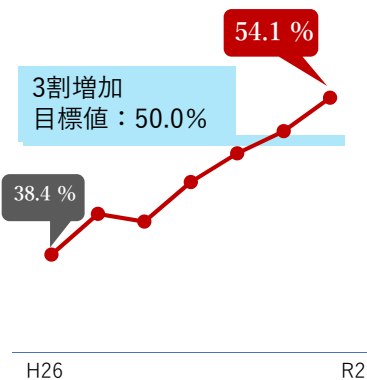
申請前(H26) 106件
R2 161件



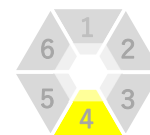
女性教員在職者の中の科学研究費採択比率

…教授、准教授・講師、助教

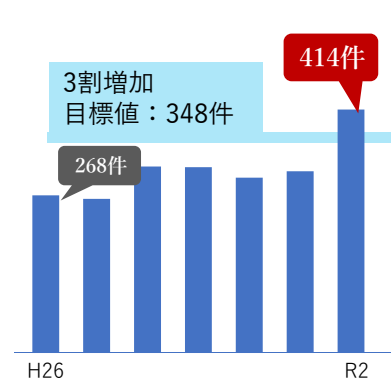
申請前(H26) 38.4%
R2 54.1%



女性研究者の研究発表数（論文発表数）



申請前(H26) 268件
R2 414件



女性教員特別昇任(ポストアップ)制度

女性教員の上位職への登用促進のため、女性准教授・講師・助教で、昇任が可能と評価された女性教員(特別契約職員除く)で、概ね5年以内に部局の当該ポストを利用可能な者を対象とし、それぞれ上位職(教授または准教授)へ昇任させることを促す制度

選考方法

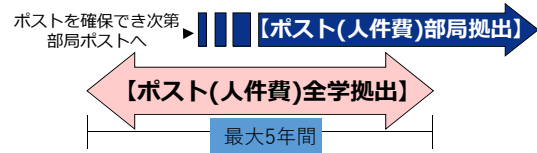
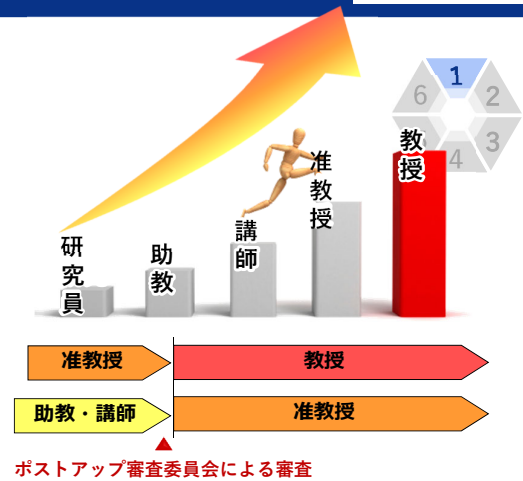
- ①部局から適任者を推薦
- ②ポストアップ審査委員会において審査、候補者を選考
- ③候補者を部局教授会で承認

人件費

全学人件費(昇任前後の給与差額を全学で負担)
部局の当該ポストを使用するまで最大5年間

女性教員特別昇任(ポストアップPlus)制度

概ね3年以内に部局の当該ポストへの昇任の可能性を有する助教以上の女性教員を対象として、海外派遣等の研究支援を行い、その成果を評価して上位職に登用する制度。



年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
上位職昇任実績	1人	3人	3人	3人	1人	8*人	3人	22*人

*ポストアップPlus 4人を含む

女性教員特別昇任(ポストアップ・ポストアップPlus)制度による

年度	実績		合計
	★教授 ↑ 准教授	准教授(講師) ↑ 助教	
H27	1	—	1
H28	2	1	3
H29	1	2	3
H30	2	1	3
R1	—	1	1
R2	3	5	8*
R3	1	2	3
合計	10	12	22
	22		

所属・研究分野(★教授昇任者)

- 自然科学研究科(理) …… 地球化学・古環境学 ★
- 自然科学研究科(工) …… 知能ソフトウェア基礎学
…… 電力制御ネットワーク
- 環境生命科学研究科(農) …… 糖鎖免疫学
…… ゲノム遺伝解析学
…… 植物生態学
…… 樹木生理生態学 ★
- 環境生命科学研究科(環) …… 農村計画学
…… 環境動態解析
- 保健学研究科 …… 看護学 ★
- 教育学研究科 …… 美術科教育 ★
…… 発達支援系 ★
…… 発達臨床心理学 ★
…… 応用健康科学 ★
- 全学教育・学生支援機構 …… 英語教育学 ★

(*) ポストアップPlusによる昇任を含む

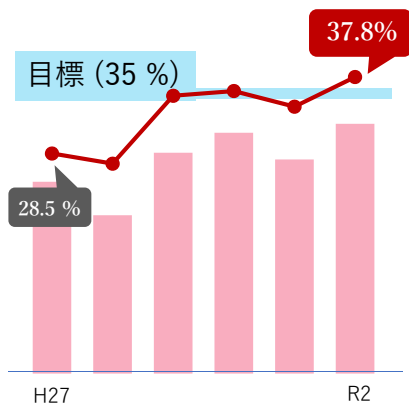


女性研究者採用割合

…教授、准教授・講師、
助教、研究員

申請時(H27) 28.5 %

R2 37.8 %

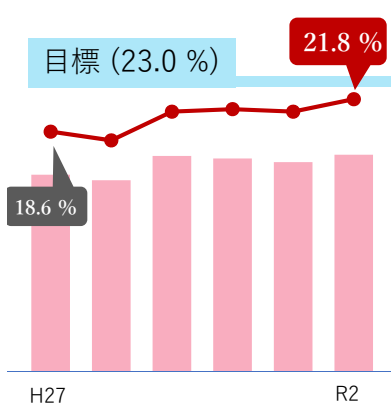


女性研究者在職割合

…教授、准教授・講師、
助教、研究員

申請時(H27) 18.6 %

R2 21.8 %

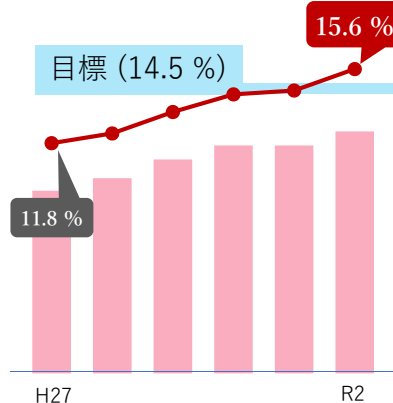


女性上位職在職割合

…学長、理事・副学長相当、
教授、准教授・講師

申請時(H27) 11.8 %

R2 15.6 %



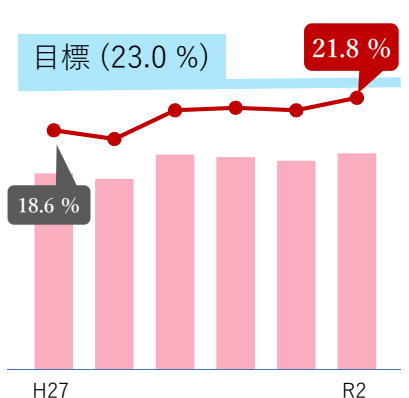
指標推移：女性教員在職比率

女性研究者在職割合

…教授、准教授・講師、
助教、研究員

申請時(H27) 18.6 %

R2 21.8 %

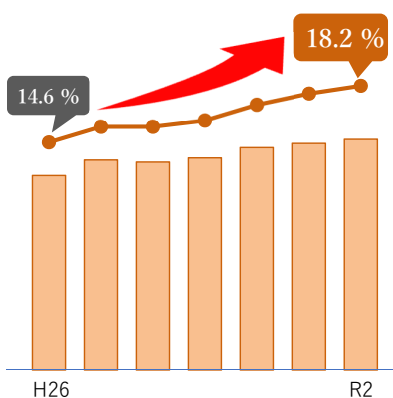


任期無し女性教員

…教授、准教授・講師、助教
(理系、文系すべて含む)

申請前(H26) 14.6 %

R2 18.2 %

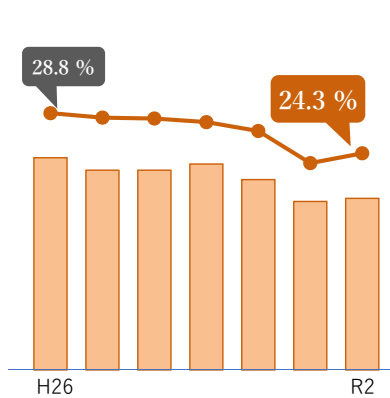


任期有り女性教員

…教授、准教授・講師、助教
(理系、文系すべて含む)

申請前(H26) 28.8 %

R2 24.3 %

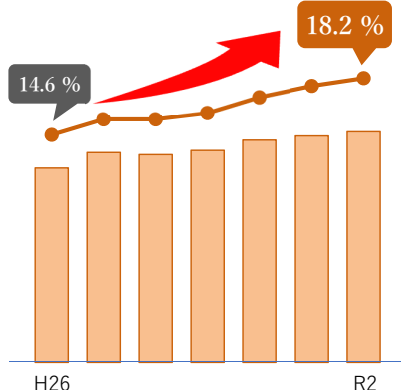


任期無し女性教員

…教授、准教授・講師、助教
(理系、文系すべて含む)

H26 14.6 %

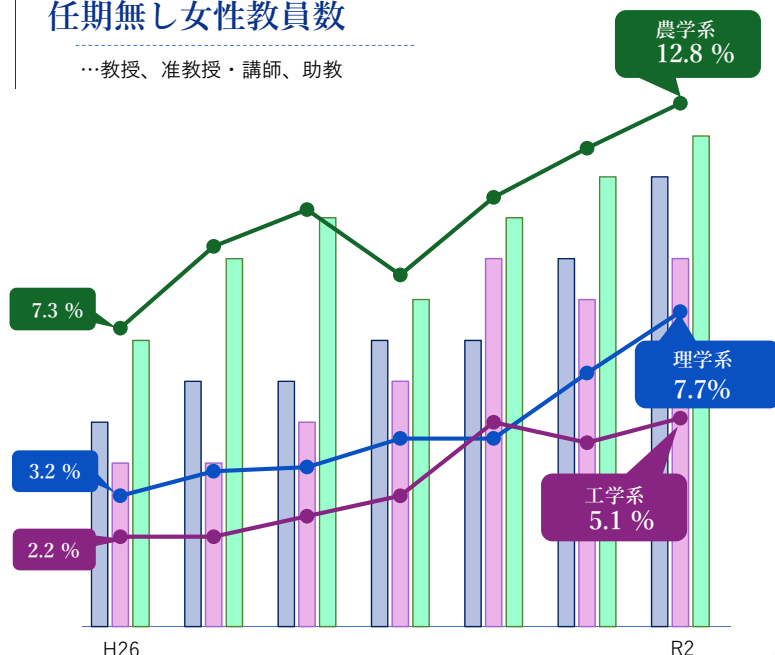
R2 18.2 %



理学・工学・農学

任期無し女性教員数

…教授、准教授・講師、助教



任期無し女性教員

…教授、准教授・講師、助教
(理系、文系すべて含む)

理学・工学・農学

任期無し女性教員数

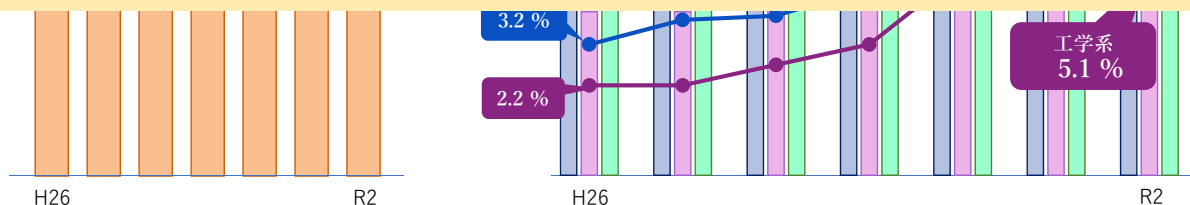
農学系 12.8 %

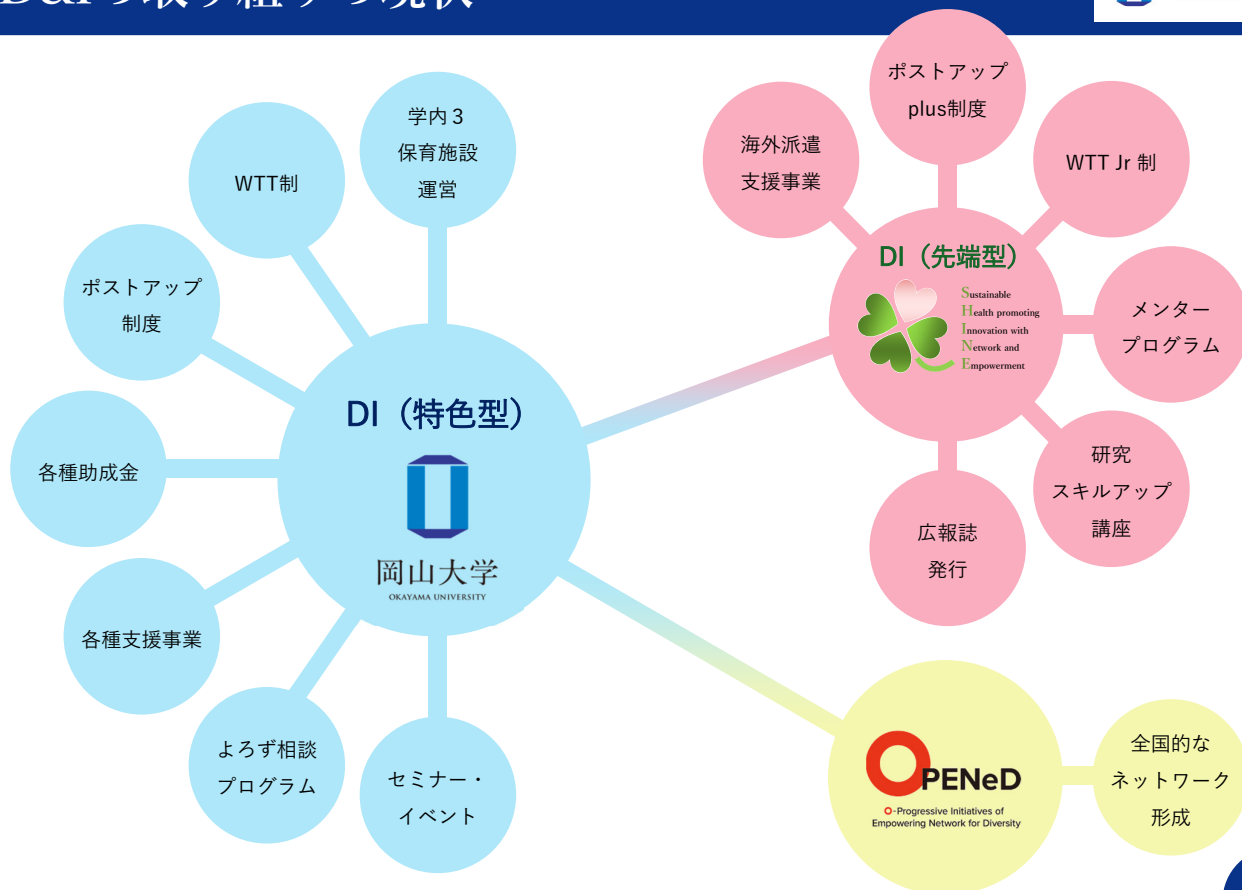
➤ クロスアポイントメントによる女性教授採用

→工学系にて女性教授採用 (R3.10)

➤ 部局独自による女性限定公募を実施

ヘルスシステム統合科学研究科ヘルスシステム統合科学専攻バイオ・創薬部門
→R3年度：准教授1名採用





新たに定めた岡山大学ダイバーシティ & インクルージョンポリシーのもと、ダイバーシティ研究環境実現を目指すとともにすべての構成員が輝くことのできるインクルージョンの推進を目指す



ご清聴ありがとうございました。



全国ダイバーシティネットワーク



岡山大学 ダイバーシティ推進本部
ORGANIZATION FOR DIVERSITY MANAGEMENT, OKAYAMA UNIVERSITY.